

# 松山市埋蔵文化財調査年報 29

平成 28 年度

2017

松山市教育委員会  
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団  
埋蔵文化財センター



# 松山市埋蔵文化財調査年報 29

平成 28 年度

2017

松山市教育委員会  
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団  
埋蔵文化財センター





巻頭図版 祝谷大地ヶ田遺跡 6次調査 祝谷9号墳 (東より)



## 序 言

本書は、平成28年度に松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団が市内で実施した発掘調査、並びに松山市考古館で行った体験学習・展示会などの普及啓発の概要をまとめたものです。

発掘調査のなかで特筆すべき成果は、祝谷大地ヶ田遺跡5～7次調査とJR松山駅西側で行われた南江戸上沖遺跡2次調査です。前者の6次調査では、周壕外周に積石を有する前方後円墳を四国で初めて確認し、後者では、直線の溝で区切られた中世集落を発見しました。

普及啓発では、「まつやま子ども週間」に「古代体験まつり」を開催し、多くのご家族連れに火おこしや石勾玉作りなどを体験していただきました。また、特別展「発掘50年 来住庵寺『松山の飛鳥・奈良時代』」では、県内外の出土品をわかりやすく展示したほか、長崎県壱岐市との共催による特別展「『魏志倭人伝』に記された一支国の世界」では、海の交易拠点として栄えた弥生都市「一支国」と東アジアとの交流の歴史を示す貴重な考古資料を紹介し、ご来場の皆様からご好評をいただきました。

最後になりましたが、遺跡の保護、発掘調査及び普及啓発について、日頃より皆様からのご理解とご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げますとともに、本書が埋蔵文化財の保護と調査研究のための資料として多くの方々にご活用いただければ幸いです。

平成29年12月

松山市教育長  
藤田 仁

## 例 言

1. 本書は、松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが、平成28年4月1日から平成29年3月31日までに実施した発掘調査の概要と、松山市考古館が行った普及啓発事業の成果などをまとめた年次報告書である。
2. 確認調査については、第II章の表にその概要をまとめた。
3. 各調査の報告は、発掘調査担当者が執筆し、編集は高尾和長が行った。
4. 本書に掲載した写真は、担当調査員が撮影した。
5. 位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。
6. 遺構は、以下の略号で記した。  
SB：竪穴建物址 掘立：掘立柱建物址 SR：自然流路 SD：溝 SG：池  
SE：井戸 SK：土坑 SA：柵、柱列 SP：柱穴 SX：性格不明遺構 T：トレンチ
7. 刊行組織は、以下のとおりである。(平成29年4月1日現在)

松山市教育委員会	教 育 長	藤田 仁
事 務 局	局 長	津田 慎吾
	次 長	家串 正治
	次 長	杉本 威
文 化 財 課	課 長	若江 俊二
	主 幹	越智 茂樹
公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団	理 事 長	中山紘治郎
事 務 局	局 長	中西 真也
	次長兼総務部長	橋 昭司
文 化 振 興 部	部 長	渡部 広明
埋蔵文化財センター	所 長	村上 卓也
	考 古 館 長	梅木 謙一

8. ご指導・ご協力を賜りました方々は、次のとおりである。(五十音順・敬称略・法人名除く)  
石田由紀子(奈良文化財研究所) / 今井晃樹(奈良文化財研究所) / 石岡ひとみ(愛媛県教育委員会) / 一本崇之(四天王寺) / 井上隆文(東温市歴史民俗資料館) / 宇田川滋正(文化庁) / 岡本治代(徳島県立博物館) / 大西朋子 / 加藤一郎(宮内庁) / 加藤真三(奈良文化財研究所) / 香川進 / 角南総一郎(元興寺文化財研究所) / 栗林誠治(徳島県埋蔵文化財センター) / 桜井久之(大阪市教育委員会) / 重見 泰(奈良県立橿原考古学研究所) / 清野陽一(奈良文化財研究所) / 澤

田秀実(くらしき作陽大学) / 下條信行 / 田崎博之(愛媛大学) / 富田尚夫(愛媛県歴史文化博物館) / 積山 洋(大阪文化財研究所) / 名本二六雄 / 中野良一(愛媛県埋蔵文化財センター) / 丹羽佑一 / 端野晋平(徳島大学) / 早川和子 / 藤川智之(徳島県埋蔵文化財センター) / 真鍋昭文(愛媛県埋蔵文化財センター) / 松見裕二(愛岐市立一支国博物館) / 松下孝幸(人類学研究機構) / 前園実知雄(愛媛県埋蔵文化財センター) / 南谷恵敬(四天王寺) / 宮里 修(高知大学) / 村上恭通(愛媛大学) / 横田真吾(宮内庁) / 吉田 広(愛媛大学) / 若杉智宏(奈良文化財研究所) / 渡辺 誠(高松市教育委員会) / 渡 勝弥(奈良文化財研究所)

9. ご指導・ご協力を賜りました機関は、次のとおりである。(五十音順・敬称略)

株式会社葵文化 / 愛岐市教育委員会(愛岐市立一支国博物館) / 伊佐爾波神社 / 愛媛県教育委員会 / 公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター / 公益財団法人大阪市博物館協会(大阪文化財研究所) / 公益財団法人元興寺文化財研究所 / 株式会社古環境研究所 / 特定非営利活動法人人類学研究機構 / 東温市教育委員会(歴史民俗資料館) / 株式会社トリアド工房 / 奈良県(橿原考古学研究所) / 独立行政法人国立文化財機構(奈良県文化財研究所) / 株式会社パレオ・ラボ / バリノ・サーヴェイ株式会社 / 株式会社文化財ユニオン / 文化庁 / 寶巖寺 / 法隆寺 / 松山商工会議所

10. 本書の仕様は以下のとおりである。

製版 モノクロ写真・写真図版-175線  
印刷 オフセット印刷  
用紙 本文：三菱製紙ニューVマット  
製本 無線綴じ

# 本文目次

I 平成 28 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
平成 28 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	2
東垣生八反地遺跡	3
東垣生八反地遺跡 3 次調査	4
東垣生八反地遺跡 4 次調査	5
余戸柳井田遺跡 6 次調査	6
斎院烏山遺跡 3 次調査	7
南江戸上沖遺跡 2 次調査	8
松山城三之丸跡 19 次調査	9
文京遺跡 64 次調査	10
道後湯之町遺跡 2 次調査	11
祝谷大地ヶ田遺跡 5・6・7 次調査	12
樽味高木遺跡 18 次調査	18
桑原遺跡 7 次調査	19
経石山古墳 3 次調査	20
西石井遺跡 7 次調査	21
乃万の裏遺跡 3 次調査	22
北窪田七反地遺跡	23
恵原新張遺跡 3 次調査	24
II 平成 28 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
平成 28 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	26
III 平成 28 年度 出土物整理・保存処理事業	
1. 出土物整理	38
2. 保存処理	50
3. 朝美辻遺跡 1 次調査における樹種同定	52
4. 東山鴛が森古墳群 2 次調査出土の古墳・近世人骨	61
IV 平成 28 年度 普及啓発事業	
1. 展示活動	74
2. 教育普及活動	75
3. 収集・保管・育成活動	77
4. 出版活動	77
5. 資料の貸出・調査	77
6. 広報活動	77

7. 考古館月別入館者数調	77
---------------	----

## V 関係法規

1. 松山市立埋蔵文化財センター条例	94
2. 松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則	96

## 挿図・写真目次

巻頭図版 祝谷大地ヶ田遺跡6次調査 祝谷9号墳(東より)

### I 平成28年度 松山市埋蔵文化財調査概要

<b>東垣生八反地遺跡</b>	3
図1 調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1 西側調査区の完掘状況(北より)
	写真2 土壙墓の骨・木棺検出状況(西より)
<b>東垣生八反地遺跡3次調査</b>	4
図1 調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1 第1面の人や牛の足跡と根株痕跡(南より)
	写真2 第2面の遺構完掘状況(北西より)
<b>東垣生八反地遺跡4次調査</b>	5
図1 調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1 室町時代の遺構完掘状況(西より)
	写真2 鎌倉時代の遺構完掘状況(西より)
<b>余戸柳井田遺跡6次調査</b>	6
図1 調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1 第2面の遺構完掘状況(北より)
	写真2 第2面の井戸枠内木組検出状況(北より)
<b>斎院烏山遺跡3次調査</b>	7
図1 調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1 西区遺構完掘状況(東より)
	写真2 東区遺構完掘状況(東より)
<b>南江戸上沖遺跡2次調査</b>	8
図1 調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1 2区遺構完掘状況(北西より)
	写真2 SK401完掘状況(東より)
<b>松山城三之丸跡19次調査</b>	9
図1 調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1 馬場土手ほか検出状況(東より)
	写真2 石組溝ほか完掘状況(北東より)
<b>文京遺跡64次調査</b>	10
図1 調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1 1区・2区東遺構完掘状況(北西より)
	写真2 2区西遺構完掘状況(南より)
<b>道後湯之町遺跡2次調査</b>	11
図1 調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1 現地説明会の様子(西上方より)
	写真2 生活廃棄物土坑の検出状況(西より)



図6 SK2 測量図・出土遺物実測図	47	写真2	朝美辻遺跡1次調査の木材生物顕微鏡写真Ⅱ	58
図7 土坑出土遺物実測図	49	写真3	朝美辻遺跡1次調査の木材生物顕微鏡写真Ⅲ	59
写真1 調査地遠景(南より)	41	写真4	朝美辻遺跡1次調査の木材生物顕微鏡写真Ⅳ	60
写真2 SD1 検出状況(1)(北より)	46	写真5	頭蓋側面	70
写真3 SD1 検出状況(2)(南東より)	46	写真6	下肢骨	70
写真4 SK2 検出状況(東より)	48	写真7	頭蓋正面	71
写真5 SK2 焼土・炭出土状況(東より)	48	写真8	下顎骨	71
写真6 土坑検出状況(東より)	49	写真9	下肢骨	72
写真7 土坑完掘状況(東より)	49	写真10	下肢骨	72
<b>2. 保存処理</b>				
図1 遺跡の位置図	62			
図2 人骨の残存図(アミかけ部分)	69			
写真1 朝美辻遺跡1次調査の木材生物顕微鏡写真Ⅰ	57			

#### IV 平成28年度 普及啓発事業

写真1 発掘へんろ展「四国の戦国時代」	90	写真13	古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」	91
写真2 発掘へんろ展 講演会	90	写真14	古代体験教室「染物体験・藍」	91
写真3 展示会「掘ったぞな松山2016」	90	写真15	古代体験教室「染物体験・茜」	91
写真4 展示会「いにしへのえひめ」	90	写真16	古代体験まつり	91
写真5 特別展「松山の飛鳥・奈良時代」	90	写真17	古代体験まつり「火おこし体験」	92
写真6 「松山の飛鳥・奈良時代」講演会・解説	90	写真18	古代体験まつり「ミニ発掘体験」	92
写真7 「隼志倭人伝」に記された一支国の世界	90	写真19	歴史バスツアー(松野町河後森城跡見学)	92
写真8 「一支国の世界」講演会	90	写真20	現地見学会「わかりやすい考古学講座」	92
写真9 「一支国の世界」体験イベント	91	写真21	現地説明会「祝谷大地ヶ田遺跡6次調査」	92
写真10 発掘情報展「祝谷大地ヶ田遺跡」	91	写真22	出前講座「土器焼き」(市内小学校)	92
写真11 箏コンサート	91	写真23	大連古代運	92
写真12 わかりやすい考古学講座	91	写真24	ゆるきやらグランプリ2016-ふんどう君92	

## 表 目 次

### II 平成28年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表1 平成28年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(1)～(8)	27～34
表2 平成28年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧	35

### III 平成28年度 出土物整理・保存処理事業

#### 1. 出土物整理

表1 遺物接合・復元作業一覧(1)(2)	38・39
表2 遺物実測・製図・収蔵・図面整理作業一覧	39

表 3	遺物写真・現像・整理作業一覧	40
表 4	工事立会調査遺物整理一覧表	41
表 5	出土遺物観察表 (瓦)	46
表 6	SK2 出土遺物観察表 (土製品)	47
表 7	土坑出土遺物観察表 (土製品)	49

## 2. 保存処理

表 1	平成 28 年度調査出土金属・木製・動植物遺体一覧	51
表 2	朝美辻遺跡 1 次調査における樹種同定結果	56
表 3	資料数	61
表 4	出土人骨一覧	61
表 5	年齢区分	61
表 6	顔面頭蓋	67
表 7	橈骨	67
表 8	尺骨	67
表 9	大腿骨	67
表 10	脛骨	68
表 11	膝蓋骨	68
表 12	形態小変異	68

## IV 平成 28 年度 普及啓発事業

### 1. 展示活動

表 1	展示会一覧 (1) (2)	77・78
-----	---------------	-------

### 2. 教育普及活動

表 2	教育普及活動一覧 (考古学講座・講演会等) (1) (2)	78・79
表 3	教育普及活動一覧 (古代体験教室) (1) ~ (3)	79 ~ 81
表 4	教育普及活動一覧 (遺跡見学会)	82
表 5	教育普及活動一覧 (体験学習・主催事業来館・団体来館) (1) ~ (4)	82 ~ 85
表 6	教育普及活動一覧 (現地説明会)	85
表 7	教育普及活動一覧 (職場体験)	85
表 8	教育普及活動一覧 (館外・出前考古学教室) (1) ~ (3)	85 ~ 87
表 9	教育普及活動一覧 (職員研修・会議)	87

### 4. 出版活動

表 10	考古館印刷物一覧 (ポスター・チラシ等)	88
表 11	出版物一覧	88

### 5. 資料の貸出・調査

表 12	資料の貸出一覧 (1) (2)	88・89
表 13	資料の調査一覧	89

### 7. 考古館月別入館者数調

表 14	平成 28 年度 考古館月別入館者数調 (平成 28 年 4 月 ~ 平成 29 年 3 月)	89
------	---	----

# I 平成 28 年度

## 松山市埋蔵文化財調査概要

## 平成 28 年度 松山市埋蔵文化財調査概要

**概要** 平成 28 年度の埋蔵文化財調査事業は、発掘調査 19 件、試掘調査 276 件、年報・報告書刊行 6 件、出土物整理・保存処理を実施した。

**【発掘調査】** 発掘調査は公共事業 7 件、民間事業 9 件、国庫補助事業 3 件である。

**公共事業（7 件）：**松山外環状道路空港線（余戸北吉田線整備事業）では東垣生八反地遺跡（1・3・4 次）、余戸柳井田遺跡（6 次）で調査を実施し、弥生時代～中世の集落遺跡（水田含む）を確認する。南吉田八反地遺跡は水田耕作に伴う人や牛の足跡、根株痕、鋤跡を確認し、鎌倉時代～室町時代の生産遺構を確認する。余戸柳井田遺跡（6 次）では中世の井戸を確認し、井戸は加工材を四角形に組んだ井戸枠で構成しており、中世の井戸の構造を知る上で貴重な資料が得られた。一方、松山駅周辺土地区画整理事業では J R 松山駅西側の南江戸上沖遺跡 2 次調査で、方形区画の可能性が高い中世集落跡を確認し、発掘調査の少ない市内南部の恵原地区では農地整備事業通作条件整備に伴い恵原新張遺跡の調査（3 次）を実施し、弥生時代～古墳時代の集落跡を検出している。道後湯之町遺跡 2 次調査では縄文時代の包含層から縄文時代晩期の土器と石器が多数出土している。

**民間事業（9 件）：**市内の中央部や東部で調査を実施した。祝谷大地ヶ田遺跡 5 次～7 次調査では、弥生時代前期末～中期前半の土坑が 500 基以上検出し、弥生土器（壺・甕ほか）や石製品が多数出土した。6 次調査では、前方後円墳を確認し、周壕の内側と外側には列石が伴っていた。文京遺跡 64 次調査からは弥生時代の竪穴建物、櫛味高木遺跡 18 次調査からは弥生時代後期の多数の竪穴建物、桑原遺跡 7 次調査からは弥生時代終末期の溝を検出した。また、西石井遺跡 7 次調査からは弥生後期の壺に描かれた絵画土器、乃万の裏遺跡 3 次調査からは古墳時代の朝鮮半島系の土器、北窪田七反地遺跡からは管玉が出土した。

以上の資料は、いずれも市内では数少ない資料であり、貴重な資料が得られている。

**国庫補助事業（3 件）：**松山城三之丸跡では継続的に保存整備に伴う確認調査を実施しており、平成 28 年度は 19 次調査になる。北御門広場と馬場の出入り口を区画する土手、三之丸御殿東端と西之丸境の石組溝を確認し、溝からは瓦類や多量の陶磁器（砥部焼・瀬戸焼等）が出土した。経石山古墳 3 次調査では古墳の周溝の一部を確認し、出土遺物からは古墳の時期を判断する資料が得られた。一方、個人住宅建設に伴う調査では、北斎院町で斎院鳥山遺跡の調査（3 次）を行い、弥生時代後期の竪穴建物と壺棺が検出されている。

なお、発掘調査では現地説明会を 4 箇所で行い、延べ 1,308 人の参加者があった。（85 p・表 6）

**【試掘調査】** 国庫補助事業として、市内一円における試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無を確認している。試掘件数は 276 件で前年度（261 件）に比べ 15 件増加した。（27～34 p）

**【年報・報告書刊行】** 27 年度事業をまとめた『年報 28』と 5 冊の発掘調査報告書を作成した。調査報告書は過去の公共・民間開発に伴う発掘調査事業が 3 冊（6 遺跡）、国庫補助発掘調査事業が 2 冊（3 遺跡）である。

**【出土物整理・保存処理】** 報告書の刊行後には遺物・図面資料・写真資料を整理・分類した後、収蔵庫や写真整理室への取納作業を行い、28 年度に実施した発掘調査や 29 年度に刊行予定の出土品の復元作業、保存処理作業、実測・トレース作業、図面・写真資料の台帳作成等を行った。（38～51 p）

ひがしはぶはったんじ  
東垣生八反地遺跡

所在地 松山市東垣生町 818 番 6～10、899 番 3、  
899 番 4、900 番 3、900 番 4 の各一部  
(包蔵地外)

期間 平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日

面積 約 874m<sup>2</sup>

原因 松山外環状道路(空港線)余戸北吉田線整備事業

担当 河野史知



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は、松山平野西側に位置し、現在の重信川河口から約 2.7km 上流右岸の標高 4.3～4.7 m に立地する。周辺では松山外環状道路(空港線)整備事業に伴う発掘調査が行われ、東隣の東垣生八反地遺跡 2 次調査、余戸柳井田遺跡 6 次調査や南隣の同 3 次調査では、平安時代後期から室町時代にかけての集落遺構や生産遺構などが検出されている。今回の調査では、水田耕作に伴う足跡、掘立柱建物 3 棟、溝 23 条、土坑 10 基、土壇墓 1 基、井戸 3 基、柱穴 152 基、鉄跡を検出した。水田址は鎌倉時代から室町時代にかけての二時期に亘るもので、いずれの水田面も洪水砂に覆われている。この水田址は調査地から南東方向の余戸柳井田遺跡 1～3 次調査においても検出されており、室町時代には周辺一帯が生産域として土地利用されたことが窺える。溝 SD3 の北端は調査区外で直角に屈曲し、溝 SD2・4 に繋がる様相を呈しており、形状や規模などから区画溝と考えられる。この溝は、余戸柳井田遺跡 3 次調査や同 4 次調査で検出した溝と繋がるものと考えられ、溝の規模は東西約 77m、南北 100m 前後の長方形に区画するものとする。掘立 1 と掘立 2 は溝 SD3 の外側に隣接する総柱構造の建物址であり、位置関係や埋土、出土遺物などから同時期に並行する建物址である。建物の南には土壇墓があり、木棺外には副葬品の土師器皿 4 枚が並べられ、骨の残存状況から仰臥屈葬であることを確認した。なお、井戸の構造は 2 種類で、素掘りの井戸と曲げ物の井戸がある。素掘りの井戸は曲げ物の井戸と比べ、径が大きい特徴をもつ。

**まとめ** 調査地は平安時代後期から鎌倉時代には集落址として土地利用されており、特に地形のやや高い調査地南側から南東方向の余戸柳井田遺跡にかけては区画溝に囲まれた集落の中心地であったと考えられる。また、調査地はそれら居住域の北限付近と想定され、その周辺は耕作地として生産活動が行われていたことが分かり、重信川下流域の沖積低地における集落構造を解明する上で貴重な資料となるものである。



写真 1 西側調査区の完掘状況(北より)



写真 2 土壇墓の骨・木棺検出状況(西より)

## 東垣生八反地遺跡3次調査

所在地	松山市東垣生町905番6、817番8の一部 (包蔵地外)
期間	平成28年6月1日～同年7月25日
面積	約236㎡
原因	松山外環状道路(空港線)余戸北吉田線整備事業
担当	河野史知



図1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野西側に位置し、現在の重信川河口から2.7km上流右岸の標高4.3mに立地する。周辺では、北隣の東垣生八反地遺跡や東隣には同2次調査、余戸柳井田遺跡6次調査、南東隣には余戸柳井田遺跡2・4・5次調査があり、平安時代後期から室町時代にかけての集落遺構や生産遺構などが発見されている。調査では、第1面上面にて水田耕作に伴う人や牛の足跡や根株痕、土坑1基を検出し、第2面上面では、溝1条、柱穴22基、性格不明遺構1基を検出した。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器などが出土した。水田址は室町時代のもので、調査地南東から北西方向に位置する余戸柳井田遺跡1～5次調査や東垣生八反地遺跡1・2次調査においてもほぼ同じレベルで検出されていることから、室町時代には周辺一帯が生産域として土地利用されたことが窺える。第2面の地形は北西から南東方向に緩傾斜しており、この面で鎌倉時代の集落遺構を検出した。溝は南北方向から南端は東方向へ直角に屈曲しており、北に隣接する東垣生八反地遺跡1次調査検出の溝に繋がっている。溝の規模や形状などから、集落内で建物を区画する溝の可能性がある。また、柱穴の殆どは溝の東南部に集中しており、検出した柱穴の中には調査区外に存在する掘立柱建物を構成する柱穴の可能性をもつ。調査区南端の地形が低い部分では、第2面の遺構を検出する砂質土層から粘土層に変化しており、その上面には砂層の堆積を検出した。このエリアは、鎌倉時代から室町時代の間に東西方向を西流する河川の北岸部分と思われ、その南岸は余戸柳井田遺跡6次調査において検出している。

**まとめ** 調査地は鎌倉時代に集落址として土地利用されており、室町時代になると耕作地として生産活動が行われていたことが分かり、重信川下流域の沖積低地における集落構造を解明する上で貴重な資料となるものである。



写真1 第1面の人や牛の足跡と根株痕跡(南より)



写真2 第2面の遺構完掘状況(北西より)

## 東垣生八反地遺跡 4 次調査

所在地	松山市東垣生町 816 番 4 (包蔵地外)
期間	平成 28 年 10 月 24 日～平成 28 年 11 月 29 日
面積	約 177㎡
原因	松山外環状道路 (空港線) 余戸北吉田線整備事業
担当	水本完児

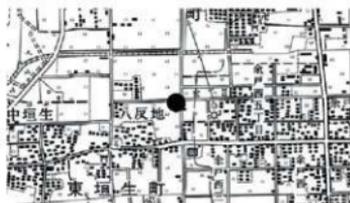


図 1 調査地位置図

**概要** 本調査は、松山外環状線道路 (空港線) 余戸西工区整備事業に伴い実施した埋蔵文化財の発掘調査である。調査地は調査以前は水田として利用されており、現況の標高は 4.4 m 前後である。調査では鎌倉時代から室町時代の遺構や遺物を検出した。鎌倉時代の遺構は、主に第Ⅶ層上面にて検出した。2 基の井戸址は、出土遺物より 13 世紀代に存在したものと考えられる。両者共に木製の井戸枠を伴った構造で、特に SE2 からは杭や側板、曲物などを確認した。同様の構造を持つ井戸址は、平成 27 年度に実施した余戸柳井田遺跡 6 次調査で検出されている。さらに、余戸中ノ孝遺跡 3・4 次調査、東垣生八反地遺跡 1 次調査からは、曲物を井戸枠として利用した井戸址も確認されている。また、遺物は SE1 から箸が出土し、SE2 からは土師器の坏や皿、瓦器の皿や碗など数多くの土器が出土した。なお、2 基の井戸址は検出状況や出土遺物より、13 世紀前半には SE1 が存在し、廃絶した後、SE2 を構築したものと推測され、13 世紀後半には廃絶されたと考えられる。調査では建物跡を確認できなかったが柱材や礎板が残る柱穴を検出したことから、柱穴で構成される建物跡が、調査地近隣に存在しているものと考えられる。室町時代の遺構は、水田址を検出した。第Ⅴ層は水田層であり、本層上面にて数多くの足跡を検出した。足跡は第Ⅳ層である洪水砂で埋没している。出土遺物や検出層位などから室町時代、14～15 世紀に存在した水田址と考えられる。調査地周辺に所在する余戸柳井田遺跡 1～6 次調査や東垣生八反地遺跡 1～3 次調査からも同時期の水田址が検出され、調査地一帯が室町時代には耕作地として土地利用されていた。

**まとめ** 狭小範囲の調査ではあったが、井戸址や水田址の検出など、多大なる調査成果をあげることができた。今後は調査地一帯を中心とした鎌倉時代における集落様相や構造を解明すると共に、室町時代に存在した水田址の規模や区画、及び範囲等の解明が急務となる。



写真 1 室町時代の遺構完掘状況 (西より)



写真 2 鎌倉時代の遺構完掘状況 (西より)

## ようこやないだ 余戸柳井田遺跡 6次調査

所在地	松山市余戸西四丁目 2189 番 4 の一部 (包蔵地外)
期間	平成 28 年 6 月 23 日～同年 9 月 30 日
面積	約 715㎡
原因	松山外環状道路(空港線) 余戸北吉田線整備事業
担当	河野史知



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は、松山平野西側に位置し、現在の重信川河口から約 2.8km 上流右岸の標高 4.5 m に立地する。周辺では松山外環状道路(空港線) 整備事業に伴う発掘調査が行われ、東隣の余戸柳井田遺跡 3 次調査や西隣の同 5 次調査では、平安時代後期から室町時代にかけての集落遺構や生産遺構などが検出されている。調査では第 1 面にて生産遺構、第 2 面からは集落遺構を検出した。第 1 面の水田址は室町時代のもので、水田面は洪水砂に覆われている。この水田址は調査地周辺の余戸柳井田遺跡 1～5 次調査や東垣生八反地遺跡 1・2 次調査で確認された水田と一連のものであり、周辺一帯が生産域として土地利用されたことを示す資料である。第 2 面の地形は南から北方向に緩傾斜しており、遺構の殆どは地形の高い南側で検出し、なかでも最も高い部分には柱穴が集中する。この柱穴群は、調査区外に広がる掘立柱建物の可能性をもつ。井戸は加工材を四角形に組んだ井戸枠で構成しており、基底面の取水部には曲げ物の板材が二段掘えられていた。なお、木組みには板を縦に貼り付けており、中世井戸の構造を知る上で貴重な資料である。調査区北端の地形が低い部分では、第 2 面の遺構を検出する砂質土層から粘土層に変化しており、その上面には砂層の堆積を検出した。このエリアは鎌倉時代から室町時代までの間において東西方向に西流する河川の南岸部分と思われ、東垣生八反地遺跡 3 次調査では北岸部分が検出されていることから、当調査地から西流する旧河川の存在が確認でき、河幅約 15m 前後で、両河岸が緩やかに傾斜し、堆積砂の粒も揃っていることから、直線的に延びて水流も安定した旧河川であったことが窺える。

**まとめ** 調査地は平安時代後期から鎌倉時代にかけては集落址として土地利用されており、室町時代になると耕作地として生産活動が行われていたことが確認できた。これらの調査成果は調査地周辺における集落の広がりや構造を解明する上で貴重な資料である。



写真 1 第 2 面の遺構発掘状況(北より)



写真 2 第 2 面の井戸枠内木組検出状況(北より)

さやからすやま  
齋院烏山遺跡 3 次調査

所在地 松山市北齋院町 1219 番 2 の一部  
(包蔵地 No.26)  
期 間 平成 28 年 11 月 16 日～平成 29 年 2 月 7 日  
面 積 519.5㎡  
原 因 国庫補助事業 (個人住宅の建設)  
担 当 高尾和長



図 1 調査地位位置図

概 要 調査地は、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地の[No.26 南齋院遺跡]内にあり周知の遺跡として知られている。周辺の遺跡には、津田中学校構内遺跡1次・2次調査、齋院烏山遺跡、齋院烏山遺跡2次調査、鳥越遺跡がある。津田中学校構内遺跡からは、弥生時代の集落関連遺構や遺物を多数検出し、齋院烏山遺跡、齋院烏山遺跡2次調査からは弥生時代前期末～中期初頭の環壕集落を検出している。このほか調査地西側の丘陵部には弁天山古墳群、津田山古墳群がある。弁天山古墳の主体部は箱式石棺で、石棺内から青銅鏡2面が出土している。また、津田山古墳からも箱式石棺と青銅鏡1面が出土している。このように、調査地周辺は弥生時代から古墳時代にかけての重要な遺跡が確認されている。

調査では、弥生時代後期と古墳時代の遺構・遺物を確認した。検出した主な遺構には、弥生時代後期後半の堅穴建物3棟・土坑3基・壺棺1基、古墳時代後期の土坑2基・溝1条がある。

まとめ 注目する遺構は堅穴建物SB1である。SB1は弥生時代後期後半で、平面形態が円形で、規模が径7mを測る。内部施設には周壁に沿って幅1mの高床部を持ち、中央部に副次的炉(2か所の炉)を持つ。この副次的炉を持つ堅穴建物は平野内では数少なく、松山平野では北齋院遺跡岸田Ⅱ地区に2棟、東本遺跡2次調査に2棟、東本遺跡4次調査に4棟の計8棟が報告されているにすぎず副次的炉が検出されるのは、現在のところ松山平野では東本遺跡がある桑原地区と齋院烏山遺跡がある齋院地区に限られているのである。今後は、副次的炉を持つ集落の解明のために、齋院地区と桑原地区の、弥生時代後期後半の堅穴建物の構造と、集落遺構の分析を行う必要がある。また、本調査では壺棺が検出されており、集落の構造や範囲と合わせて墓域を確認する資料が得られている。



写真1 西区遺構完掘状況(東より)



写真2 東区遺構完掘状況(東より)

## 南江戸上沖遺跡 2次調査

所在地	松山市南江戸一丁目 506 番 1 ~ 松山市南江戸一丁目 511 番 8 (包蔵地外)
期間	平成 28 年 2 月 1 日 ~ 平成 28 年 7 月 5 日
面積	約 2,100㎡
原因	松山駅周辺地区画整理事業 (駅西地区)
担当	高尾和長



図 1 調査地位置図

**概要** 調査は、松山駅周辺地区画整理事業(駅西地区)に伴う埋蔵文化財発掘調査の2次調査である。

調査地は、1次調査に接する東側、西側、南側を5区画に分けて調査した。1次調査で確認した区画溝と集落の範囲を確認することを主目的として調査を行った。調査では鎌倉時代の溝52条、土坑33基、井戸21基、柱穴880基以上、近・現代の土坑、柱穴を検出した。

1次調査で確認されたSD6が東西方向に直線に延び、東側の1区で南に折れ曲ることが判明し、SD6は全長が65mを超える区画溝であることが分かった。また、集落を区画する溝が東西方向と南北方向に複数あることを確認した。

井戸は21基を検出した。平面の形状は円形と方形とがある。円形の井戸の構造は、上部には石組み、下部には木製の曲げ物を二段と一段に据えるものがある。また、曲げ物だけのもの、上部~下部まで石組みのものなど多様な構造形態がある。また、方形の井戸は、下部に四隅に杭を打ち、横木は跡穴で固定していたものがある。

土坑は33基を検出した。その内の5基は土壙墓である。SK309からは木棺と人骨が残り、土師器の坏と釘が出土し、さらには土師器の坏外面には墨書による文字が読みとれた。

**まとめ** 今回の調査では、中世の集落を区画する溝を確認し、区画内には井戸や墓があり、多数の土師器・須恵器・陶磁器などが出土したことで、調査地や周辺地域には、中世集落の存在が明らかになった。加えて中世の集落が大峰ヶ台丘陵の南側から南江戸の東側まで広がることが判明したのである。今後は、周辺の詳細な調査をし、中世における集落の様相や構造等について解明していく必要がある。



写真1 2区遺構完掘状況(北西より)



写真2 SK401完掘状況(東より)

まつやまじょうさんのまるあと  
松山城三之丸跡 19次調査

所在地	松山市堀之内 12、無番地の各一部 (包蔵地 No.74)
期間	平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日
面積	約 210m <sup>2</sup>
原因	史跡松山城跡保存整備
担当	河野史知

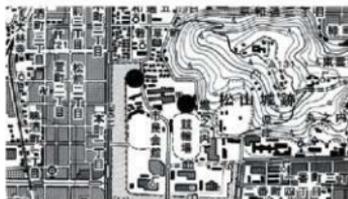


図 1 調査地位置図

**概要** 国史跡「松山城跡」は、松山平野北部の独立丘陵、勝山を中心に構築された近世城郭である。松山市では、平成 12 年に策定された「城山公園（堀之内地区）整備計画」を基に城山公園堀之内地区の整備を進めており、基礎資料の取得と遺構の保護を目的に、古絵図を参考に平成 13 年度より確認調査を実施している。今回は 2 箇所調査を実施し、三之丸西北角部で北御門広場と馬場の出入り口を区画する土手、三之丸東北部で三之丸御殿東端と西之丸境の石組溝を確認した。馬場出入り口の土手 1 と土手 2 の間には土手状の高まりが一部残存しており、本来は土手 1 と土手 2 の間に東西方向に屈曲する土手が存在していたことが想定される。このことは幕末の絵図で表現されている馬場北端付近の出入り口が南向きに開口していたことを示すもので、開口部の幅が 5.3 m であることを確認した。また、土手を覆う埋土には炭化物に混じり多量の陶磁器類や瓦などが含まれており、明治 3 年の三之丸御殿焼失後に当調査地周辺まで掻き出されて埋められたと考える。また、出土した陶磁器類は 19 世紀代のもものが多く含まれている。三之丸御殿東端の石組溝の南端は 2 次調査 VI 区で検出した石組溝に繋がっており、検出長は 17 m を測る。なお、地形の高い北端部分は旧日本陸軍の削平を受けて確認できなかったが、散乱する栗石の状況からは調査区の北へ延びる可能性が高い。また、石組溝の東側には土塀控柱が検出され、屏風絵に描かれている土塀が石組溝の東側の石組上に構築されていたことを確認した。この土塀控柱は垂直に建っていることから、貫で土塀を支える形式と考えられる。

**まとめ** 今回の調査において馬場の北端付近の出入り口部分、三之丸御殿と西之丸を区画する溝、三之丸御殿で使用されていた遺物などの資料が確認できた。これらの資料からは当時の景観が復元でき、史跡整備をする上で貴重な資料となり得るものである。



写真 1 馬場土手ほか検出状況 (東より)



写真 2 石組溝ほか完掘状況 (北東より)

## 文京遺跡 64 次調査

所在地 松山市平和通二丁目6番16の一部

(包蔵地 No.67)

期 間 平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 4 月 15 日

面 積 約 108.84㎡

原 因 緊急調査 (共同住宅の建築)

担 当 小笠原善治



図1 調査地位置図

**概 要** 調査地の文京遺跡は愛媛大学、松山赤十字病院、東雲小学校、東中学校の一带に展開する弥生時代から中世にかけての集落遺跡で、愛媛大学構内を中心として63次に及ぶ調査が行われ、弥生時代の大規模な集落地として全国的にも注目されている遺跡である。

調査は、狭小な対象範囲の都合により調査区を2ヶ所とした調査となった。調査では、弥生時代に機能していた自然流路や弥生時代～古墳時代の溝、柱穴、竪穴建物のほか、弥生土器、須恵器、石製品などが出土した。1区では溝1条、土坑1基、柱穴1基を検出し、遺物は弥生土器、陶磁器が出土した。1区では第Ⅷ層から第Ⅹ層付近までの安定した堆積からやや不安定な堆積となることや、低位層での遺構検出が見られることから、調査区は谷部のやや低地に展開した集落関連遺跡である。2区の主な遺構は竪穴建物3棟、溝2条、比較的規模の大きい柱穴4基、その他を検出した。狭小な調査区ではあるが遺構密度は高く、周壁溝を持った円形・方形の竪穴建物などがあり、時期は概ね弥生時代中期～後期で、そのほかの遺構は弥生時代中期中頃～後期・古墳時代以降である。

**まとめ** 調査地周辺は大学構内遺跡の調査地から南に向かって谷地形を呈し、調査地南部の「平和通り」付近で再び微高地になっており、近接する大学構内遺跡付近は微高地上に集落が営まれていることがわかる。本調査地南部の1区は低地、北部の2区は微高地となっていることから、本調査地は文京遺跡南部の微高地に営まれた集落の一部である可能性がある。また、この地域に流れる旧自然流路が想定復元されているが、その分流の一部が調査地南部の1区周辺に流れていたものと想定される。今回の調査によって文京遺跡の南部域が当地まで広がる可能性があり、狭小範囲の調査ではあったが、文京遺跡の広がりを考える上で貴重な成果と言える。



写真1 1区・2区東遺構完掘状況(北西より)



写真2 2区西遺構完掘状況(南より)

## どうごゆのまち 道後湯之町遺跡 2次調査

所在地 松山市道後湯之町甲 1464 番 1、甲 1464 番  
2、甲 1464 番 3、甲 1464 番 4、甲 1464 番  
6、甲 1464 番 7 及び同地先（包蔵地外）

期間 平成 28 年 4 月 1 日～同年 6 月 30 日

面積 410.92㎡

原因 道後温泉別館「飛鳥乃湯泉」施設整備

担当 加島次郎



図 1 調査地位位置図

**概要** 本調査は、道後温泉別館「飛鳥乃湯泉」施設整備に伴う記録保存目的の埋蔵文化財発掘調査である。調査地は「道後温泉」の西 150 m 地点に位置し、標高 39.2 m に立地する。発掘調査では、地表下約 1 m において縄文時代後期の土器を主に含む遺物包含層（第Ⅳ層）を検出したほか、土坑 34 基、性格不明溝構 2 基、柱穴（小穴含む）10 基などの生活関連溝構を検出した。遺物包含層は層厚 0.3～0.6 m を測り、調査地南西部に厚く堆積していた。遺物包含層の精査に際しては、十文字に幅 1 m の観察用の畔を設定し、調査地内を四分割することに加え、区割りした 2 m 方眼に基づいて手掘りを行い、出土した遺物を収納した。その結果、遺物包含層には縄文時代後期の沈線文系土器や無文土器の深鉢や浅鉢、石鏃、スクレイパー、伐採斧や加工斧、軽石、姫島産黒曜石やサヌカイトの割片などの石器類を含んでいることや、弥生時代中期の土坑は遺物包含層上面から掘り込まれていることなどを確認した。調査地の北西部や南東部では第Ⅴ層（浅黄橙色粘質土）上面で隅丸長方形や不整形円形の土坑を検出した。また、第Ⅴ層上面を地形測量したところ、調査地の旧地形が北東から南西に向けて緩やかに下がることを確認した。長軸が 3 m を越える隅丸長方形土坑の埋土を水洗選別したところ、深鉢や浅鉢の破片、磨石や敲石とみられる花崗岩製の中小の鏃、サヌカイト製石鏃や楔形石器のほか、サヌカイトや姫島産黒曜石の破片（チップ）、焼けた獣骨細片を確認できたことから、この土坑は縄文時代後期の生活廃棄物土坑の可能性が高いと推定できた。

**まとめ** 今回の調査の最大な成果は、縄文時代後期、弥生時代前期～中期を中心とした遺跡を確認するとともに、遺跡の形成過程を重層的に確認できたことである。今後刊行予定の報告書では、旧地形や堆積土層、出土遺物などの関係性の詳述や、遺物実測図の掲載を行うことで、本遺跡の実態と当時の景観を明らかにする所存である。



写真 1 現地説明会の様子（西上方より）



写真 2 生活廃棄物土坑の検出状況（西より）

いわいだにおおちがた  
祝谷大地ヶ田遺跡5・6・7次調査

5次調査

所在地 松山市祝谷六丁目1027番1、1027番4、  
1027番5、1034番、1034番3の各一部  
(旧包蔵地№56・57・58/新包蔵地№55)

期間 平成28年6月1日～平成28年9月15日

面積 1,160㎡

原因 緊急調査(高齢者総合福祉施設建設)

担当 小笠原善治・作田一耕



図1 調査地位置図

6次調査

所在地 松山市祝谷六丁目1027番1、1027番4、1027番5、1034番3、1041番1の各一部

期間 平成28年9月16日～平成29年1月15日

面積 2,420㎡

担当 小笠原善治・山本健一・作田一耕

7次調査

所在地 同上

期間 平成29年1月16日～平成29年3月31日

面積 1,673㎡

担当 小笠原善治・高尾和長・作田一耕

調査は、平成25年に行われた祝谷大地ヶ田遺跡4次調査について同丘陵で行った、高齢者総合福祉施設建設のための造成工事に伴う発掘調査である。

祝谷大地ヶ田遺跡5・6・7次の調査地は、松山平野北東部に広がる高縄山地の南西丘陵裾部に位置し、標高は約51.2～55mの丘陵上に立地する。この一連の調査地の南側は同遺跡3次、4次調査地と接している。また、同5次調査は同3次調査1区および4次調査西半を挟んで北と南に分かれた調査となった(図2)。

祝谷大地ヶ田遺跡5次調査

概要 調査地は、松山平野北東部に広がる高縄山地の南西丘陵裾部に位置し、南から北の谷部に向かって緩やかに傾斜する標高51.2～53.5mの丘陵上に立地する。

調査は南北に分かれ、南を1区、北を2区とした。また調査では、隣接する既往調査で検出された弥生時代中期中葉の土坑群の広がり、同4次調査で見つかった祝谷7号墳関連遺構の検出を目的に行った。

調査では、弥生時代の遺構は円形や方形の土坑など、古墳時代では祝谷大地ヶ田7号墳の石室の一部を検出し、江戸時代前期の遺構は調査区中央を南北に走る溝を検出した。弥生時代の土坑は総計43基検出し、多くは中期中葉に時期比定される。時期の古いものでは前期末～中期初頭のものもあるが、江戸時代の溝からは、中期後葉の土器も散見される。そのほか遺物では、一般的に出土する分銅形土製品とはその形状や文様構成が異なるものの出土があり注目される。また貝殻施文の土器片の出土がある。次

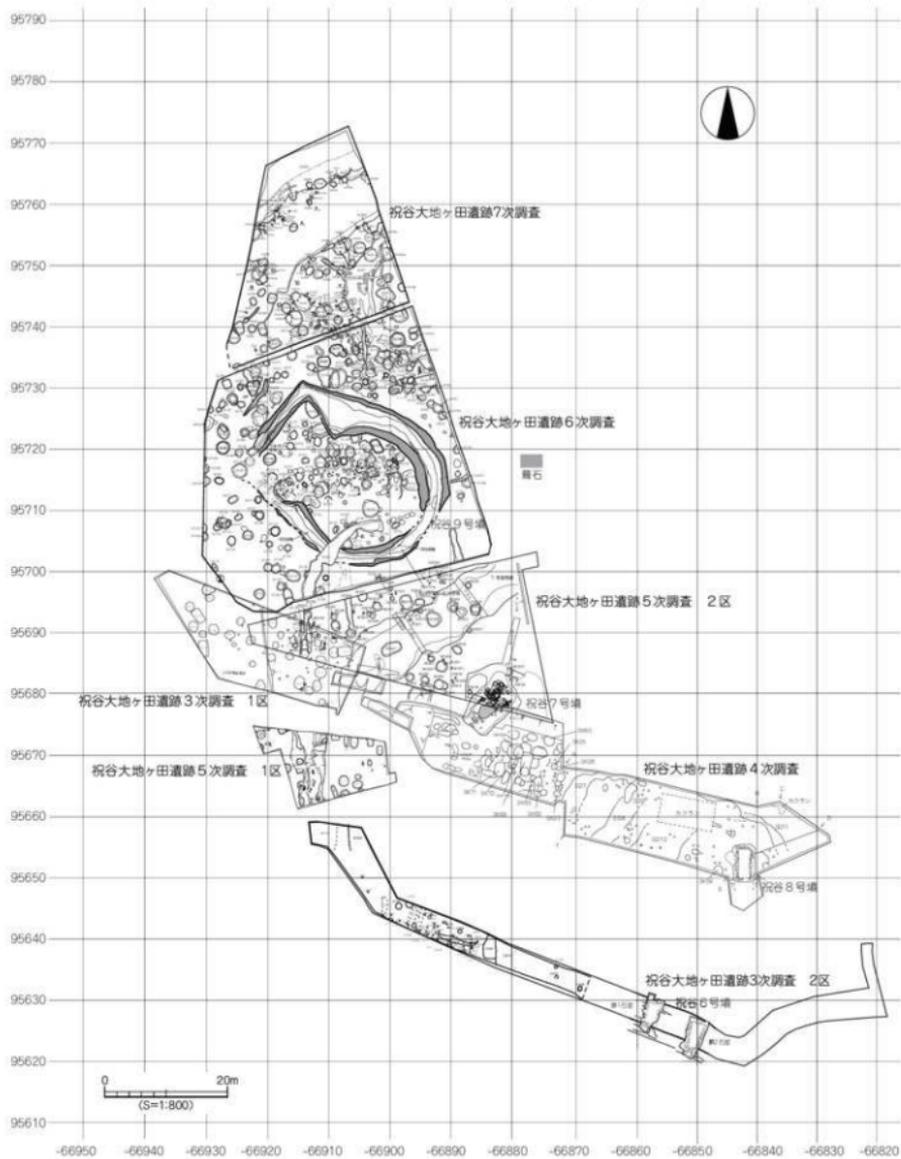


図2 祝谷大地ヶ田遺跡3～7次調査遺構配置図



まとめ 調査では、同3次調査でも検出されていた弥生時代中期中葉の土坑群が本調査地にも広がっていることを確認するとともに、丘陵上に密集する弥生時代の貯蔵穴群の範囲や構成と様態を知り得たことは大きな成果である。また松山平野でも特徴的に出土する分銅形土製品の異形品や貝殻施文の土器片も出土し、山口周辺地域との交流も注目される。同遺跡4次調査で検出した祝谷7号墳石室の残存部を検出したことにより、石室の全容が知れることとなり、古墳の築造方法に関する資料が得られた。



写真1 5次1区南部遺構完掘状況 (南より)



写真2 5次2区遺構完掘状況 (北西より)



写真3 5次2区7号墳石室集石 (南より)



写真4 5次2区7号墳石室掘方土層断面 (西より)

### 祝谷大地ヶ田遺跡6次調査

**概要** 調査では3～5次調査同様、弥生時代中期前葉から中葉を中心に185基の貯蔵穴群等と古墳時代中期の前方後円墳1基及び古墳周壕の一部を検出した。

**弥生時代** 調査区北東部で夥しい数の貯蔵穴を検出しており、切り合いも著しい。調査区南端から西端にかけては、後世の大規模な削平を受けており、調査区北東部のような貯蔵穴の密集は見られないが、このことは、元々深さのない貯蔵穴が消滅した結果と推定できる。それにもかかわらず、当該範囲から数十基を検出しており、本来は調査区北東部同様に密集していたことが想定できる。

出土遺物は、弥生時代中期前半から中頃にかけての壺形土器や甕形土器のほか、石斧や石砲丁、石鏃、石皿といった石器等も出土している。その他、使用痕のない礫や炭化物が出土する貯蔵穴もあり、貯蔵穴の上部の構造や貯蔵物の解明につながる可能性がある。

**古墳時代** 調査区中央から馬蹄形の周壕を伴う帆立貝形の前方後円墳1基、調査区北東部から古墳周

壕の一部を検出した。北東部の古墳周壕については、祝谷大地ヶ田遺跡7次調査の項で詳述する。

前方後円墳は、全長31.5m、墳長27.1m、後円部径19.4m、前方部長7.7mあり、周壕幅は2.0～4.5m、深さは0.4～1.1mを測る。墳丘は完全に削平され、主体部も残っていない。周壕は墳丘葺石のほか、外周法面にも葺石を施しており、四国では初の事例である。この、新発見の古墳は「祝谷9号墳」と呼称する。

出土遺物は円筒埴輪の他、馬形埴輪等の形象埴輪、単風の環頭大刀柄頭が出土している。本古墳の時期は、周壕下層から出土する埴輪の年代から5世紀後半のものだと判断した。環頭大刀柄頭は6世紀代のものであること、周壕東側の上層から出土していることから、本古墳には伴わない可能性が高い。



写真5 6次調査から松山平野を望む（北より）



写真6 6次 SK03B 遺物出土状況（西より）



写真7 6次調査遠景（西より）

## 祝谷大地ヶ田遺跡 7次調査

**概要** 調査区中央付近は東西方向に概ね0.5～1.0m近い段状の削平を受けており、切り岸直下から谷の肩部にかけて遺構の空白地がある。削平を受けていない南側と谷肩部には、後述する多くの貯蔵穴や柱穴があることから、この空白地は弥生時代以降の削平によって遺構が消滅したことを表している。

調査では、3～6次調査同様、弥生時代中期前葉から中葉を中心にした58基の貯蔵穴群等と古墳時代後期の古墳の周壕の一部を検出したほか、柱穴85基及び自然の谷1箇所を検出した。

**弥生時代** 6次調査北東部から続く調査区南部で多数の貯蔵穴を検出しており、切り合いも多く認めることができる。出土遺物は、貯蔵穴及び柱穴内からは、6次調査と同様に弥生時代中期前半から中頃にかけての土器や石器、礫、炭化物等が出土した他、谷部からは杓や杭等の木器類も出土した。

**古墳時代** 調査区南東部から、古墳の周壕の一部を検出した。この遺構は6次調査北東部で検出した周壕と一連のもので、半径は概ね内径で8.5～9.0m、外径で11.0～11.5mを測る。出土遺物は須恵器、土師器、弥生土器が出土した。本遺構の時期は須恵器の趣から、6世紀中～後半頃と判断した。大地ヶ田遺跡全体でみると、3・4次調査で検出した祝谷6～8号墳とほぼ同じ時期で、祝谷9号墳周濠出土の単風環頭大刀柄頭との関係が注目される。



写真8 7次調査遺構完掘状況(東より)

たるみたかぎ  
樽味高木遺跡 18 次調査

所在地 松山市樽味四丁目 235 番、241 番、242 番、  
245 番の各一部(包蔵地№81)

期 間 平成 28 年 7 月 15 日～平成 28 年 8 月 31 日

面 積 約 360m<sup>2</sup>

原 因 緊急調査(宅地造成)

担 当 高尾和長



図 1 調査位置図

概 要 調査地は、松山平野中央部を西流する石手川中流域南岸の樽味地区に位置し、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地の「№81 樽味遺跡」内にあり周知の遺跡として知られている。樽味地区では、これまでに埋蔵文化財発掘調査が48箇所で行われ、縄文時代から中世までの竪穴建物、掘立柱建物、土坑、溝などの集落に関連する遺構や遺物が多数出土している。

特に、樽味四反地遺跡6次、8次、13次調査からは、床面積100m<sup>2</sup>を超える大型建物3棟が検出され、古墳時代初期の首長層に関わる建物群が存在したことが全国的に話題となり、松山平野内でも有数の遺跡地帯として知られている。

調査からは、竪穴建物13棟、溝1条、土坑11基、性格不明遺構4基、柱穴214基を検出した。遺物は遺構内と包含層から、弥生土器、土師器、須恵器、石製品(台石、砥石)が出土した。

検出した弥生時代後期の竪穴建物SB102は、直径5mを超える円形の竪穴建物で、建物中央部に隅丸方形の炉をもち、炉の周囲に土手状の高まり(炉堤)を検出した。

まとめ 調査からは、弥生時代後期後半の竪穴建物を多数検出し、多くが重なり合っていた。重複した建物からの出土物には時期的に大きな差はなく、短期間に建て替えが行われ、継続して集落が営まれていたことを確認した。また、竪穴建物の平面形態には円形と方形があり、規模には中型と小型とがあり、集落を形成する竪穴建物の組み合わせを考える上での良好な資料といえる。

今後は、周辺の樽味高木遺跡・樽味四反地遺跡・樽味立添遺跡・東本遺跡の竪穴建物・土坑・溝などの集落関連遺構と、時期・規模・形状・セット関係などを比較検討し、弥生時代後期の樽味地区における集落の範囲・構造・変遷を明らかにする必要がある。



写真 1 I区遺構完掘状況(北東より)



写真 2 II区遺構完掘状況(北より)

## くわばら 桑原遺跡 7次調査

所在地	松山市桑原六丁目 727 番 1 の一部 (包蔵地№ 82)
期間	平成 28 年 12 月 19 日～平成 29 年 1 月 31 日
面積	約 110㎡
原因	緊急調査 (マンション建設)
担当	水本完児



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野南東部、標高 34.68 m に立地する。申請地の周辺では、桑原遺跡や東本遺跡があり、桑原遺跡はこれまでに 6 度の調査が行われており、弥生時代から中世の集落関連遺構や遺物が多数出土している。なかでも、申請地の東約 100 m にある古墳時代から中世の桑原遺跡 5 次調査では、古墳時代の自然流路内より木錘、斎串、瓢箪製の杓子などの木製品が出土し、斎串は本例が最古のものとして注目を集め、瓢箪製の杓子は松山平野では二例目となるものであった。本調査では、弥生時代の遺構と弥生時代から古墳時代までの遺物を検出した。検出した遺構は、溝 1 条と柱穴 16 基である。遺物は、弥生土器、土師器、石器などが出土した。溝 SD1 は南北方向の溝で、規模は検出長 8.45 m、幅 0.50 ～ 1.30 m、深さ 32 ～ 56 cm を測る。溝内からは、弥生土器や石器が出土した。とりわけ、溝南側では大型の壺形土器の底部や長頸壺、高坏形土器がまとめて出土した。そのほかには、鉢形土器や支脚形土器の破片や径 15 ～ 20 cm、厚さ 3 cm の扁平な河原石が溝内から出土している。なお、埋土中には砂が含まれていることから、SD1 は何らかの水利に伴う溝として機能していたものと考えられる。出土した弥生土器の特徴より、弥生時代終末期の溝と考えられる。

**まとめ** 本調査では、弥生時代から古墳時代までの遺構や遺物を確認することができた。弥生時代の遺構は溝 1 条を検出した。溝からは弥生時代終末期の土器と石器が出土し、大型の破片が含まれている。溝の検出と大型の土器片の出土は弥生時代終末期の集落が近隣地域に存在することを示す資料といえる。古墳時代の遺構は未検出であるが、包含層中より土師器片が少量出土している。調査地周辺に展開する弥生時代終末期の集落及び、古墳時代集落の範囲を解明するうえで貴重な資料が得られた。



写真 1 遺構発掘状況 (北より)



写真 2 SD1 遺物出土状況 (南東より)

きょうせきざんこふん  
経石山古墳 3次調査

所在地	松山市桑原四丁目 408 番 (包蔵地 No.84)
期間	平成 29 年 3 月 1 日～平成 29 年 3 月 14 日
面積	約 14㎡
原因	重要遺跡確認調査 (国補)
担当	水本完児・山内英樹 (文化財課)



図 1 調査地位置図

**概要** 本調査は、県指定史跡である経石山古墳 (前方後円墳) の範囲確定に伴う重要遺跡確認調査 (国庫補助適用) である。過去の宅地開発に伴う発掘調査 (1・2 次) では、墳丘に伴う周溝の存在が確認されており、今回の調査では後円部南側にかけての周溝の有無を確定することを主目的として、同古墳に南接する「経石山公園」の範囲内 (史跡指定地外) を対象に実施した。

調査の結果、古墳に伴う周溝 1 条、溝 3 条、柱穴 1 基を確認した。周溝については、地山層が後世の削平を受けており、築造当時はやや異なるが、現存幅 4.92 m、深さ 38cm を測り、後円部墳丘を巡るような形で展開していた。周溝内からは、古墳時代後期 (6 世紀) ～古代にかけての須恵器 (蓋・甕) が出土しており、地山整形や盛土については、後世の攪乱により確定には至らなかったが、調査区北隅の傾斜変換点付近で径 10 ～ 20cm の石が検出されており、墳丘裾部の可能性が考えられる。

**まとめ** 今回の調査により、後円部南側にかけて周溝がさらに広がる事が確定的となった。また、周溝内の出土遺物は、先学研究で指摘されている古墳時代中期 (5 世紀) を示すものが認められず、1・2 次調査でも出土した古墳時代後期 (6 世紀) の須恵器が大半である。埋葬主体が明らかでないため、築造時期を特定することは現状では困難であるが、近接する三島神社古墳 (現在消滅・6 世紀前半) に先行するという認識は改める必要があるかもしれない。

今後も詳細な墳丘測量やトレンチ調査による前方部・括れ部の周溝範囲の確定など、松山平野における経石山古墳の歴史的評価を明らかにするため、地道な成果の積み重ねが必要であろう (山内)。



写真 1 遺構発掘状況 (北より)



写真 2 周溝発掘状況 (東より)

## にししい 西石井遺跡 7次調査

所在地 松山市西石井四丁目 503 番 1、  
503 番 3 の各一部（包蔵地 No.119）  
期 間 平成 28 年 5 月 11 日～平成 28 年 5 月 31 日  
面 積 約 60㎡  
原 因 緊急調査（店舗建築）  
担 当 小笠原善治



図 1 調査地位置図

概 要 調査地は、小野川左岸の標高約 18.8m に位置し、周辺には、西石井遺跡（1～5 次調査）、東石井遺跡（1～3 次調査）、西石井荒神堂遺跡（1～3 次調査）、石井幼稚園遺跡（1・2 次調査）など、弥生時代から中世の集落に関連する建物址、土坑、溝、柱穴のほか、多数の遺構・遺物が確認されている。今回の調査は、対象範囲が狭小で離れていることから 1～6 区に分けての調査となった。

調査では、弥生時代後期と古墳時代以降の遺構や遺物を確認した。遺構は、竪穴建物 2 棟、溝 1 条、土坑 6 基、柱穴 4 基である。1 区の調査では、竪穴建物 SB01 壁面に広く炭化物が残存し、中央では焼土を検出した。床面にはほぼ全面に炭化物が分布する。遺構の検出が部分的であることから断定はできないが、焼失家屋の可能性もある。また建物内からは絵画土器（写真 2）が出土している。4 区は大半を溝 SD01 が占め、幅約 3m のやや大きいものである。遺物は広口壺、複合口縁壺、甕形土器、鉢形土器、また円孔を穿つ高坏形土器が出土した。5 区では方形の竪穴建物 SB02 を確認した。内部に 55 × 60cm、深さ約 15cm 程度の土坑状の掘り込みを確認した。掘り込みは版築状に炭化物と褐色土、にぶい黄褐色土と褐色土が互層堆積をなしており、竪穴建物関連の施設と考えられる。6 区からは、焼土 2 基と土坑 1 基を確認した。SK07 は焼土 1 を切る事から、焼土 1 より新しい時期の遺構で、出土遺物から概ね弥生時代後期後葉と思われる。また、これら重複した焼土 1、焼土 2 はその全容は不明だが、おそらくは建物の一部と考えられる。

まとめ 調査は狭小調査区であることから、遺跡の全容解明には至らなかったが、調査地南部に広がる西石井遺跡の北部において、弥生時代の集落がさらに広く展開する事を確認し、また古墳時代の遺構も検出されたことから、弥生時代から継続して集落が営まれていた事が判明した。これらのことは、西石井地区における遺跡の広がりを知るうえで貴重な成果といえる。



写真 1 調査地全景（北より）



写真 2 1 区出土絵画土器

## のまうら 乃万の裏遺跡 3次調査

所在地	松山市北久米町 776 番 1、777 番 3-5、 778 番 1-4 の各一部（包蔵地 No.116）
期間	平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日
面積	54.2m <sup>2</sup>
原因	緊急調査（店舗建設）
担当	山本健一



図 1 調査地位位置図

**概要** 調査地は、国道 11 号線星岡交差点から南東方面へ 370 m 程の標高 30.4 m に立地し、松山市埋蔵文化財包蔵地「No.116 川附遺物包蔵地」内に所在する。周辺の遺跡には福音小学校構内遺跡、筋違遺跡、乃万の裏遺跡、北久米常堰遺跡、北久米浄蓮寺遺跡など弥生時代から中世にかけての集落遺跡が多数分布している。このうち、調査地の西側に接する乃万の裏遺跡 2 次調査地では、弥生時代から中世にかけての土坑や溝などの遺構が見つかったほか、弥生時代から古墳時代の土器が大量に出土した。このことから本調査地においても弥生時代から中世の遺跡が確認されることが予想された。また、試掘調査では遺構（土坑・溝）と遺物（弥生土器・土師器・須恵器・石器）が確認されたことにより、埋蔵文化財発掘調査を実施することになった。調査は、弥生時代から中世の集落範囲や構造の確認を主目的とし、便宜上 8 地区に区割りして行った。調査の結果、土坑 5 基、溝 2 条、柱穴 1 基を検出した。遺物はこれら遺構内より土師器、須恵器、石製品が出土した。SK801 は調査区 8 区で検出した土坑で、土坑北辺は攪乱及びトレンチにより欠如、西・南側は調査区外に続き全容は不明である。規模は検出長 98cm、幅 84cm、深 30cm を測る。断面形は逆台形状と考えられ、埋土は灰褐色粘性土の単一層である。遺物は埋土中より土師器の甕・高坏、須恵器の高坏・把手付甕が出土した。この須恵器の把手付甕は、形態が樽味高木遺跡 11 次調査出土の韓式系土器と似ており、朝鮮半島系の土器と考えられる。

**まとめ** 今回の調査で注目される資料は、朝鮮半島系の土器である。同様の土器は、筋違 F 遺跡や筋違 J 遺跡を含む福音寺地区に集中して出土しており、古墳時代の福音寺地区にはこのような土器を持つ集団が形成する集落の存在が考えられる。今後は、福音寺地域での発掘調査の増加により、特に古墳時代集落の範囲や構造等が判明することを期待する。



写真 1 調査終了後の様子（南東より）

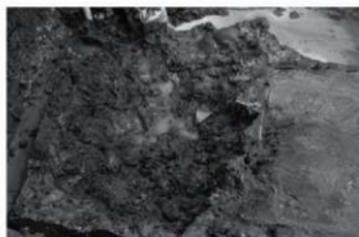


写真 2 8 区 SK801 遺物出土状況（南より）

きたくぼたしちたんじ  
北窪田七反地遺跡

所在地	松山市北窪田町 669 番の一部 (包蔵地 No.131)
期間	平成 28 年 7 月 19 日～平成 28 年 8 月 9 日
面積	268㎡
原因	緊急調査 (老人ホーム建設)
担当	水本完児



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野南東部、標高 44.90 m に立地する。調査地の周辺では、久米窪田古屋敷遺跡 1・2 次調査、久米窪田森元遺跡 1 次～4 次調査、久米窪田 I～IV 遺跡があり、縄文時代から中世の集落関連遺構や遺物が多数出土している。調査で検出した遺構は、溝 1 条と自然流路 1 条である。遺物は縄文土器片、弥生土器片、石錘、管玉が出土した。

今回の調査では、遺構は弥生時代後期の溝 1 条 (SD1) と弥生時代後期末の自然流路 1 条 (SR1) である。SD1 は東西方向の溝で、上面を自然流路 SR1 が覆う。規模は検出長 2.48 m、幅 0.58～0.74 m、深さ 5～12cm を測る。溝内からは、弥生土器片が数点出土した。SR1 は調査区北部で検出し、規模は検出長 18.00 m、幅 2.25～5.65 m、深さ 2.0～18.0cm を測る。遺物は弥生土器片や石錘、管玉が出土した。

**まとめ** 本調査では、弥生時代の遺構と縄文時代から弥生時代までの遺物を確認することができた。ここでは、時代別に概要をまとめる。縄文時代の遺構は未検出であるが、遺物は第 VI 層灰白色粘質土より、縄文時代晩期の深鉢が出土した。これらの遺物は、調査地近隣に存在する縄文時代集落に関連する資料と考えられる。弥生時代では、溝 SD1 や自然流路 SR1 から出土した遺物により、調査地周辺には弥生時代後期集落が存在したものと考えられる。残念ながら、建物址や土坑などは検出されておらず断定はできないが、地形環境や遺構の検出より、居住域は調査地東方に広がっている可能性が高いと推測される。

なお、今回の調査により、調査地北方に展開する縄文時代から弥生時代の集落が、さらに南方へ広く展開していることが判明した。



写真 1 遺構完掘状況 (北より)



写真 2 SD1 完掘状況 (東より)

えばらにぼり  
恵原新張遺跡 3次調査

所在地	松山市恵原町甲 1454 番 3 (包蔵地外)
期間	平成 28 年 5 月 9 日～平成 28 年 6 月 3 日
面積	207㎡
原因	農地整備事業 (通作条件整備) 松山南部 3 期地区農道工事
担当	水本完児



図 1 調査地位置図

**概要** 本調査は、愛媛県中予地方局が農地整備事業 (通作条件整備) 松山南部 3 期地区農道工事に伴い実施したもので、調査以前は雑種地であり、現況の標高は、70.5 ～ 70.8 m である。平成 27 年度には恵原新張遺跡の調査が 2 回行われ、遺構と遺物は弥生時代から近現代までが発見されている。1 次調査では、弥生時代や古墳時代の竪穴建物や土坑のほか、古墳時代の掘立柱建物や古墳時代終末期の古墳 (石室) 1 基が確認されている。2 次調査からも弥生時代や古墳時代の竪穴建物や古墳時代の建物や溝のほか、古墳時代終末期の古墳 (石室) 1 基が確認されている。古代では、掘立柱建物や溝が検出されている。

調査は、調査区を南区と北区に分けて行った。遺構は竪穴建物 2 棟、土坑 6 基、柱穴 10 基を検出し、遺物は弥生土器、土師器、須恵器、石器が出土した。弥生時代では、中期中葉の土坑 2 基 (SK502・505) と中期後半の土坑 1 基 (SK503) を検出した。SK503 は直径 1.26 m の円形土坑で、食糧を保管するための貯蔵用として利用されたものと推測される。古墳時代では 2 棟の竪穴建物を検出した。両者は平面形態が方形状をなす建物で、規模は 7 m を超える建物である。SB501 のカマド内には押し潰された甕が埋置されており、建物廃絶の際に何らかの祭祀行為がなされたものと推測される。

**まとめ** 狭小範囲の調査であったが、弥生時代や古墳時代の集落様相が知れる貴重な成果を得ることができた。遺跡の変遷では、当地に集落が出現するのは弥生時代中期中葉であり、多少の断絶はあったにしろ、古墳時代後期まで集落経営が行われ、古墳時代終末期には古墳が築造されることになる。弥生時代中期から古墳時代後期までは、生活空間として土地利用されていたものが、古墳時代終末期には墓域として利用されたことがわかる。古代以降の様相は定かではないが、1 次調査において鎌倉時代の土器溜まりを検出していることから、中世段階には集落が営まれていたものと推測される。調査地一帯には弥生時代や古墳時代の遺跡が展開している可能性が極めて高いと考えられる。



写真 1 北区遺構完掘状況 (南東より)



写真 2 南区遺構完掘状況 (北東より)

## Ⅱ 平成 28 年度

### 松山市埋藏文化財調査関係資料

## 平成 28 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料

### 例 言

1. 本編は、松山市教育委員会事務局文化財課・公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査及び本発掘調査資料である。
2. 埋蔵文化財確認調査は、平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日受付迄（申請番号 1～276 号）の資料を取り扱う。なお、平成 28 年度以前の資料については、『松山市埋蔵文化財調査年報 I～X（昭和 60～平成 9 年度）、同年報 11～28（平成 10～27 年度）』を参照されたい。
3. 資料作成（一覧表・付録図）は、相原浩二の指導のもと浅井茂之、山邊進也、岡崎政信が行った。
4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認申込書の番号に順するものである。また、本発掘調査については、平成 28 年度に行った調査を取り扱う。
5. 付録図は、国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図（伊予北条・三津浜・松山北部・郡中・松山南部）を使用し、8 万分の 1 の縮尺で記載した。
6. 一覧の略記について
  - ①標 高：地表面での測定値。
  - ②申 込 者：公＝施主公共団体、民＝施主一般。
  - ③調査方法：空白は未調査等。
  - ④緊 急：記録保存を目的とした調査。国補：国庫補助事業調査。

### 埋蔵文化財の保護について

文化財は、わが国の歴史・文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであり、かつ将来の文化の向上、発展の基礎をなすものです。それら文化財の保存・活用による国民の文化的向上を目的として昭和 25 年に制定された文化財保護法には、国民の心構えとして、「政府及び地方公共団体がこの目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない」こと、「文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに、その文化的活用にも努めなければならない」ことが記されています。また同時に政府及び地方公共団体は、関係者の所有権その他の財産権を尊重しなければならないこととなっています。

### ●周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出および確認調査について

埋蔵文化財包蔵地とは、貝塚、古墳、城跡等はもとより、土器片等の地表面での散布が認められる場所（散布地）、並びに土中での包含が認められる場所（包含地）をいいます。

埋蔵文化財は、建造物等の他の文化財と違って主に地下に存在するため、土木工事等による破壊を免れない場合があります。そのため、地図（註 1）に示された「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事等を行なう場合は、60 日前までに愛媛県教育委員会への届出が義務付けられています。また、その届出に伴い埋蔵文化財の有無を確認するための調査（踏査、試掘等）を行いますので、土木工事等の計画がある場合は事前に松山市教育委員会文化財課へご相談ください。

註 1. 地図（松山市埋蔵文化財包蔵地図）は、市教委文化財課にて配布しているほか、市教委文化財課ホームページでも閲覧が可能となっております。

## 松山市埋藏文化財調査関係資料

表1 平成28年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(1)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	調査方法	遺跡・遺構の有無	包含層・遺構名	出土遺物	備考
1	朝美二丁目	534.15	18.30	No.34	民	履歴	—			H21-291 試掘調査 (無)
2	北久米町	279.10	33.70	No.124	公	履歴	—			H3-87 試掘調査 (無) H24-7 試掘調査 (無)
3	北斎院町	173.87	7.60	No.27	民	試掘	無			
4	平井町	259.98	59.10	No.152	民	試掘	有	柱穴	弥生土器	
5	南高井町	498.00	36.20	No.134	民	試掘	無			
6	朝美二丁目	165.30	14.70	No.34	民	試掘	有	○溝	土師器・須恵器 弥生土器 時期不明土器	
7	桑原四丁目	149.79	38.30	No.85	民	履歴	—			H27-217 試掘調査 (無)
8	祝谷六丁目	175.21	59.17 60.78	No.55	公	履歴	—			H3-876 試掘調査 (無) H10-309 試掘調査 (無)
9	北井門三丁目	1,234.88	22.70	No.121	民	試掘	有	土塊・柱穴	土師器 瓦質土器	
10	南久米町	133.75	35.60	No.127	民	試掘	有	壱穴建物	土器片	
11	今在家二丁目	65.00	31.00	No.125	民	履歴	—			H25-111 試掘調査 (有)
12	祝谷二丁目	470.15	37.30	No.57	民	試掘	無	○	弥生土器 時期不明土器	
13	樽味四丁目	1,096.77	39.20	No.81	民	履歴	—			H18-202 試掘調査 (有)
14	南久米町	146.65	39.60	No.127	民	履歴	—			H26-292 試掘調査 (有)
15	南久米町	1.80	32.50	No.126-1	公	履歴	—			H27-229 試掘調査 (有)
16	桑原六丁目	3.25	33.03	No.82	公	履歴	—			H3-442 試掘調査 (無)
17	来往町	3.80	35.70	No.127	公	履歴	—			H27-153 試掘調査 (有)
18	東山町	353.00	3.00	包蔵地外	公	試掘	無			
19	桑原五丁目	167.22	34.60	No.82	民	履歴	—			H27-179 試掘調査 (無)
20	朝日ヶ丘二丁目	1,980.30	18.80	包蔵地外	民	試掘	有	○溝・土塊 溝状遺構	土師器・須恵器 陶器・瓦片 銅銭・鉄製品	90条堀出
21	安岡	900.00	13.80	包蔵地外	公	試掘	無			
22	平井町	122.66	57.90	No.152	民	履歴	—			H27-14 試掘調査 (有)
23	中村二丁目	175.79	27.20	No.161	民	試掘	無	○	弥生土器	
24	東本一丁目	1,159.00	32.60	No.82	民	試掘	無	○	土師器 弥生土器	
25	平井町	142.69	57.90	No.152	民	履歴	—			
26	小坂二丁目	297.57	29.60	No.110	民	試掘	無			
27	樽味四丁目	2,304.79	39.30 39.70	No.81	民	履歴	—			H27-253 試掘調査 (有) H27-254 試掘調査 (有) 墓誌 榎川内海遺跡 掘出調査
28	東石井三丁目	358.87	37.00 35.50	No.118	民	履歴	—			H25-221 試掘調査 (有)
29	桑原六丁目	1,793.83	34.40	No.82	民	試掘	有	○性格不明遺構 溝状遺構	弥生土器 土師器・須恵器	墓誌 桑原遺跡 7 次調査
30	南久米町	4.25	32.90	No.127	公	履歴	—			
31	平井町	364.18	57.90 58.00	No.152	民	履歴	—			H26-177 試掘調査 (有) H27-251 試掘調査 (有)
32	南高井町	2,090.00	36.10	No.134	民	試掘	有	○壱穴建物 集石遺構	弥生土器 時期不明土器	
33	福音寺町	211.55	26.90	No.116	民	試掘	無			
34	余戸東四丁目	680.00	8.40	包蔵地外	公	試掘	無			
35	北斎院町	1,312.47	9.70	No.156	民	試掘	有	○溝・土塊	弥生土器 土師器・須恵器 瓦質	

## 松山市埋藏文化財調査関係資料

## 平成 28 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(2)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	調査方法	遺跡有・無	包含層○ 遺構名	遺物	備考
36	北井門四丁目	1,806.50	22.80	No.121	民	履歴	—			H21-432 試験調査済 (他)
37	朝美二丁目	165.38	14.70	No.34	民	履歴	—			H27-234 試験調査済 (他)
38	米住町	286.80	39.70	No.127	民	試掘	無			
39	鷹子町	2,020.87	44.30	No.128	民	履歴	—			H27-220 試験調査済 (他)
40	朝美二丁目	393.38	15.10	No.34	民	試掘	無			
41	北久米町	1,512.00	32.50	No.123	民	試掘	無			
42	北井門三丁目	3.41	22.70	No.121	公	履歴	—			H28-9 試験調査済 (有)
43	平井町	142.88	57.90	No.152	民	履歴	—			H27-14 試験調査済 (有)
44	北梅本町	309.86	77.20	No.107	民	試掘	無			
45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃棄
46	東本一丁目	1,472.00	31.90	No.82	民	試掘	無	○ 弥生土器 土師器・青磁片		
47	南江戸四丁目	2.30	12.60	No.35	公	履歴	—			H27-348 試験調査済 (他)
48	山越一丁目	110.69	18.50	No.160	民	試掘	無	○ 弥生土器 木片		
49	北齋院町	876.00	10.00 14.00	No.26	民	履歴	—			H27-241 試験調査済 (有)
50	南久米町	666.95	35.60	No.127	民	履歴	—			H26-192 試験調査済 (有) H27-246 試験調査済 (有) H28-10 試験調査済 (有)
51	道後緑台	968.79	41.50	No.57	民	試掘	無	○ 弥生土器 土師器・須恵器 石造丁		
52	東本一丁目	255.26	33.50	No.82	民	試掘	有	○ 土坑	弥生土器	
53	福音寺町	11.32	33.10	No.116	公	履歴	—			H27-306 試験調査済 (他)
54	山越一丁目	151.35	17.90	No.160	民	試掘	無	○	時期不明の 土器片	
55	別府町	422.00	6.00	包蔵地外	公	試掘	無			
56	西石井五丁目	134.87	19.90	No.119	民	試掘	無	○	弥生土器	
57	道後湯月町	0.30	45.60 44.70	包蔵地外	公	履歴	—			H17-27 試験調査済 (他)
58	祝谷東町	6,777.00	50.00 63.50	No.54	民	試掘	有	○ 溝・柱穴	時期不明土器 土師器・須恵器 弥生土器・鉄片	
59	持田町一丁目	54.83	36.00	No.209	民	履歴	—			
60	持田町一丁目	8.29	35.00	No.209	民	履歴	—			
61	文京町	367.30	25.60	No.67	民	履歴	—			
62	祝谷六丁目	438.00	47.70	No.55	民	試掘	無	○	弥生土器	
63	北齋院町	876.00	10.00 14.00	No.26	民	履歴	—			H27-241 試験調査済 (有) 製急 (国庫) 齋院及山越跡 3 次調査
64	南江戸五丁目	385.00	13.80	No.33	民	試掘	無	○	土師器	
65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃棄
66	北井門四丁目	1.50	23.40	No.222	公	履歴	—			
67	小坂三丁目	264.60	27.50	No.110	民	試掘	無			
68	柳味二丁目	232.39	45.00	No.81	民	試掘	無			
69	道後町一丁目	318.91	36.80	No.214	民	試掘	無			
70	北井門二丁目	201.26	26.00	No.222	民	試掘	無			
71	福音寺町	271.14	29.20	No.116	民	試掘	無			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 平成 28 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(3)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	調査方法	遺存・無	包含層 遺構名	出土遺物	備考
72	高岡町	367.73	7.80	No.27	民	試掘	無			
73	西石井四丁目	3.12	18.80	No.119	公	履歴	—			H27-307 試掘調査済(有) 緊急 西石井遺跡7次調査
74	祝谷東町	10,762.00	51.20 ~ 77.50	No.54	民	試掘	有	○ 溝	弥生土器 土師器・須恵器	
75	北井門二丁目	314.00	25.40	No.222	民	試掘	有	○ 溝	弥生土器	
76	桑原六丁目	138.19	33.10	No.82	民	試掘	無			
77	平井町	1,122.33	59.10	No.152	民	試掘	無			
78	天山一丁目	299.40	22.10	No.112	民	試掘	無			
79	北井門三丁目	175.13	21.50	包蔵地外	民	履歴	—			H26-71 試掘調査済(有)
80	平井町	656.22	59.10	No.152	民	試掘	無			
81	東本一丁目	322.00	34.00	No.82	民	試掘	有	○ 溝	弥生土器 土師器	
82	小坂二丁目	639.11	30.50	No.83	民	試掘	無			
83	持田町三丁目	332.47	35.40	No.72	民	試掘	有	○ 土坑	土師器 須恵器	
84	郷原一丁目	267.76	24.80	No.168	民	試掘	有	○	弥生土器	
85	北斎院町	998.84	9.70	No.156	民	履歴	—			H28-35 試掘調査済(有)
86	衣山二丁目	171.03	24.80	No.20	民	履歴	—			H23-305 試掘調査済(有)
87	西石井五丁目	376.00	20.50	No.119	民	試掘	有	竪穴建物 柱穴	土師器	
88	南江戸二丁目	42.40	13.06	No.37	公	履歴	—			H3-69 試掘調査済(無) H16-25 試掘調査済(無)
89	南江戸三丁目	150.22	24.15 13.00 13.40	No.35・37	公	履歴	—			H3-88 試掘調査済(無) H9-20 試掘調査済(無) H15-303 試掘調査済(無)
90	南久米町	495.89	34.90	No.126-1	民	履歴	—			H26-91 試掘調査済(有)
91	樽味二丁目	149.00	42.00	No.81	民	試掘	有	特穴 土坑	弥生土器	
92	南江戸五丁目	166.50	13.50	No.221	民	試掘	有	○ 土坑	弥生・土師器 三足付銅足	
93	福音寺町	307.00	23.00	No.112	民	試掘	無			
94	朝美二丁目	156.28	14.70	No.34	民	履歴	—			H28-4 試掘調査済(有)
95	星岡一丁目	329.00	29.20	No.116	民	試掘	無			
96	東野一丁目	430.15	46.00	No.81	民	試掘	無	○	時期不明の 土器片	
97	福音寺町	172.00	23.50	No.112	民	試掘	無			
98	山越一丁目	165.28	18.30	No.160	民	試掘	無			
99	衣山二丁目	330.72	29.30	No.20	民	試掘	無			
100	今在家二丁目	123.90	31.00	No.125	民	履歴	—			H25-111 試掘調査済(有)
101	樽味四丁目	5.20	39.20	No.81	公	履歴	—			H18-202 試掘調査済(有)
102	北梅本町	152.07	77.20	No.107	民	履歴	—			H28-44 試掘調査済(無)
103	北井門三丁目	8.30	21.50	No.121	公	履歴	—			H10-288 試掘調査済(有) H26-71 試掘調査済(有)
104	道後町一丁目	392.15	37.30	No.214	民	履歴	—			H26-220 試掘調査済(有)
105	祝谷五丁目	125.42	52.00	No.55	民	試掘	無	○	須恵器 弥生土器	
106	西石井六丁目	2.40	23.20	No.119	公	履歴	—			H12-296 試掘調査済(無)
107	北久米町	951.55	29.30	No.124	民	履歴	—			H26-147 試掘調査済(有)
108	東本一丁目	322.00	34.00	No.82	民	履歴	—			H28-91 試掘調査済(有)

## 松山市埋藏文化財調査関係資料

## 平成 28 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(4)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	調査方法	遺 跡 有・無	包含層○ 遺構名	遺 物	備 考
109	北井門二丁目	314.06	25.40	No.222	民	履歴	—			H28-75 試験調査済 (他)
110	平井町	185.12	57.10 57.90	No.152	民	履歴	—			H26-177 試験調査済 (他) H27-252 試験調査済 (他)
111	南江戸四丁目	208.17	12.90	No.35	民	試掘	無			
112	文京町	1,240.00	26.50	No.67	民	履歴	—			
113	文京町	166.80	26.50	No.67	民	試掘	無	○	弥生土器	
114	文京町	67.54	25.60	No.67	民	履歴	—			
115	小坂四丁目	975.00	25.60	No.110・ 111	民	試掘	有	○ 土坑・溝	弥生土器 土師器、枕 瓦木	
116	小坂五丁目	1,675.00	24.00	No.111	民	試掘	無			
117	朝日ヶ丘二丁目	132.55	18.80	No.34	民	履歴	—			H28-20 試験調査済 (他)
118	来住町	162.21	39.90	No.127	民	履歴	—			H28-202 試験調査済 (他)
119	桑原六丁目	179.15	33.50	No.82	民	試掘	無			
120	東野一丁目	430.15	46.00	No.81	民	履歴	—			H28-96 試験調査済 (他)
121	南江戸四丁目	261.50	12.70	No.35	民	試掘	無			
122	久万ノ台	126.89	17.00	No.167	民	試掘	無	○	弥生土器	
123	会津町	593.00	2.00	包蔵地外	公	試掘	無			
124	持田町一丁目	132.50	34.50	No.209	民	履歴	—			
125	朝日ヶ丘二丁目	158.00	18.80	No.34	民	履歴	—			H28-20 試験調査済 (他)
126	鷹子町	659.39	44.50	No.128	民	試掘	無	○ 溝・柱穴	土師器・陶器	
127	朝美二丁目	299.87	16.60	No.34	民	試掘	無			
128	西長戸町	306.53	9.80	No.17	民	試掘	有	土坑・柱穴	弥生土器	
129	東方町	245.22	59.70	No.143	民	試掘	無			
130	北井門三丁目	337.44	22.60	No.121	民	試掘	無			
131	北井門三丁目	162.89	22.60	No.121	民	試掘	無			
132	北井門三丁目	153.86	22.60	No.121	民	試掘	無			
133	港山町	102.41	5.00 ~11.00	包蔵地外	公	踏査	無			
134	桑原六丁目	2,071.84	34.40	No.82	民	履歴	—			H28-29 試験調査済 (他)
135	朝日ヶ丘二丁目	125.65	18.80	No.34	民	履歴	—			H28-20 試験調査済 (他)
136	南土居町	407.59	41.50	No.132	民	試掘	有	○ 溝・土坑・柱穴	土師器 須恵器	
137	天山一丁目	388.24	21.20	No.112	民	試掘	無			
138	朝日ヶ丘二丁目	153.93	18.80	No.34	民	履歴	—			H28-20 試験調査済 (他)
139	平井町	757.15	77.10	No.90	民	試掘	無			
140	朝美二丁目	120.85	16.30	No.34	民	試掘	無			
141	東石井六丁目	694.22	23.70	No.119	民	履歴	—			H27-912 試験調査済 (他) H27-243 試験調査済 (他)
142	北久米町	65.93	33.60	No.124	公	履歴	—			
143	東石井六丁目	332.79	22.60	No.119	民	試掘	有	○	弥生土器 土師器・須恵器	
144	山越一丁目	99.18	18.50	No.160	民	試掘	有	○ 溝	弥生土器 土師器・須恵器	
145	朝日ヶ丘二丁目	134.85	18.80	No.34	民	履歴	—			H28-20 試験調査済 (他)

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 平成 28 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(5)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	調査方法	遺跡・踏査・無	包含層○遺構名	出土遺物	備考
146	朝日ヶ丘二丁目	143.13	18.80	No.34	民	履歴	—			H28-20 試掘調査済(有)
147	北梅本町	154.73	76.40	No.107	民	履歴	—			H17-172 試掘調査済(無)
148	北井門四丁目	573.00	22.80	No.121	民	試掘	有	○土坑	土師器・石器	
149	東方町	245.00	59.70	No.143	民	履歴	—			H28-129 試掘調査済(無)
150	北斎院町	128.94	9.20	No.156	民	履歴	—			H27-302 試掘調査済(無)
151	樽味二丁目	655.83	44.50	No.81	民	試掘	有	型穴建物 溝状遺構	弥生土器 土師器・須恵器 布目瓦	
152	平井町	399.97	89.40	No.90	民	試掘	有	○柱穴	弥生土器 土師器・須恵器	
153	小坂五丁目	12.20	23.10	No.111	公	履歴	—			H27-236 3回調査済(無)
154	米住町	2.40	36.70	No.127	公	履歴	—			H22-47 試掘調査済(無)
155	福音寺町	5.12	22.90	No.112	公	履歴	—			H 3-12b 試掘調査済(無) H 1-10 試掘調査済(無)
156	南久米町	3.90	36.15	No.126-1	公	履歴	—			H15-263 試掘調査済(無)
157	東石井六丁目	45.00	22.40	No.119	民	試掘	有	○	弥生土器	
158	南久米町	8.90	38.04	No.126-1	公	履歴	—			H 8-674 試掘調査済(無)
159	平井町	886.30	59.10	No.152	民	履歴	—			H28-4 試掘調査済(有) H28-80 試掘調査済(無)
160	上藤波	10,720.68	113.00 ~ 155.00	No.64	民	踏査	無			
161	小坂三丁目	264.60	27.50	No.110	民	履歴	—			H28-67 試掘調査済(無)
162	北久米町	689.96	29.80	No.124	民	試掘	有	溝状遺構 柱穴	弥生土器	
163	福音寺町	83.725	30.50	No.116	公	履歴	—			
164	米住町	230.03	37.90	No.127	民	履歴	—			
165	山越一丁目	132.24	18.50	No.160	民	試掘	無	○	弥生土器 土師器・須恵器	
166	北斎院町	195.10	10.50	No.156	民	試掘	無			
167	衣山二丁目	999.45	19.30	No.20	民	試掘	無	○	弥生土器 土師器・須恵器	
168	南久米町	191.20	46.20	No.91	民	試掘	無			
169	道後町一丁目	263.42	36.80	No.214	民	試掘	無			
170	平井町	133.90	57.90	No.152	民	履歴	—			H27-14 試掘調査済(有)
171	朝生田町三丁目	165.29	18.10	No.109	民	試掘	無			
172	桑原四丁目	319.28	40.80	No.85	民	試掘	無			
173	米住町	181.73	36.50	No.127	民	履歴	—			H25-137 試掘調査済(有)
174	樽味四丁目	188.62	41.30	No.81	民	試掘	無			
175	小坂二丁目	204.45	29.00	No.110	民	試掘	有	○ 土坑状遺構	弥生土器	
176	北井門三丁目	129.02	22.50	No.121	民	試掘	無			
177	星岡一丁目 北久米町	4,294.00	29.20	No.116	民	履歴	—			H19-130 試掘調査済(無) H19-131 試掘調査済(無) H28-90 試掘調査済(無)
178	東方町	147.04	55.60	No.143	民	履歴	—			H27-303 試掘調査済(有)
179	福音寺町	2.66	23.50	No.112	公	履歴	—			H28-97 試掘調査済(無)
180	北久米町	226.00	31.50	No.124	民	試掘	無	○	須恵器	
181	常竹	771.00	48.00 ~ 56.20	北条No.25	公	試掘	無			

## 松山市埋藏文化財調査関係資料

平成 28 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(6)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	調査方法	遺跡有・無	包含層○ 遺構名	遺物	備考
182	八反地	7631.00	32.20 ~ 36.50	北条No.34 北条No.66	公	踏査	—			
183	北梅本町	271.06	78.70	No.107	民	試掘	無			
184①	府中	12.41	9.00	包蔵地外	公	試掘	無		弥生土器	
185	河野別府	250.00	8.90	包蔵地外	公	試掘	無			
186	小坂五丁目	943.96	25.10	No.111	公	試掘	無			
187	祝谷六丁目	48.80	53.40	No.49	公	履歴	—			H26-32 試掘調査済 (有)
188	朝日ヶ丘二丁目	135.03	18.80	No.34	民	履歴	—			H28-20 試掘調査済 (有)
189	梅味四丁目	184.50	39.70	No.81	民	履歴	—			H27-254 試掘調査済 (有)
190	祝谷五丁目	242.04	55.10	No.55	民	試掘	有	○ 柱穴 溝状遺構	土師器 須恵器	寄集通知
191	朝日ヶ丘二丁目	134.81	18.80	No.34	民	履歴	—			H28-20 試掘調査済 (有)
192	北井門三丁目	316.77	22.60	No.121	民	履歴	—			H26-331 試掘調査済 (有) H26-332 試掘調査済 (有)
193	高田	442.00	28.50 32.00	包蔵地外	公	試掘	有	○ 柱穴	弥生土器 土師器	寄集通知
194	天山二丁目	125.10	23.00 ~ 44.00	No.117	民	試掘	無		須恵器	
195	山越一丁目	134.24	18.50	No.160	民	履歴	—			H28-165 試掘調査済 (有)
196	北久米町	5.90	34.90 35.20	No.126-1	公	履歴	—			H19-6 試掘調査済 (無) H22-770 試掘調査済 (無)
197	梅味四丁目	201.91	39.80	No.81	民	履歴	—			
198	文京町	16.50	25.60	No.67	民	履歴	—			
199	天山一丁目	152.70	21.50	No.117	民	試掘	無	○	土師器 須恵器	
200	南江戸四丁目	146.68	13.00	No.35	民	試掘	無			
201	梅味四丁目	123.40	39.30	No.81	民	履歴	—			H27-253 試掘調査済 (有)
202	河野別府	15,286.00	19.90	包蔵地外	公	試掘	有	○ 土坑・溝・柱穴 自然泥路	弥生土器 土師器・須恵器 瓦器、白磁 青磁、加工木	寄集通知
203	福音寺町	181.800	23.30	No.112	民	試掘	無			
204	中村一丁目	139.93	29.40	No.108	民	履歴	—			H20-181 試掘調査済 (有)
205	枝松一丁目	539.00	36.50	No.81	民	試掘	有	柱穴		
206	北井門二丁目	2.56	26.90	No.222	民	履歴	—			
207	来住町	186.40	40.10	No.127	民	試掘	有	○ 土坑・柱穴	弥生土器	
208	北久米町	426.00	31.60	No.126-1	民	試掘	有	○ 柱穴	弥生土器 土師器・須恵器	
209	天山一丁目	0.30	21.20	No.112	公	履歴	—			H28-137 試掘調査済 (有)
210	朝美二丁目	11.89	16.60	No.34	公	履歴	—			H28-127 試掘調査済 (有)
211	道後緑台	708.11	38.70	No.57	民	試掘	有	○ 土坑・溝 柱穴	弥生土器 土師器・須恵器	
212	朝日ヶ丘二丁目	126.63	18.80	No.34	民	履歴	—			H28-20 試掘調査済 (有)
213	天山一丁目	138.04	22.10	No.112	民	履歴	—			H26-78 試掘調査済 (有)
214	梅味四丁目	132.78	39.30	No.81	民	履歴	—			H27-253 試掘調査済 (有)
215	北久米町 星岡一丁目	1,824.015	29.40	No.116	民	履歴	—			H27-347 試掘調査済 (有)
216	辻町	750.27	13.80	No.221	民	試掘	有	○	土師器・瓦器 須恵器・鉄剣	

## 松山市埋藏文化財調査関係資料

## 平成 28 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(7)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	調査方法	遺跡・遺構の有無	包含層・遺構名	出土遺物	備考
217	南久米町	182.31	34.80	No.126-1	民	履歴	—			H27-202 試掘調査済 (無)
218	居相三丁目	1,418.37	19.30	No.119	民	試掘	無	○	弥生土器	
219	樽味一丁目	123.83	39.30	No.81	民	履歴	—			H27-253 試掘調査済 (有)
220	清水町一丁目	108.26	24.00	No.230	民	試掘	有	○ 溝・柱穴	弥生土器 土師器・瓦器	
221	樽味四丁目	143.40	39.70	No.81	民	履歴	—			H27-254 試掘調査済 (有)
222	桑原六丁目	179.15	33.50	No.82	民	履歴	—			H28-119 試掘調査済 (無)
223	畑寺町	284.00	68.00 ~ 72.00	No.88	民	試掘	無			
224	北井門四丁目	157.22	23.00	No.121	民	試掘	無			
225	来住町	122.96	36.50	No.127	民	履歴	—			H25-137 試掘調査済 (有)
226	安城寺町	1,569.00	8.60	No.154	民	試掘	有	溝	土師器	
227	来住町	564.51	39.90	No.127	民	試掘	無			
228	朝美二丁目	119.30	16.30	No.34	民	試掘	無			
229	朝美一丁目	5.92	13.80	No.34	公	履歴	—			H 6-9 試掘調査済 (無)
230	桑原六丁目	720.00	33.90 ~ 34.50	No.82	民	試掘	有	○ 土坑、溝 柱穴、自然遺跡	弥生土器 土師器、須恵器 青磁	
231	樽味四丁目	322.84	39.30	No.81	民	履歴	—			H27-253 試掘調査済 (有)
232	三番町六丁目	364.96	19.80	包蔵地外	公	試掘	無			
233	北斎院町	180.49	9.90	No.156	民	試掘	無	○	瓦器	
234	安城寺町	247.30	7.20	No.155	民	試掘	無			
235	東方町	685.00	85.30	No.165	民	試掘	無			
236	文京町	1.84	25.60	No.67	民	履歴	—			
237	持田町一丁目	2.20	34.70	No.209	民	履歴	—			
238	西石井二丁目	731.00	19.80	No.119	民	試掘	有	○ 土坑、溝 性格不明遺構	弥生土器 土師器、須恵器	
239	桑原二丁目	4.84	37.20 37.90	No.82	民	履歴	—			H16-79 試掘調査済 (無) H17-42 試掘調査済 (有)
240	小坂三丁目	539.94	27.40	No.110	民	履歴	—			H25-46 試掘調査済 (有)
241	東方町	393.29	55.70	No.143	公	試掘	無	○	時期不明土器	
242	樽味二丁目	655.00	44.50	No.81	民	履歴	—			H28-151 試掘調査済 (有)
243	樽味四丁目	150.81	39.70	No.81	民	履歴	—			H27-254 試掘調査済 (有)
244	一番町三丁目	0.0096	25.70	No.74	民	履歴	—			
245	北斎院町	157.76	7.80	No.27	民	履歴	—			H23-188 試掘調査済 (無)
246	樽味四丁目	188.62	41.30	No.81	民	履歴	—			H28-174 試掘調査済 (無)
247	東石井三丁目	4.00	28.20	No.118	民	履歴	—			
248	東本一丁目	951.46	31.50	No.82	民	試掘	有	○ 壱/3箇所、土坑	弥生土器	
249	北井門三丁目	4,136.65	22.60 ~ 22.80	No.121	民	試掘	有	壱穴建物	土師器	
250	南土居町	2,390.00	39.80	No.132	民	試掘	有	○ 壱穴建物 土坑、溝、柱穴	土師器 須恵器	
251	来住町	597.70	37.70	No.127	民	試掘	有	○ 土坑	弥生土器	
252	中西外	823.00	5.60	包蔵地外	公	試掘	無			

## 松山市埋藏文化財調査関係資料

## 平成 28 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(8)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	調査方法	遺跡有・無	包含層○ 遺構名	遺物	備考
253	辻町	1.33	13.80	No.221	公	履歴	—			H28-236 試験調査済 (無)
254	古川南一丁目	518.86	15.70	包蔵地外	公	試掘	無			
255	天山一丁目	200.47	22.10	No.112	民	試掘	無			
256	東本一丁目	3,956.45	32.60 31.90 31.50	No.82	民	履歴	—			H26-214 試験調査済 (無) H28-46 試験調査済 (無) H28-68 試験調査済 (有)
257	樽味二丁目	1,658.00	42.80	No.81	民	履歴	—			H18-180 試験調査済 (有) H18-181 試験調査済 (有)
258	北斎院町	256.87	9.00	包蔵地外	公	試掘	有	○ 我生土器 土師器・須恵器 木片		
259	朝生田町三丁目	46.18	18.83 18.90	No.109	公	履歴	—			H 4-51 試験調査済 (無) H 6-61 試験調査済 (無)
260	平井町	442.00	58.00	No.152	民	試掘	有	○ 土坑・溝	我生土器 土師器・須恵器	
261	桑原四丁目	0.09	39.00	No.85	公	履歴	—			H15-274 試験調査済 (無)
262	安城寺町	1,834.86	8.60	No.154	民	履歴	—			H28-226 試験調査済 (有)
263	久万ノ台	431.30	18.60	No.167	民	試掘	有	○ 土坑・柱穴	我生土器 土師器・須恵器	
264	平井町	1,122.35	59.10	No.152	民	履歴	—			H26-77 試験調査済 (無)
265	谷町	191.43	13.80	No.41	民	試掘	有	○	我生土器 土師器・須恵器	
266	西石井五丁目	148.77	20.30	No.119	民	履歴	—			H27-244 試験調査済 (無)
267	道後湯月町	396.94	66.00	No.58	公	試掘	有	○	我生土器 土師器・須恵器	
268	来住町	243.00	40.40	No.127	民	試掘	無			
269	谷町	284.43	22.20	No.41	民	試掘	有	○ 柱穴	我生土器 須恵器	
270	北久米町	767.42	29.80	No.124	民	履歴	—			H28-162 試験調査済 (有)
271	久米窪田町	1,539.00	45.60	No.129	民	試掘	有	○ 土坑・柱穴	我生土器 土師器・須恵器	
272	中村二丁目	727.87	27.60	No.110	民	試掘	有	溝・柱穴		
273	来住町	186.40	40.10	No.127	民	履歴	—			H28-207 試験調査済 (有)
274	樽味四丁目	143.43	41.00	No.81	民	履歴	—			H27-239 試験調査済 (有)
275	清水町三丁目	148.77	24.70	No.67	民	試掘	無			
276	谷町	956.01	17.10	No.41	民	試掘	無	○	我生土器	

表2 平成28年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧

遺跡番号	遺跡名	所在地	時代	主な遺構・遺物等	本格対象面積(m <sup>2</sup> )	原外調査期間	調査目的
607	南江戸上中遺跡2次調査	松山市南江戸1丁目506番1、507番1、3、508番1、3、510番1、511番2、4、8の各一部、307番2-4、509番、510番3、511番1-5、2.5又は水路	古墳・中世	土坑・溝・柱穴・井戸 埴輪器・土師器・弥生土器・井戸磚(赤)・人骨	約2100	H28.2.1～H28.7.5	緊急
611	大久保遺跡61次調査	松山市平和通2丁目6番16の一部	弥生	竪穴建物・土坑・溝・柱穴 弥生土器・埴輪器・石製器	108.81	H28.3.1～H28.4.15	緊急
612	取原生八反地遺跡	松山市取原町81番67-5、69、10、89番3-41、90番2-4の各一部、89番	中世	竪穴建物・土坑・土壇・井戸・溝・柱穴・水田跡・土師器 埴輪器・土師器・瓦器・高麗部	約874	H28.3.1～H28.5.31	緊急
613	道後湯之町遺跡2次調査	松山市道後湯之町甲1461番1-2、3-6、67番及び西側地	鎌倉・古墳	溝・土坑・溝・土壇・土師器 縄文土器・弥生土器・埴輪器・石器・鉄片	410.92	H28.4.1～H28.6.30	緊急
614	原原深遺跡3次調査	松山市原原町甲1454番3	古墳	竪穴建物・土坑・溝・柱穴 埴輪器・土師器・石器	207	H28.5.9～H28.6.3	緊急
615	西石井遺跡7次調査	松山市西石井町丁目503番1、503番3の各一部	弥生	土坑・溝・柱穴 縄文土器・土師器	約60	H28.5.11～H28.5.31	緊急
616	乃方の東遺跡3次調査	松山市北久米町776番1、777番3-5、778番1-4の各一部	古墳	溝・柱穴・水田跡 埴輪器・土師器・瓦器・高麗部	542	H28.6.1～H28.6.30	緊急
617	取原生八反地遺跡3次調査	松山市東原町905番6、817番8の一部	中世	溝・柱穴・水田跡 土坑・土壇・溝・柱穴 埴輪器・土師器・石器・鉄片	約296	H28.6.1～H28.7.25	緊急
618	辰谷大溝・田遺跡5次調査	松山市辰谷六丁目1027番1-4-5、1014番3の各一部	弥生・古墳	土坑・井戸・溝・柱穴・水田跡 土師器・埴輪器・瓦器・高麗部	約1160	H28.6.1～H28.9.15	緊急
619	倉戸柳井田遺跡6次調査	松山市倉戸町四丁目2180番4の一部	中世	土坑・井戸・溝・柱穴・水田跡 土師器・埴輪器・瓦器・高麗部	約715	H28.6.23～H28.9.30	緊急
620	勝味高水遺跡18次調査	松山市勝味町丁目255番、241番、242番、246番の各一部	弥生・古墳 古代・中世	竪穴建物・土坑・溝・柱穴 弥生土器・土師器・埴輪器・石器	約300	H28.7.15～H28.8.31	緊急
621	北窪田反地遺跡	松山市八木窪町699番の一部	弥生	溝 縄文土器・弥生土器・菅玉・石器	298	H28.7.19～H28.8.9	緊急
622	辰谷大溝・田遺跡6次調査	松山市辰谷六丁目1027番1-4-5、1014番3、1041番1の各一部	古墳・古墳 弥生・古墳	土坑・土壇・溝・柱穴 弥生土器・埴輪器・石器・水刀の断頭	2430	H28.9.16～H29.1.15	緊急
623	取原生八反地遺跡4次調査	松山市取原町81番4	中世	土坑・井戸・溝・柱穴・水田跡 土師器・埴輪器・瓦器・高麗部・木製品・種子 (鎌倉・室町)	約177	H28.10.31～H28.11.29	緊急
624	松山城二之丸跡19次調査	松山市城之内12、無遺構の各一部	古墳	高麗土手・土坑・溝・柱穴・石製器・石 埴輪器・瓦・木製品・土師器・石	約210	H28.11.1～H29.2.28	緊急 見掛整備 (国庫)
625	南窪田遺跡3次調査	松山市北窪町1219番2の一部	弥生・古墳	竪穴建物・土坑・溝・柱穴・壺 弥生土器・土師器	519.5	H28.11.16～H29.2.7	緊急 (国庫)
626	桑原遺跡7次調査	松山市桑原六丁目727番1の一部	弥生・古墳	溝・柱穴 弥生土器・土師器	約110	H28.12.19～H29.1.31	緊急
627	辰谷大溝・田遺跡7次調査	松山市辰谷六丁目1027番1-4-5、1014番3、1041番1の各一部	弥生	土坑・溝・柱穴 縄文土器・弥生土器・石製品・木製品	1.673	H29.1.16～H29.3.31	緊急
628	碓石古墳3次調査	松山市桑原四丁目408番	古墳	溝・溝・柱穴 土師器・埴輪器・石器	約14	H29.3.1～H29.3.14	保存 (国庫)

図1 平成28年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図



Ⅲ 平成 28 年度  
出土物整理・保存処理事業

# 平成 28 年度 出土物整理・保存処理事業

## 1. 出土物整理

当センターでは、近年実施された発掘調査の整理作業と並行して、過去の調査に関する資料の再整理をおこなっている。

報告書作成に向けて作業を進めている遺跡の出土品については、必要に応じて注記・接合・復元作業を拡充した上で、実測作業と写真撮影をおこなっている。報告書が刊行された遺跡の出土品については、掲載順に配列したうえで当センター収蔵庫と別棟の松山市文化財情報館のいずれかに収納するほか、胴部の小片等については市内北吉田町の収蔵庫にて保管している。また、重要遺物については、温湿度管理がなされ、自動消火システムが設置されているセンターの特別収蔵庫にて厳重に保管している。いずれの収蔵場所においても収蔵台帳を作成し、資料調査の依頼等に迅速に対応できる体制をとっている。なお、遺構・遺物の実測図・作業日誌・写真のネガ・ポジフィルム等は、センターの所定の場所に保管しつつ、必要に応じて再整理を実施することによって、省スペース化を目指している。

### (1) 遺物洗浄・注記・接合・復元作業

石膏による土器の復元作業は、報告書掲載写真の撮影と展示目的に加え、遺物の補強のためにおこなう場合もある。近年は、過去に復元済みの遺物について、経年劣化による破損個所の修復をおこなうこともある。作業に際しては、対象遺物を厳選するなどして業務量の適正化に努めている。

表1 遺物接合・復元作業一覧

(1)

遺跡 No	遺 跡	点数	天箱数	調査年度	刊 行 物	備 考
197	南江戸簡目遺跡	3	1	平成 2 年	松山市文化財調査報告書 第 22 集	
607	南江戸上沖遺跡 2 次調査	5	1	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
603	松山城本丸跡 8 次調査	2	2	平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	国庫補助
612	東垣生八反地遺跡	3	1	平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
601	土居窪遺跡 4 次調査	2	1	平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	国庫補助
616	乃万の裏遺跡 3 次調査	2	1	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
608	朝美辻遺跡	1		平成 20 年	松山市文化財調査報告書 第 190 集	
595	平井遺跡 10 次調査	2	1	平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
611	文京遺跡 64 次調査	6	4	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
571	西石井遺跡 6 次調査		40	平成 25 年	松山市埋蔵文化財調査年報 26	
615	西石井遺跡 7 次調査	1		平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
489	來住壱寺 34 次調査	1		平成 19 年	松山市埋蔵文化財調査年報 20	国庫補助
618	祝谷大地×田遺跡 5 次調査		1	平成 16 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
490	西石井遺跡 4 次調査 (立会)	1		平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
564	祝谷大地×田遺跡 4 次調査		10	平成 25 年	松山市埋蔵文化財調査年報 26	
407	姫原遺跡 2 次調査	18	5	平成 14 年	松山市文化財調査報告書 第 189 集	国庫補助
581	船ヶ谷遺跡 5 次調査		17	平成 26 年	松山市埋蔵文化財調査年報 27	
624	松山城三之丸跡 19 次調査	7	1	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	国庫補助
591	忠原新張遺跡 1 次調査		21	平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
614	忠原新張遺跡 3 次調査			平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
636	桑原遺跡 7 次調査	3	1	平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	

遺物接合・復元作業一覧

(2)

遺跡 No	遺跡	点数	天箱数	調査年度	刊行物	備考
628	経石山古墳3次調査	1	1	平成28年	松山市埋蔵文化財調査年報29	
622	祝谷大地へ田遺跡6次調査	10	5	平成28年	松山市埋蔵文化財調査年報29	
	寄贈品の縄文土器	1			破損のため修復	

## (2) 遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業

出土品は報告書刊行計画にしたがって分類し、必要なものについて実測図の作成やトレース作業を行っている。近年はデジタルトレースに完全に移行している。遺構測量図等に関しても同様である。

以下、作業を実施した遺跡について概要を記す。

表2 遺物実測・製図・収蔵・図面整理作業一覧

遺跡 No	遺跡 (調査回数)	報告書名	備考
551	樺味四反地遺跡23次調査	樺味四反地遺跡23次調査	平成28年度刊行
546	東本遺跡5次調査	東本遺跡5次調査	平成28年度刊行
567	大峰ヶ台遺跡13次調査	大峰ヶ台遺跡13次調査	国庫補助 平成28年度刊行
341	道後今市遺跡12次調査	道後今市遺跡12次調査	
407	姫原遺跡2次調査	姫原遺跡2次調査	国庫補助 平成28年度刊行
418	辻遺跡5次調査	宮前川流域の遺跡Ⅲ	平成28年度刊行
544	辻町遺跡3次調査		
509	朝美辻遺跡1次調査		
558	朝美辻遺跡2次調査		
403	久米高畑遺跡55次調査	久米高畑遺跡55次調査	国庫補助 平成29年度刊行予定
406	久米高畑遺跡56次調査	久米高畑遺跡56次調査	
535	樺味四反地遺跡22次調査	樺味四反地遺跡22次調査	国庫補助 平成29年度刊行予定
613	道後湯之町遺跡2次調査	道後湯之町遺跡2次調査	平成29年度刊行予定
581	船ヶ谷遺跡5次調査	船ヶ谷遺跡5次調査	平成29年度刊行予定
346	筋違M遺跡	筋違M遺跡	国庫補助 平成29年度刊行予定
514	筋違Q遺跡	筋違Q遺跡	
596	南江戸上沖遺跡1次調査	南江戸上沖遺跡1次調査	平成29年度刊行予定
607	南江戸上沖遺跡2次調査	南江戸上沖遺跡2次調査	
591	恵原新張遺跡1次調査	恵原新張遺跡(未定)	平成29年度刊行予定
594	恵原新張遺跡2次調査		
614	恵原新張遺跡3次調査		
583	余戸中ノ孝遺跡1次調査	松山外環状線調査報告書(未定)	平成29年度刊行予定
584	余戸中ノ孝遺跡2次調査		
605	余戸中ノ孝遺跡4次調査		
606	余戸中ノ孝遺跡5次調査		
585	余戸柳井田遺跡1次調査		
598	余戸柳井田遺跡2次調査		
600	余戸柳井田遺跡3次調査		
619	余戸柳井田遺跡6次調査		
612	東垣生八反地遺跡		
617	東垣生八反地遺跡3次調査		
623	東垣生八反地遺跡4次調査		
604	南吉田南代遺跡1次調査		

## (3) 遺物写真撮影・現像・整理作業

平成 28 年度に報告書を刊行した遺跡について、掲載遺物の写真撮影、黑白フィルムの現像と焼き付け、組版を行った。また、過去の調査のネガの整理、台帳作成のほか、リバーサルフィルムの再取納を実施することによって取納スペースの確保に努めた。なお、これらの作業のうち、過去に国からの補助を受けて発掘調査を行った遺跡の整理の際には、国庫補助を受けて実施したものもある。

遺跡と遺物の写真撮影に関しては、文化庁の基準に従って、原則としてフィルムカメラによることとしているが、教育普及活動の記録写真や試掘調査の工程写真等について、近年は DX フォーマット機ないしコンパクトカメラを用いたデジタル撮影を行っている。平成 25 年度以降、遺跡における遺構の撮影に際しても FX フォーマット機 1 台を導入し、大判・中判のフィルムカメラを補う試みも始めている。なお、所蔵写真の提供依頼に対しては、当財団が松山市から受託している指定管理業務の一環として対応している。そのほとんどについてデータ化するなどして要望に応じた対応を行っている。

平成 28 度に写真関係の作業を実施した遺跡や遺物は、以下の刊行物に掲載している。

表 3 遺物写真・現像・整理作業一覧

報告書 No	報 告 書	所収遺跡数	備 考
	年報 28	22	28 年度刊行
186	樟味四反地遺跡 23 次調査	1	28 年度刊行
187	東本遺跡 5 次調査	1	28 年度刊行
188	大峰ヶ台遺跡 13 次調査 道後今市遺跡 12 次調査	2	28 年度刊行・国庫補助
189	姫原遺跡 2 次調査	1	28 年度刊行・国庫補助
190	辻遺跡 5 次調査 辻町遺跡 3 次調査 朝美辻遺跡 1 次調査 朝美辻遺跡 2 次調査	4	28 年度刊行

## (4) 工事立会調査遺物整理作業

ここでは、文化財保護法第93条の届出に対する愛媛県教育委員会の指示に基づいて行った工事立会や、同96条に基づく遺跡発見の届出に対して行った保護措置の2件について報告する。

表4 工事立会調査遺物整理一覧表

調査番号	種別	調査年度	所在地	検出遺構	出土遺物	備考
1 H28-020	工事立会	平成28年度	朝日ヶ丘二丁目1095番1、1096番	土坑・溝・柱穴	弥生土器・土師器・須恵器・瓦・鉄製品	
2 H28-073	工事立会	平成28年度	松山市西石井四丁目503番1、503番3の各一部	竪穴建物・溝・土坑・柱穴	弥生土器・須恵器	西石井遺跡7次調査

## 1 H28-020 朝日ヶ丘二丁目立会調査

所在地 松山市朝日ヶ丘二丁目1095番1、1096番

期間 平成28年4月25日～7月11日

原因 不時発見

担当 松山市教育委員会文化財課 西村 直人・山内 英樹・新原 佑典  
松山市埋蔵文化財センター 相原 浩二

概要 この調査は、周知の埋蔵文化財包蔵地外における不時発見に対して実施したものである。当該地は松山平野北西部に所在する大峰ヶ台北東丘陵斜面、標高約18m～20.5mに位置する。大峰ヶ台丘陵には弥生時代の高地性集落のほか、朝日谷2号墳を始めとする古墳時代前期から後期に至る古墳群が存在することで知られている。

事業者からの遺物発見の報告を受けて現地を確認し、既掘削範囲の土層断面を観察したところ、粗密あるものの、当該地はほぼ全域において瓦や土師器を含む遺物包含層の存在を認めた。併せて届け出された図面から掘削が行われる6カ所の調査を行った。調査からは土坑・溝・柱穴を検出し、遺物では瓦・土師器・須恵器が出土した。ここでは瓦の集中散布地点(SD1)と茶屋遺構について報告する。

## 1) 溝(SD1)

SD1は調査区の北スロープに位置し、丘陵の傾斜に並行するように、東西方向に軸を取る。SD1の北方は緩やかに下降するが、人為的に削り下げたものか、自然地形の傾斜に起因するものかは判断を保留している。規模は上端幅1.5m、下端幅0.5mを測る。埋土は2層に分かれ、上層は灰褐色粘質土、下層は灰褐色土で上層よりも粘性が低くやや砂質を呈する。第21層黄橙色土(地山)を掘削して構築されている。遺物は上層より瓦、下層より土師器の坏と須恵器の甕が出土した。上層の瓦の



図1 調査地位位置図



写真1 調査地遠景(南より)

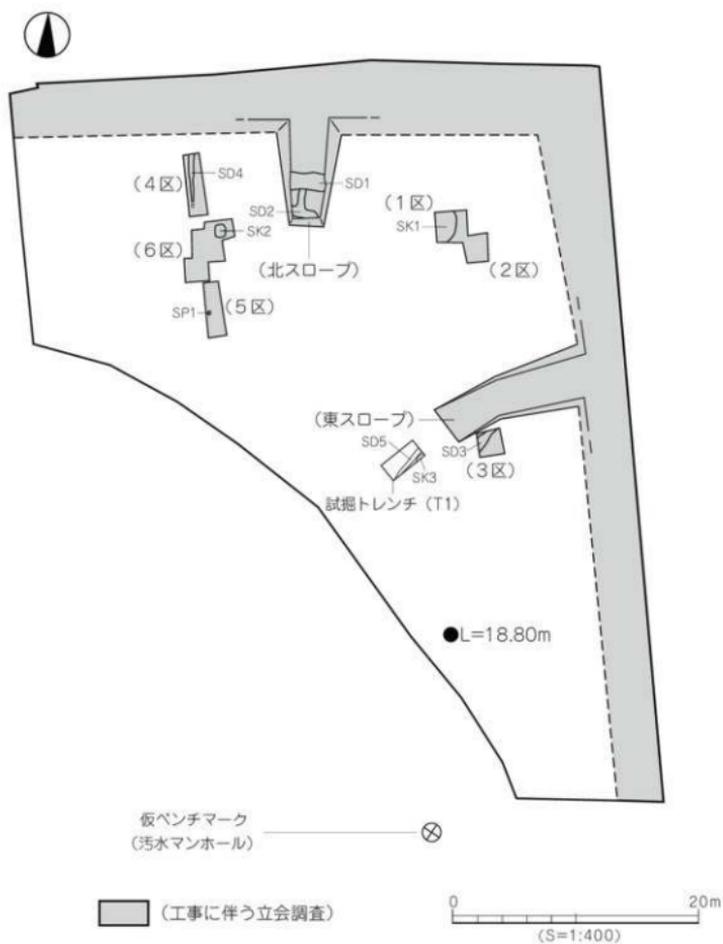
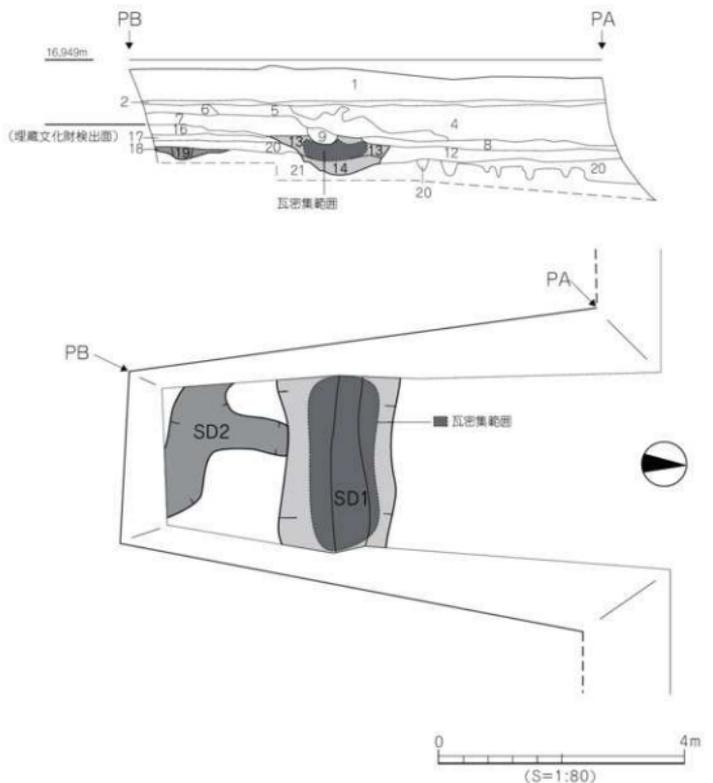


図2 工事立会調査遺構配置図・位置図

出土物整理



- |   |  |
|---|--|
| <p>1. 透成土<br/>2. 灰白色土 [2.5Y 7/1]<br/>3. 灰色土 [5Y 6/1] に黄色砂 [7.5YR 7/6]、灰褐色土 [7.5YR 4/2] を含む<br/>4. 黄褐色砂 [7.5YR 7/8]<br/>5. 褐灰色砂質土 [10YR 5/1]<br/>6. に近い褐色土 [7.5YR 6/3]<br/>7. 灰褐色土 [7.5YR 5/2] に黄褐色土 [10YR 7/8] をブロック状に多く含む<br/>8. 暗青灰色粘土 [5GB 4/1] (B群作土)<br/>9. 黒褐色土 [10YR 3/1] に暗灰色土 [10YR 4/1] をブロック状に多く含む<br/>10. に近い褐色土 [7.5YR 5/3]<br/>11. 暗灰色土 [7.5YR 4/1]</p> | <p>12. 灰褐色土 [7.5YR 6/2] (瓦片、土器片を多く含む)<br/>13. 灰褐色粘質土 [7.5YR 5/2] (SD1層土、瓦を多く含む)<br/>14. 灰褐色土 [5YR 4/2] (SD1層土、主に土器断片を含む)<br/>15. 明黄褐色土 [2.5YR 6/6]<br/>16. 黄褐色土 [7.5YR 3/2]<br/>17. 黄褐色粘質土 [7.5YR 3/1]<br/>18. 灰褐色粘質土 [7.5YR 4/2] (SD2層土)<br/>19. 暗灰色粘質土 [7.5YR 4/1] (SD2層土)<br/>20. 黄褐色土 [7.5YR 3/1]<br/>21. 黄褐色土 [10YR 7/8] (地山相当)</p> |
|---|--|

※土の色調は農林水産省農林水産技術会議事務局  
監修「新編 標準土色帖」(2004)に準拠

図3 北スロープ測量図

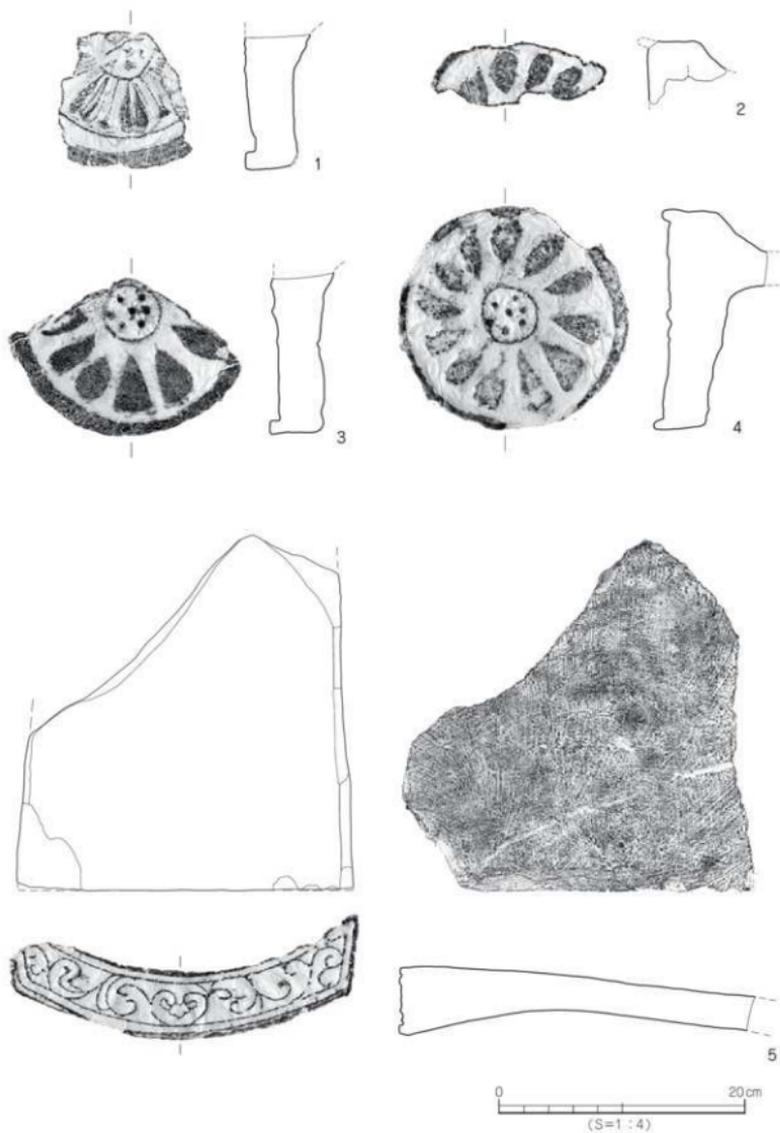


图4 出土遺物実測図(1)

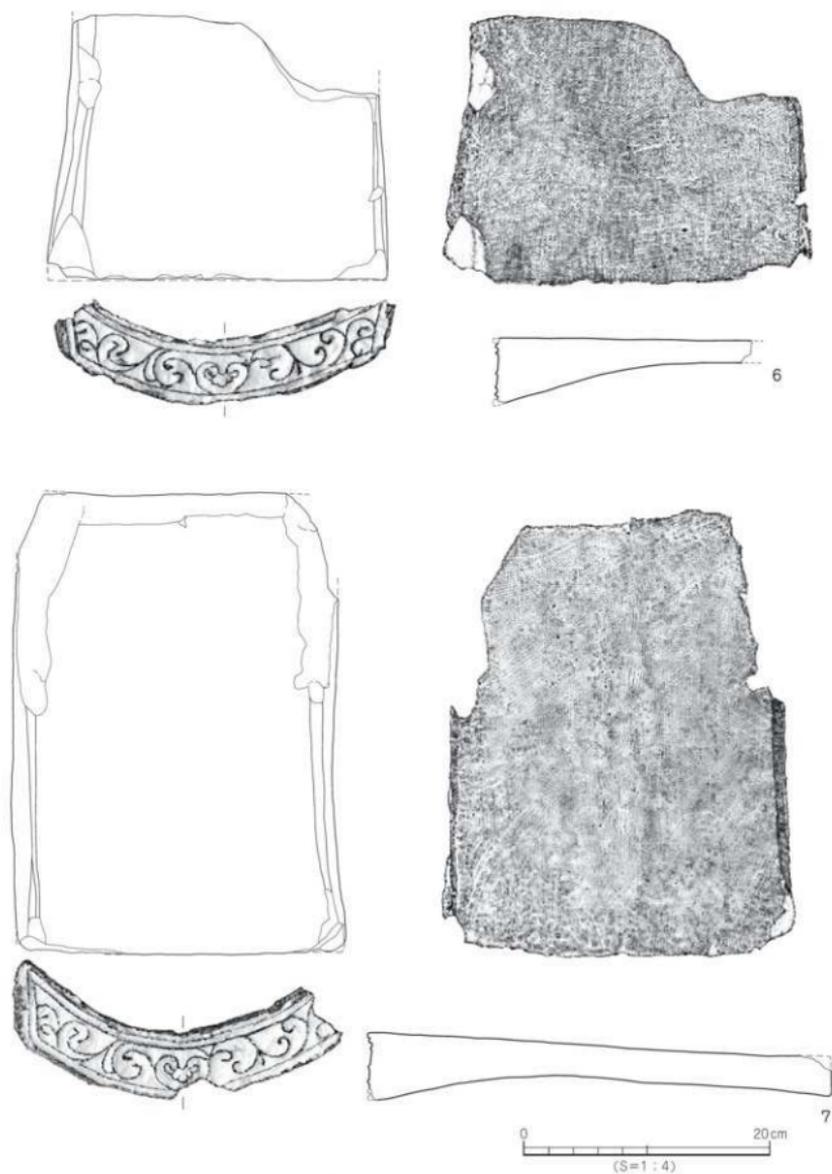


图5 出土遺物実測図(2)

出土状況は、瓦が密接して重なっており、一括性の高い堆積を示している。出土瓦には、軒丸瓦・軒平瓦があり軒丸瓦には単弁十二葉蓮華文軒丸瓦や複弁蓮華文軒丸瓦、軒平瓦には唐草文軒平瓦がある。丸瓦と平瓦の外面には、太縄と細縄の叩き目の調整を有する。瓦の出土量はコンテナ45箱に上る。

時期：下層より出土した出土遺物の形状からSD1は9～10世紀の溝とする。SD1上層の瓦だまりについてはSD1下層の9～10世紀の時期を上限ととらえておきたい。(新原)



写真2 SD1 検出状況 (1) (北より)



写真3 SD1 検出状況 (2) (南東より)

表5 出土瓦観察表 (瓦)

番号	種類	法量			調整		色調	胎土	焼成	備考
		長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	凸面	凹面				
1	複弁蓮華文軒丸瓦		瓦当径 (204)	残高 11.2			灰白色	砂粒含む	良	
2	単弁十二葉蓮華文軒丸瓦		瓦当径 (182)	残高 5.1	マメフ	マメフ	淡黄色	緻密	やや良	摩滅強い
3	単弁十二葉蓮華文軒丸瓦		径 (184)	瓦当 4.2			淡黄色	緻密	やや良	摩滅強い
4	単弁十二葉蓮華文軒丸瓦	(8.5)	径 18.0	2.7	ナデ	ナデ	淡黄色	緻密	やや良	摩滅強い
5	唐草文軒平瓦	(28.7)	(27.6)	2.5	ナデ	布目肌	灰白色	砂粒含む	良	
6	唐草文軒平瓦	(21.8)	25.0～27.5	2.0～5.3	ナデ	布目肌	灰色	砂粒含む	良	
7	唐草文軒平瓦	37.5	24.0	3.3	ナデ	布目肌	灰色	砂粒含む	良	

## 2) 茶毘遺構 (SK)

SK2は、6区北に位置する。平面形は隅丸方形を呈する。規模は長辺1.06m、短辺0.84m、深さ30cmを測る。底面は土坑状に掘り窪められ、北に向かい傾斜し、底面には炭化物および焼土を多量に含む土が堆積している。さらにその上には、人頭大の石材が平坦面を上部に向けて並べられている。石材表面には被熱痕が顕著で、特に南側では土坑外面が被熱により硬化・赤変した様子が認められる。埋土中には炭化物や土師器小片に混じり、人骨と思われる骨片が多く出土している。

出土物は南側石材上で検出された土師器坏がある。底部は回転切りによる切り離しであり、時期としては底部へラ切り消失後の中世前半(13～14世紀代)を想定する。

SK2の性格について

- ①多量の焼土や炭化物に加え、石材自体の被熱が見られる。
- ②人骨片の出土が明らかなこと。

以上のことから遺体の火葬を執り行った「茶毘遺構」の可能性が極めて高い。また、南側土坑壁が被熱で硬化・赤変し、北側に炭化物の広がりが集中するという偏りについては、火葬時の焚口が北側(斜面下部)で、火が中央部に回って南側に抜けるといった構造のためと考えられる。

出土物整理

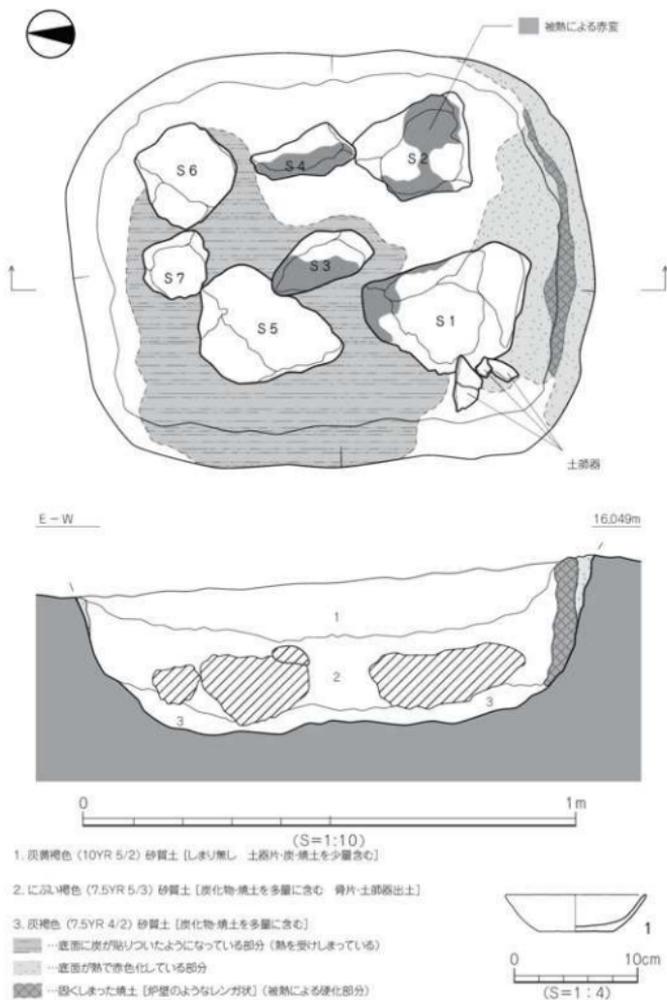


図6 SK2 測量図・出土遺物実測図

表6 SK2 出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 土成	備考
				外面	内面			
1	坏	口径 (112) 底径 5.9 器高 3.0	底部に回転糸切り痕が残る。	ママツ	ママツ	橙色 褐色	石・長(1-2) ○	

時期：遺構の所属時期については、土師器坯の年代観に依るところが大きいが、中世前半の可能性を指摘しておきたい。なお、同時期の茶毘遺構としては松山市初例である。(山内)

まとめ 本調査地からは9～10世紀の溝・土坑と奈良時代の多量の瓦が出土した。当該地の南西約130m地点では、昭和63年に財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター（当時）によって発掘調査が行われ、本調査地検出の溝SD1とはほぼ同方向の溝から大量の布目瓦が出土し、「朝美澤廃寺」の評価がなされている。出土瓦の比較など詳細な検討を要すが、本調査地から出土した瓦から、当地が「朝美澤廃寺」に関連する遺跡の可能性が考えられる。

なお、この成果を受けて、当該範囲は平成29年5月12日に、愛媛県教育委員会により、周知の埋蔵文化財包蔵地（松山市）「松山地区№34朝美遺跡・朝美澤廃寺」として修正・指定された。（新原）



写真4 SK2 検出状況 (東より)



写真5 SK2 焼土・炭出土状況 (東より)

## 2 H28 - 073 松山市西石井四丁目立会調査

所在地 松山市西石井四丁目503番1、503番3

期間 平成28年6月15日

原因 店舗建築

担当 松山市教育委員会文化財課 新原 佑典

概要 文化財保護法第93条第1項の届出に対する、愛媛県教育委員会からの指示に基づく工事立会である。掘削施工に併せて立会を行い土坑1基を検出した。大部分が攪乱及び調査区外のため全容は不明である。規模は南北検出長60cm、東西検出長70cm、深さ15cmを測る。埋土は黒褐色土である。出土遺物には市場系須恵器がある。一部の範囲については西石井遺跡7次調査として発掘調査が行われている（本紙21頁参照）。（新原）

遺物 ここでは出土した市場系須恵器について資料紹介を行う。器種は壺で底部を欠損、口縁部は短く外傾し二重口縁状をなし、端面はナデにより窪む。頸部は短く肩部にかけて大きく張る形状を呈する。外面調整には底部付近から肩部にかけて格子タタキによる成形後、回転カキ目調整を施し、内面は同心円文当て具痕が部分的に残るが、ナデ調整により消されている。

評価 古墳時代中期の松山平野には「非陶器系須恵器」と呼ばれる一群が一定量存在し、先学研究により「出作・市場南組窯型須恵器」（山之内2004）や「市場南組窯跡産須恵器」（三吉2016）として既に報告・研究がなされている。今回の出土資料は、同型式の壺としては全形を知ることのできる個体で、今後周辺地域の出土資料と比較検討を行う上で、良好なデータが提供されたものとする。（山内）

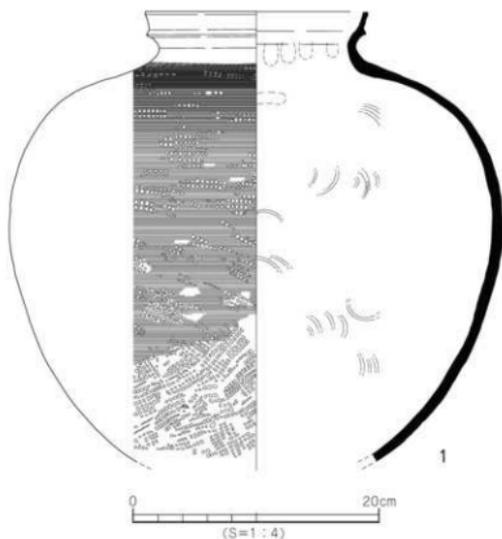


図7 土坑出土遺物実測図



写真6 土坑検出状況（東より）



写真7 土坑完掘状況（東より）

表7 土坑出土遺物観察表（土製品）

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面/内面)	胎土 焼成	備考
				外面	内面			
1	壺	口径 (180) 残高 390	口縁部は短く外傾し二重口縁状をなし、 踵面はナデにより直む。	格子タタキ カキ目	同心円タタキ ナデ	灰色 灰色	密 ○	

【文献】

岡田 敏彦 1996 「一般国道 196 号松山環状線埋蔵文化財発掘調査報告書 III」 親和岡前地区 (伝田松山藩陣屋跡・朝美澤遺跡・朝美澤庵寺) 愛媛県埋蔵文化財発掘調査報告書 第 62 集

三吉 秀光 2016 「市場南組窯跡産須恵器の型式分類と編年」 『古文化談叢』 第 77 集、九州古文化研究会

山之内志郎 2004 「第 5 章 考察 愛媛県内出土の渡来系遺物」 『東山古墳群 II - 3 次調査・6 次調査』

松山市教育委員会・松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター

## 2. 保存処理

### 1. 保存処理の概要

保存処理室では主に木製品（PEG含浸処理）、金属製品（減圧樹脂含浸）の保存処理を行っており、必要に応じて現場に向向き、遺構・遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り作業も行っている。

**金属製遺物：**保存処理は基本的に当センターで行なうが、特殊な資料やX線撮影は外部委託している。今年度は、外部委託していない。

**木製・植物性遺物：**保存処理は当センターで行なうが、重要な資料や自然科学分析は外部委託している。今年度は、外部委託していない。

**動物遺骸体：**クリーニングや保護処理は当センターで行い、人骨の鑑定、獣種同定、保存処理は外部委託している。今年度は、瀬戸風峠遺跡、御産所11号墳、影浦谷古墳、東山古墳群1・2次調査、古川遺跡5次調査出土人骨の鑑定、保存処理を特定非営利活動法人・人類学研究機構に委託した。また、東垣生八反地遺跡出土人骨の調査方法を同研究機構松下孝幸理事長に指導していただいた。

**追加資料の掲載：**平成21年度に株式会社古環境研究所に依頼した樹種同定の分析結果を、松山市文化財調査報告書第190集第4章（朝美辻遺跡1次調査）の追加資料として本章3に、平成28年度に鑑定を行った東山鶯が森古墳2次調査出土人骨の鑑定結果を、松山市文化財調査報告書第190集の追加資料として本章4に掲載します。

### 2. 保存処理実務

#### (1) 木製品の保存処理

PEG（ポリエチレングリコール）含浸処理を行っている。このPEG含浸法は、木製品中の水分をPEGに置き換える方法で、20%の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていき最終段階では100%濃度のPEG溶液をしみこませることになる。この処理は1～1.5年位を要する。平成29年度を処理完了予定とし、久米窪田森元遺跡4次調査、釜ノ口遺跡11次調査他出土198点を含浸処理中である。

#### (2) 金属製品の保存処理

前処理（脱水・脱塩・安定化処理）を行い、順次クリーニング（付着しているゴミ・土壌・サビ等の除去）、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した遺物は、収納システム（三菱ガス科学・R Pシステム）により収納後、特別収蔵庫に保管している。

#### (3) 動物遺骸体の保存処理

人骨、獣骨とも大部分のものが、土とともに出土した状態で搬入される。処理室ではこの余分な土を、竹べら・竹串・針先・ピンセット・刷毛などを用いて骨の取り出し、クリーニングを行っている。

#### (4) 遺構・遺物の取り上げ作業

発掘調査で検出される遺物は腐食し、脆弱化しているためそのまま取り上げることが困難なものがある。また、ほとんどの調査の場合、発掘した遺構を現場で保存できない。このような場合に遺構・

遺物の取り上げを行う。遺物が小さい場合は簡易な方法で行い（骨を土ごと取り上げること、年報11.保存処理事業I-3参照）、遺物が大きく重量が増す場合は発泡ウレタン樹脂を用いて対象物全体を固めて取り上げる（年報X.保存処理事業I-3参照）。この発泡ウレタン樹脂での梱包は従来使用していた石膏やコンクリートでの梱包より軽く仕上がりが、搬出、運搬の作業が軽減される。室内に搬入した後、時間をかけて精査することによって、発掘期間中に屋外で調査する以上の成果を期待できることも多い。今年度は、祝谷大地ヶ田遺跡6次調査祝谷9号墳の墳丘葺石の取り上げを行った。

#### (5) 土層の剥ぎ取り転写

転写面にエポキシ系樹脂を塗り、樹脂の補強のためガーゼなどで裏打ちを行い、樹脂が硬化後転写面より剥ぎ取る。剥ぎ取った土層は、パネル仕上げにして展示、保管する。この土層の剥ぎ取りは、発掘後も室内で実物をあらゆる角度から精査できる効果的な記録保存法ともなる。

【文献】1～5 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター「埋蔵文化財ニュース16・24・28・31」

#### (6) 平成28年度調査出土遺物一覧（保存処理等必要遺物）

表1 平成28年度調査出土金属・木製・動植物遺体一覧

遺跡No.	遺跡名	種類	遺物内容	数量
607	南江戸上沖遺跡2次調査	金属製遺物	銭・釘	35点
		動物遺骸体	人骨・獣	7点
612	東垣生八反地遺跡	動物遺骸体	人骨	1点
616	乃万の裏遺跡3次調査	金属製遺物	釘	1点
619	余戸柳井田遺跡6次調査	木製遺物	井戸枠・曲げ物	1基
620	樺味高木遺跡18次調査	金属製遺物	鉄滓・鐵・針坪	3点
622	祝谷大地ヶ田遺跡6次調査	金属製遺物	刀・柄頭	2点
		動物遺骸体	人骨・獣	3点
623	東垣生八反地遺跡4次調査	木製遺物	井戸枠・曲げ物	1基
H28-20	朝日ヶ丘・立会	動物遺骸体	人骨	4点

### 3. 朝美辻遺跡1次調査における樹種同定

株式会社古環境研究所

#### (1) はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質から、概ね属レベルの同定が可能である。木材は、花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては、木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

#### (2) 試料

試料は、朝美辻遺跡1次調査より出土した加工木10点、自然木10点の合計20点の木材である。

#### (3) 方法

カミソリを用いて試料の新鮮な横断面（木口と同義）、放射断面（柾目と同義）、接線断面（板目と同義）の基本三断面の切片を作製し、生物顕微鏡によって40～1000倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

#### (4) 結果

表2に結果を示し、主要な分類群の顕微鏡写真を示す。以下に同定の根拠となった特徴を記す。

#### コウヤマキ *Sciadopitys verticillata* Sieb. et Zucc. コウヤマキ科（写真1-1）

仮道管と放射柔細胞から構成される針葉樹材である。

横断面：早材から晩材への移行は比較的ゆるやかで、晩材部の幅はきわめて狭い。

放射断面：放射柔細胞の、分野壁孔は窓状である。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型で、1～15細胞高であるが多くの場合は10細胞高以下である。

以上の形質よりコウヤマキと同定される。コウヤマキは福島県以南の本州、四国、九州に分布する。日本特産の常緑高木で、通常高さ30m、径80cmに達する。材は木理通直、肌目緻密で強靱であり、耐朽性、耐湿性も高い。特に耐水湿材として用いられる。

#### ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* Endl. ヒノキ科（写真1-2・3）

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞から構成される針葉樹材である。

横断面：早材から晩材への移行はゆるやかで、晩材部の幅はきわめて狭い。樹脂細胞が見られる。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は、ヒノキ型で1分野に2個存在するものがほとんどである。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型で、1～15細胞高である。

以上の形質よりヒノキに同定される。ヒノキは福島県以南の本州、四国、九州、屋久島に分布する。日本特産の常緑高木で、通常高さ40m、径1.5mに達する。材は木理通直、肌目緻密で強靱であり、耐朽性、耐湿性も高い。良材であり、建築など広く用いられる。

ヤナギ属 *Salix* ヤナギ科 (写真2-4)

横断面：小型で丸い、放射方向にややのびた道管が、単独あるいは2～3個放射方向に複合し、散在する散孔材である。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、道管相互の壁孔は交互状で密に分布する。放射組織は異性である。

接線断面：放射組織は、単列の異性放射組織型である。

以上の形質よりヤナギ属に同定される。ヤナギ属は落葉の高木または低木で、北海道、本州、四国、九州に分布する。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科 (写真2-5)

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、数列配列する環孔材である。晩材部では小道管が、火災状に配列する。早材から晩材にかけて、道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔である。放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型である。

以上の形質よりクリに同定される。クリは北海道の西南部、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木で、通常高さ20m、径40cmぐらいであるが、大きいものは高さ30m、径2mに達する。耐朽性が強く、水湿によく耐え、保存性の極めて高い材で、現在では建築、家具、器具、土木、船舶、彫刻、薪炭、椎茸ほだ木など広く用いられる。

シイ属 *Castanopsis* ブナ科 (写真2-6)

横断面：年輪のはじめに中型から大型の道管がやや疎に数列配列する環孔材である。晩材部で小道管が火災状に配列する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型のものが存在する。

以上の形質よりシイ属に同定される。シイ属は本州（福島県、新潟県佐渡以南）、四国、九州に分布する。常緑高木で、高さ20m、径1.5mに達する。材は耐朽性、保存性ともにやや低く、建築、器具などに用いられる。

なお、シイ属にはスダジイとツブラジイがあり、集合放射組織の有無などで同定できるが、本試料は小片のため広範囲の観察が困難であったことから、シイ属の同定にとどめる。

コナラ属クヌギ節 *Quercus sect. Aegilops* ブナ科 (写真3-7)

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、1～数列配列する環孔材である。晩材部では厚壁で丸い小道管が、単独でおよそ放射方向に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属クヌギ節に同定される。コナラ属クヌギ節にはクヌギ、アベマキなどがあり、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木で、高さ15m、径60cmに達する。材は強韌で弾力に富み、器具、農具などに用いられる。

ヤマグワ *Morus australis* Poiret クワ科 (写真3-8)

横断面：年輪のはじめに中型から大型の丸い道管が、単独あるいは2～3個複合して配列する環孔材である。孔圏部外の小道管は複合して円形の小塊をなす。道管の径は徐々に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、小道管の内壁にはらせん肥厚が存在する。放射組織はほとんどが平伏細胞であるが、上下の縁辺部の1～3細胞ぐらゐは直立細胞である。

接線断面：放射組織は上下の縁辺部が直立細胞からなる異性放射組織型で、1～6細胞幅である。小道管の内壁にはらせん肥厚が存在する。

以上の形質よりヤマグワに同定される。ヤマグワは北海道、本州、四国、九州に分布する。落葉高木で、通常高さ10～15m、径30～40cmである。材は堅硬で韌性に富み、建築などに用いられる。

クスノキ科 *Lauraceae* (写真3-9)

横断面：中型から小型の道管が、単独および2～数個放射方向に複合して散在する散孔材である。道管の周囲を鞘状に軸方向柔細胞が取り囲んでいる。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔のものが存在する。放射組織はほとんどが平伏細胞で上下の縁辺部のみ直立細胞からなる。

接線断面：放射組織は異性放射組織型で1～3細胞幅である。上下の縁辺部のみ直立細胞である。

以上の形質よりクスノキ科に同定される。クスノキ科には、クスノキ、ヤブニッケイ、タブノキ、カゴノキ、シロダモ属などがあり、道管径の大きさ、多孔穿孔および道管内壁のらせん肥厚の有無などで細分できるが、本試料は道管径以外の点が不明瞭なため、クスノキ科の同定にとどまる。なお、本試料は道管径の大きさから、クスノキ以外のクスノキ科の樹種のいずれかである。

ハギ属 *Lespedeza* マメ科 (写真4-10)

横断面：やや小型の道管が年輪のはじめにはほぼ単独でまばらに配列し、晩材部へ向けて徐々に径を減じながら2～数個複合して、まばらに散在する半環孔材である。軸方向柔細胞は、晩材部で翼状から連合翼状である。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は異性である。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、1～4細胞幅で鞘細胞が見られる。

以上の形質よりハギ属に同定される。ハギ属にはヤマハギ、キハギ、ツクシハギなどがあり、本州、四国、九州に分布する落葉低木である。

アワブキ属 *Meliosma* アワブキ科 (写真4-11)

横断面：小型の道管が、単独ないし2～4個放射方向にむかって複合して散在する散孔材であるが、その複合部に1～2個の柔細胞をはさんでいるものが見られる。

放射断面：道管の穿孔は階段穿孔板からなる多孔穿孔で、階段の数は少なく10本前後である。放射組織は異性である。

接線断面：放射組織は、異性放射組織型で1～4細胞幅である。

以上の形質よりアワブキ属に同定される。アワブキ属は本州、四国、九州に分布する。アワブキ、ヤマビワ、ミヤマホウソウなどがあり、落葉または常緑の低木から高木である。

## (5) 所見

同定の結果、朝美辻遺跡1次調査の木材のうち加工木10点は、ヒノキ4点、ヤナギ属1点、クリ1点、シイ属1点、コナラ属クスギ節1点、ヤマグワ2点であった。ヒノキは木理通直で大きな材が取れる良材であり、特に保存性が高い。ヤナギ属は耐朽性、保存性は低く、切削、加工の容易な材である。クリは重厚で保存性が良い材である。シイ属は耐朽性、保存性の低い材である。コナラ属クスギ節は概して弾力に富んだ強い材と言える。ヤマグワは堅硬で靱性に富み、削りものによく用いられる。自然木10点はコウヤマキ2点、ヒノキ1点、ヤナギ属2点、ヤマグワ2点、クスノキ科1点、ハギ属1点、アワブキ属1点であった。

コウヤマキとヒノキはどちらも適潤性であるが、乾燥した土壌にも耐え、尾根、急峻地または岩盤上にもよく生育し、温帯に広く分布する常緑針葉高木である。ヤナギ属は湿地や河辺などの水辺に生育する落葉高木から低木である。クリは乾燥した台地や丘陵地を好み二次林要素でもある。シイ属は暖地の丘陵や山野に生育する。コナラ属クスギ節にはクスギとアベマキがあり、山林や乾燥した台地、丘陵地に生育し二次林要素でもある。ヤマグワは谷間や緩傾斜地の適潤な深層の肥沃地を好む。クスノキ科は暖地の山中や林内に生育する。ハギ属は日当たりの良い山野に生育する。アワブキ属のうちアワブキは、山地に生育する落葉高木、ヤマビワは暖地の常緑林内に生育する常緑小高木、ミヤマホウソウは山地に生育する落葉低木である。

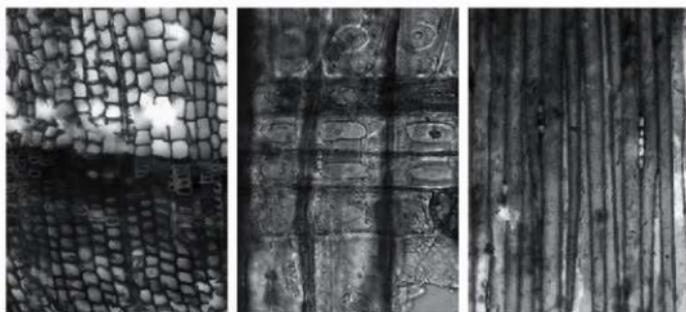
シイ属は温帯下部の温暖な暖帯に分布する照葉樹林の主要構成要素であり、クスノキ科にも照葉樹林の主要構成要素が含まれる。ヤナギ属、クリ、コナラ属クスギ節、ヤマグワ、ハギ属は温帯に広く分布する落葉広葉樹である。以上から、朝美辻遺跡1次調査の木材の樹種は遺跡周辺からもたらされたと推定される。

## 【参考文献】

- 佐伯浩・原田浩（1985）針葉樹材の細胞。木材の構造。文永堂出版。p.20-48。  
 佐伯浩・原田浩（1985）広葉樹材の細胞。木材の構造。文永堂出版。p.49-100。  
 高地謙・伊東隆夫（1988）日本の遺跡出土木製品総覧。雄山閣。p.296  
 山田昌久（1993）日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成。植生史研究特別第1号。植生史研究会。p.242

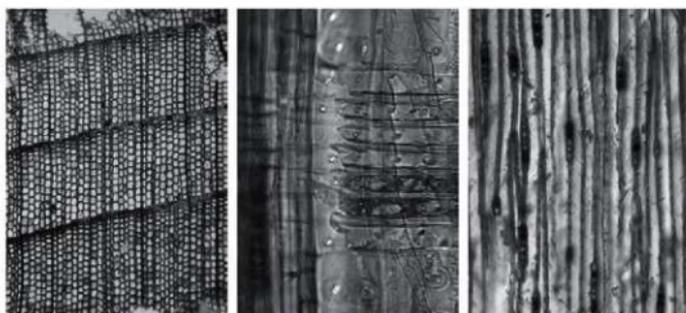
表2 朝美辻遺跡1次調査における樹種同定結果

番号	器種	出土遺構・層位	結果(学名/和名)		報告書190集 遺物番号
1	蹴放し	東側落ち込み黒色土	<i>Chamaecyparis obtusa</i> Endl.	ヒノキ	9
2	木錘	東側落ち込み黒色土	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ	12
3	板材	東側落ち込み黒色土	<i>Chamaecyparis obtusa</i> Endl.	ヒノキ	10
4	不明	東側落ち込み黒色土	<i>Morus australis</i> Poir.	ヤマグワ	
5	杭	東側落ち込み黒色土	<i>Morus australis</i> Poir.	ヤマグワ	11
6	不明	東側落ち込み黒色土	<i>Castanopsis</i>	シイ属	
7	切屑	東側落ち込み黒色土	<i>Chamaecyparis obtusa</i> Endl.	ヒノキ	
8	棒状製品	東側落ち込み黒色土	<i>Salix</i>	ヤナギ属	
9	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Salix</i>	ヤナギ属	
10	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Sciadopitys verticillata</i> Sieb. et Zucc.	コウヤマキ	
11	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Chamaecyparis obtusa</i> Endl.	ヒノキ	
12	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Sciadopitys verticillata</i> Sieb. et Zucc.	コウヤマキ	
13	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Salix</i>	ヤナギ属	
14	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Meliosma</i>	アワブキ属	
15	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Lespedeza</i>	ハギ属	
15	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Lespedeza</i>	ハギ属	
16	自然木片	東側落ち込み黒色土	Lauraceae	クスノキ科	
17	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Morus australis</i> Poir.	ヤマグワ	
18	自然木片	東側落ち込み黒色土	<i>Morus australis</i> Poir.	ヤマグワ	
19		H19-243 試掘 T1	<i>Chamaecyparis obtusa</i> Endl.	ヒノキ	
20	木片	東側落ち込み黒色土	<i>Quercus</i> sect. <i>Aegilops</i>	コナラ属クスギ節	



横断面 ————— : 0.2mm      放射断面 ————— : 0.05mm      接線断面 ————— : 0.2mm

1. No12 自然木片 コウヤマキ



横断面 ————— : 0.5mm      放射断面 ————— : 0.05mm      接線断面 ————— : 0.2mm

2. No1 歳放し ヒノキ



横断面 ————— : 0.2mm      放射断面 ————— : 0.05mm      接線断面 ————— : 0.1mm

3. No11 自然木片 ヒノキ

写真1 朝美辻遺跡1次調査の木材生物顕微鏡写真I



横断面 : 0.5mm

4. No.13 自然木片 ヤナギ属



放射断面 : 0.1mm



接線断面 : 0.1mm



横断面 : 0.5mm

5. No.2 木鍾 クリ



放射断面 : 0.2mm



接線断面 : 0.2mm



横断面 : 0.5mm

6. No.6 不明 シイ属

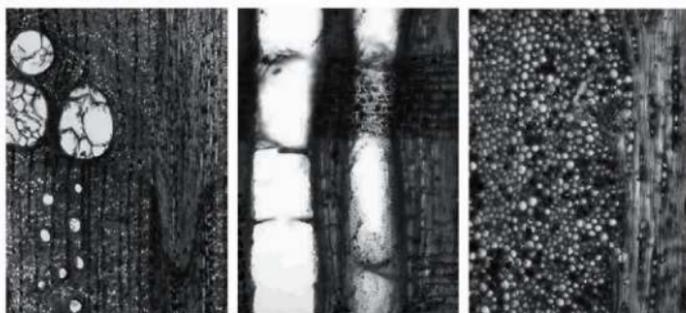


放射断面 : 0.2mm



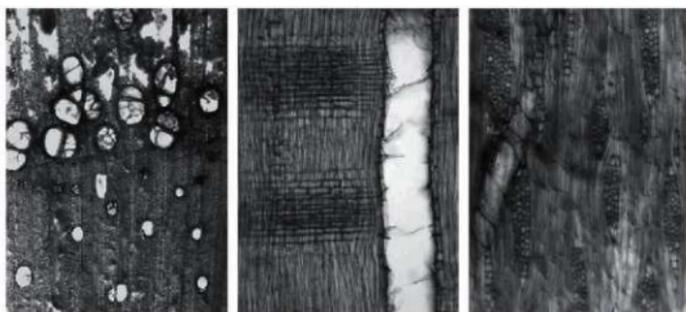
接線断面 : 0.2mm

写真2 朝美辻遺跡1次調査の木材生物顕微鏡写真Ⅱ



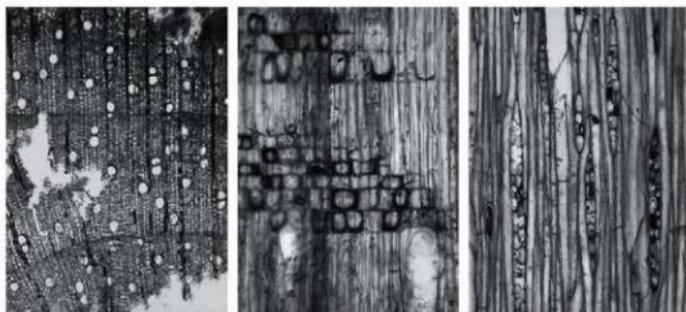
横断面 : 0.5mm 放射断面 : 0.2mm 接線断面 : 0.2mm

7. No.20 木片 コナラ属クスギ節



横断面 : 0.5mm 放射断面 : 0.2mm 接線断面 : 0.2mm

8. No.18 自然木片 ヤマグワ



横断面 : 0.5mm 放射断面 : 0.2mm 接線断面 : 0.2mm

9. No.16 自然木片 クスノキ科

写真3 朝美辻遺跡1次調査の木材生物顕微鏡写真Ⅲ



横断面 : 0.5mm

10. No.15 自然木片 ハギ属



放射断面 : 0.2mm



接線断面 : 0.2mm



横断面 : 0.5mm

11. No.14 自然木片 アワブキ属



放射断面 : 0.2mm



接線断面 : 0.2mm

写真4 朝美辻遺跡1次調査の木材生物顕微鏡写真Ⅳ

## 4. 東山鶯が森古墳群2次調査出土の古墳・近世人骨

松下真実\*・松下孝幸\*\*

## (1) はじめに

愛媛県松山市東石井町乙70番地に所在する東山鶯が森古墳群の第2次の発掘調査が1979(昭和54)年におこなわれた。この年に調査された3号墳と8号墳から人骨が出土した。3号墳の墳丘から近世人骨が、8号墳ではB主体とC主体から古墳人骨が検出された。

愛媛県から出土した古墳人骨のうち筆者らが調査や研究にかかわったものは、今治市相の谷古墳群(松下・他、1995)、二の谷2号墳(松下、2000)、馬島長山1号墳、鳥越1号墳、古谷犬山古墳(松下・他、2013)のほかに松山市の宮前川北斎院遺跡(松下、1998a)、客谷古墳群(松下、2006a)、三味線山古墳、伊予市の猪の窟古墳(松下、2006c)から出土した人骨があるが、報告例は少なく、愛媛県の古墳人の全体像を把握するまでには至っていないのが現状である。

近世人骨については今治市矢田平山近世墓(松下、2000c)、松山市南江戸桑田遺跡(松下、2005)、若草町遺跡の例がある。

人骨の保存状態は良好なものではないが、人骨を解剖学的に精査し、人類学的観察や計測をおこなったので、その結果を報告しておきたい。

## (2) 資料

3号墳の墳丘からは男女各1体ずつ、合計2体の人骨が出土した(表3・4)。また、8号墳B主体とC主体からはそれぞれ1体分の遊離歯冠が検出された。計測方法は、Martin-Saller(1957)によったが、脛骨の横径はオリビエの方法(前縁がノギスの針の中央に位置するようにして計測)で計測した。

表3 資料数 (Table 1. Number of materials)

	成人			幼児	合計
	男性	女性	不明		
古墳人骨	0	0	2	0	2
近世人骨	1	1	0	0	2
合計	1	1	2	0	4

表4 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	時代	備考
3号墳TP-2	女性	壮年	近世	
3号墳TP-3	男性	壮年	近世	
8号墳B主体人骨	不明	不明	古墳	遊離歯冠のみ
8号墳C主体人骨	不明	不明	古墳	遊離歯冠のみ

表5 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年齢	
未成人	乳児	1歳未満	
	幼児	1歳～5歳	(第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳～15歳	(第一大臼歯萌出から第二大臼歯根完成まで)
	成年	16歳～20歳	(蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳～39歳	(40歳未満)
	熟年	40歳～59歳	(60歳未満)
	老年	60歳以上	

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(1996)を参照されたい。



図1 遺跡の位置図

(Fig.1 Location of the place Higashiyamatobigamori tumuli, Matsuyama City, Ehime Prefecture)

## (3) 所見

各人骨の残存部は図2に示すとおりである。また、各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

## I 3号墳出土人骨

## 3号墳・墳丘上TP-2人骨(女性・壮年)(近世)

## 1). 頭蓋

残存していたのは後頭骨と右側頭頂骨のみである。骨質はやや堅牢である。外後頭隆起の発達は見られない。乳様突起は小さい。右側の外耳道が観察できたが、骨腫は認められない。ラムダ縫合の観察ができたが、内外両板は分離している。脳頭蓋の計測はできない。頭型と顔面の形態は不明である。

## 2). 四肢骨

左右の寛骨、右側の大腿骨と脛骨が残存していたに過ぎない。

## ①寛骨

両側の大坐骨切痕部が残存していた。大坐骨切痕の角度は大きく、左側には明瞭な耳状面前溝が認められる。

## ②大腿骨

左右の骨体と左側の骨頭が残存していた。緻密質の剥落がみられるので、計測はできないが、骨体や骨頭の径は小さい。また、粗線の発達は悪く、骨体は矢状径よりも横径が大きい。

## 3). 性別・年齢

外後頭隆起の発達がみられないこと、大坐骨切痕の角度が大きく、耳状面前溝も認められることから性別を女性と推定した。年齢は観察できたラムダ縫合の内外両板が分離していることから推測すれば壮年ということになる。

## II. 3号墳・墳丘上TP-3人骨(男性・壮年)(近世)

## 1). 頭蓋

残存していたのは前頭骨の右半分、プレグマ付近の左右の頭頂骨、右側の頬骨と上顎骨に過ぎない。眉上弓の隆起は強い。冠状縫合の右側半分と矢状縫合の前部の観察ができたが、ともに内外両板は分離している。頭型は不明である。顔面の計測はできないが、観察したところ顔の高さは低い。下顎骨は下顎体の右側半分が残存していた。

歯は残存していなかった。上下両顎の歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。



●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 /：不明(破損)、番号は歯種

[1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯]

## 2). 四肢骨

## [1] 上肢骨

肩甲骨(右)、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していた。

## ①上腕骨

右側は骨体が、左側は遠位部が残存していた。保存状態が悪く、計測はできないが、三角筋粗面は著しく発達しており、骨体はかなり太い。



(4) 要 約

愛媛県松山市東石井町乙70番地に所在する東山蔦<sup>とび</sup>が森古墳群の第2次の発掘調査が1979(昭和54)年におこなわれ、3号墳と8号墳から人骨が出土した。人骨の保存状態はよくなかったが、人類学的観察と計測をおこない、以下の結果を得た。

1. 3号墳の墳丘に営まれた2基の近世墓から男女各1体ずつ2体の人骨が出土した。
2. 男性の近世人は、顔面の高径は低く、上腕骨は太くて、三角筋粗面は著しく発達しており、大腿骨体の径もかなり大きい。粗線の発達や骨体両側面の後方への発達はきわめて悪い。また、脛骨も太いが、扁平性は認められない。
3. 女性の近世人は、下肢骨しか残っていなかったが、大腿骨は細く、骨体両側面の後方への発達はみられない。
4. 8号墳のB主体とC主体からはそれぞれ1体分の遊離歯冠が検出された。ともに咬耗が弱いので、年齢は若いようであるが、幼小児ではない。

謝辞

< 撰筆するにあたり、本研究と発表の機会を与えていただいた松山市埋蔵文化財センターの皆様方に感謝致します。 >

## 【文献】

1. Martin-Saller, 1957: Lehrbuch der Anthropologie. Bd.I.Gustav Fisher Verlag, Stuttgart: 429-597.
2. 松下真実・他, 2013: 愛媛県今治市古谷大山谷古墳出土の古墳人骨。『古谷大山谷古墳』愛媛県埋蔵文化財発掘調査報告書第175集: 26-31.
3. 松下真実・他, 2014: 愛媛県松山市三味線山古墳出土人骨。『三味線山古墳・船ヶ谷向山古墳』松山市文化財調査報告書第168集: 80-91.
4. 松下真実・他: 愛媛県松山市若草町遺跡出土の近世人骨(投稿中)
5. 松下孝幸, 1982: 山口県朝田墳墓群Ⅱ地区出土の人骨。『朝田墳墓群Ⅴ』山口県埋蔵文化財調査報告64: 179-206.
6. 松下孝幸・他, 1983: 山口県山口市朝田墳墓群Ⅱ地区出土の人骨-総括編-『朝田墳墓群Ⅵ』山口県埋蔵文化財調査報告69: 219-242.
7. 松下孝幸・他, 1995: 愛媛県今治市相の谷古墳群出土の古墳時代人骨。『相の谷古墳群杉谷支群埋蔵文化財発掘調査報告書』愛媛県埋蔵文化財発掘調査報告書第57集: 41-54.
8. 松下孝幸, 1998a: 愛媛県松山市宮前川北斎院遺跡出土の古墳時代人骨。『斎院・古照-新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書』-遺物編-: 525-531.
9. 松下孝幸, 1998b: 愛媛県伊予市原池遺跡出土の人骨。『四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅡ-伊予市編-』: 175-180.
10. 松下孝幸, 1998c: 広島県府中市山の神・池ノ迫遺跡群出土の弥生・古墳時代人骨。『山の神・池ノ迫遺跡群』広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第165集: 75-105.
11. 松下孝幸, 2000: 愛媛県今治市二の谷2号墳出土の古墳時代人骨。『且遺跡・宮之前遺跡・長沢石打遺跡・長沢1号墳・長沢6号墳・二の谷2号墳・鉄又古墳群・郷桜井西塚古墳』『一般国道196号今治バイパス埋蔵文化財調査報告書Ⅳ』愛媛県埋蔵文化財発掘調査報告書第87集: 232-249.
12. 松下孝幸, 2000c: 愛媛県今治市矢田平山近世墓出土の近世人骨。『阿方春岡遺跡・阿方牛ノ江遺跡・矢田八反坪遺跡・矢田大出口遺跡・矢田平山近世墓・矢田平山古墳・矢田平山遺跡』『一般国道196号今治北道路埋蔵文化財調査報告書』愛媛県埋蔵文化財発掘調査報告書第88集: 271-318.
13. 松下孝幸, 2005a: 松山市南江戸桑田遺跡出土の近世人骨。『宮前川流域の遺跡Ⅱ』『南江戸桑田遺跡・大峰ヶ台遺跡6次調査・8次調査・北斎院遺跡』-分析・写真図版編-松山市文化財調査報告書第107集: 1-44.
14. 松下孝幸, 2006a: 松山市客谷古墳群出土の古墳人骨。『大峰ヶ台遺跡Ⅲ』松山市文化財調査報告第110集: 143-150.
15. 松下孝幸, 2006b: 香川県善通寺市柳池西手山頂墳3号出土の古墳人骨。『善通寺市内発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』: 64-71.
16. 松下孝幸, 2006c: 猪の窪古墳人骨。『伊予市の歴史文化第54号』: 18-27. (伊予市歴史文化の会編集発行)
17. 松下孝幸・他: 愛媛県今治市島越1号墳出土の古墳人骨(投稿中)
18. 松山市教育委員会, 1981: 『東山寺が森古墳群調査報告書』松山市文化財調査報告書第15集
19. 吉岡郁夫・他, 1983: 出土の人骨。広島県府中市府中山ノ神1号古墳発掘調査報告: 29-57.

\* Masami MATSUSHITA, \*\* Takayuki MATSUSHITA

The Organization of Anthropological Research [特定非常営利活動法人・人類学研究機構]

表6 顔面諸蓋(mm,度)(Facial skeleton)  
東山寛が森  
3号墳TP-3  
男性

46.	中顔幅	[102]	-
47.	顔高	-	-
48.	上顔高	-	-
51.	眼窩幅(右)	-	-
	眼窩幅(左)	-	-
52.	眼窩高(右)	33	-
	眼窩高(左)	-	-
52/51	眼窩示数(右)	-	-
	眼窩示数(左)	-	-
54.	鼻竇	-	-
55.	鼻高	-	-
54/55	鼻示数	-	-

表7 橈骨(mm)(Radius)

東山寛が森  
3号墳TP-3  
男性

1.	最大長(右)	-	-
	(左)	-	-
3.	最小周(右)	46	46
	(左)	48	48
4.	骨体横径(右)	16	16
	(左)	17	17
4a.	骨体中央横径(右)	16	16
	(左)	17	17
4(1).	小頭横径(右)	-	-
	(左)	-	-
4(2).	頸横径(右)	13	13
	(左)	-	-
5.	骨体矢状径(右)	13	13
	(左)	14	14
5a.	骨体中央矢状径(右)	13	13
	(左)	14	14
5(1).	小頭矢状径(右)	22	22
	(左)	-	-
5(2).	頸矢状径(右)	14	14
	(左)	-	-
5(3).	小頭周(右)	-	-
	(左)	-	-
5(4).	頸周(右)	43	43
	(左)	-	-
5(5).	骨体中央周(右)	47	47
	(左)	50	50
3/2	長厚示数(右)	-	-
	(左)	-	-
5/4	骨体断面示数(右)	81.25	81.25
	(左)	82.35	82.35
5a/4a	中央断面示数(右)	81.25	81.25
	(左)	82.35	82.35

表8 尺骨(mm)(Ulna)

東山寛が森  
3号墳TP-3  
男性

1.	最大長(右)	-	-
	(左)	-	-
3.	最小周(右)	-	-
	(左)	-	-
11.	尺骨矢状径(右)	13	13
	(左)	-	-
12.	尺骨横径(右)	17	17
	(左)	-	-
S	中央最小径(右)	13	13
	(左)	-	-
L	中央最大径(右)	17	17
	(左)	-	-
C	中央周(右)	50	50
	(左)	-	-
3/2	長厚示数(右)	-	-
	(左)	-	-
11/12	骨体断面示数(右)	76.47	76.47
	(左)	-	-
S/L	中央断面示数(右)	76.47	76.47
	(左)	-	-

表9 大腿骨(mm)(Femur)

東山寛が森  
3号墳TP-3  
男性

1.	最大長(右)	-	-
	(左)	-	-
6.	骨体中央矢状径(右)	26	26
	(左)	26	26
7.	骨体中央横径(右)	33	33
	(左)	32	32
8.	骨体中央周(右)	93	93
	(左)	93	93
9.	骨体上横径(右)	37	37
	(左)	-	-
10.	骨体上矢状径(右)	25	25
	(左)	-	-
6/7	骨体中央断面示数(右)	78.79	78.79
	(左)	81.25	81.25
10/9	上骨体断面示数(右)	67.57	67.57
	(左)	-	-

表10 脛骨(mm)(Tibia)

		東山高が森 3号墳TP-3 男性	
1.	脛骨全長(右)	-	-
	(左)	-	-
1a.	脛骨最大径(右)	-	-
	(左)	-	-
3a.	上内關節面幅(右)	-	-
	(左)	33	-
3b.	上外關節面幅(右)	-	-
	(左)	-	-
4a.	上内關節面深(右)	-	-
	(左)	47	-
4b.	上外關節面深(右)	-	-
	(左)	-	-
8.	中央最大径(右)	30	-
	(左)	-	-
8a.	栄養孔位置最大径(右)	-	-
	(左)	35	-
9.	中央溝径(右)	23	-
	(左)	-	-
9a.	栄養孔位置径(右)	-	-
	(左)	24	-
10.	骨林面(右)	85	-
	(左)	-	-
10a.	栄養孔位置(右)	-	-
	(左)	96	-
10b.	最小面(右)	-	-
	(左)	-	-
9/8.	中央断面示数(右)	76.67	-
	(左)	-	-
9a/8a	栄養孔位置断面示数(右)	-	-
	(左)	68.57	-
10b/1	長厚示数(右)	-	-
	(左)	-	-

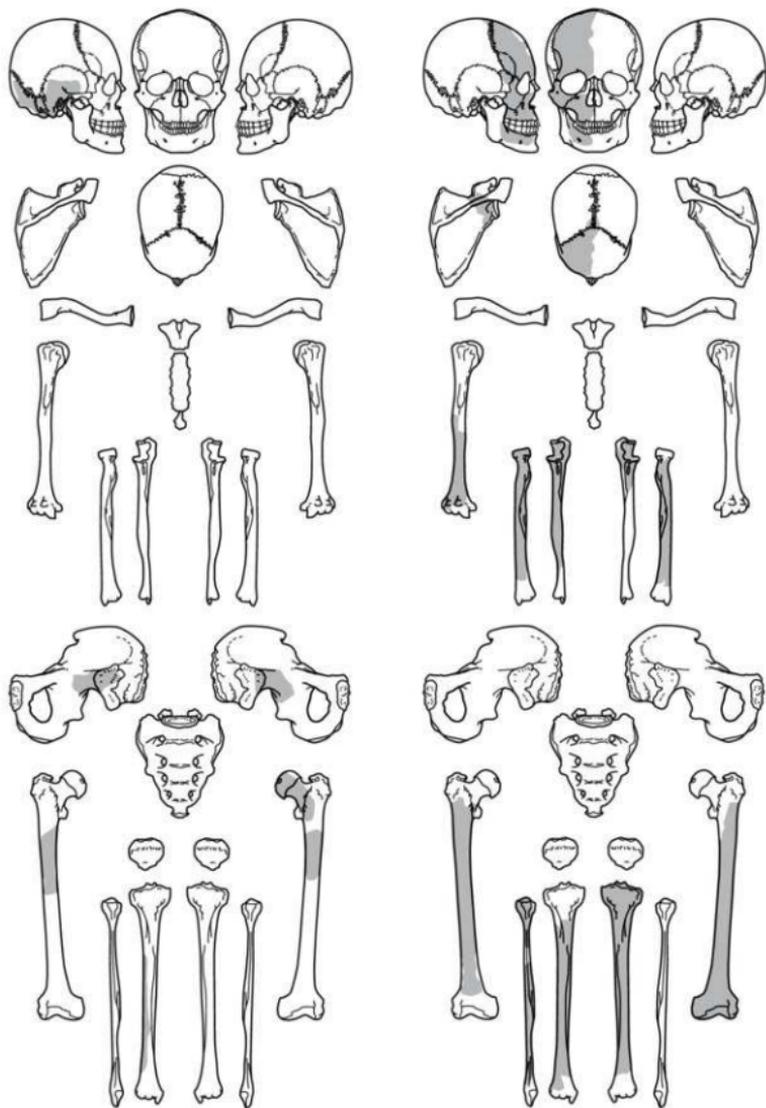
表11 膝蓋骨(mm)(Patella)

		東山高が森 3号墳TP-3 男性	
1.	最大高(右)	-	36
	(左)	-	-
2.	最大幅(右)	-	-
	(左)	-	-
3.	最大厚(右)	-	18
	(左)	-	-
4.	關節面高(右)	-	-
	(左)	-	-
5.	内關節面幅(右)	-	-
	(左)	18	-
6.	外關節面幅(右)	-	-
	(左)	-	-
1/2	膝蓋骨高幅示数(右)	-	-
	(左)	-	-

表12 形態小変異(Non-metric crania variants)

	東山高が森 3号墳TP-2 女性		東山高が森 3号墳TP-3 男性	
	右	左	右	左
1.	Medial palatine canal(内側口蓋管)	/	/	/
2.	Pterygospinous foramen(翼棘孔)	/	/	/
3.	Hypoglossal canal bridging(舌下神経管二分)	/	/	/
4.	Clinoïd bridging(床状突起間骨橋)	/	/	/
5.	Condylar canal absent(顎節欠如)	/	/	/
6.	Tympanic dehiscence(Foramen of Huschke(>1mm) (ツシユケ孔, 鼓室骨裂孔)	-	/	/
7.	Jugular foramen bridging	/	/	/
8.	Precondylar tubercle	/	/	/
9.	Supra-orbital foramen(incl. frontal foramen)(眼窩上)	/	/	+
10.	Accessory infraorbital foramen(副眼窩下孔)	/	/	-
11.	Zygo-facial foramen absent	/	/	-
12.	Aural exostosis(外耳道骨腫)	-	/	/
13.	Metopism(前頭縫合)	/	/	-
14.	Os incae(インカ骨)	/	/	/
15.	Ossicle at the lambda(ラムダ小骨)	/	/	/
16.	Parietal notch bone(頭頂切痕骨)	/	/	/
17.	Transverse zygomatic suture(>5mm)	/	/	/
18.	Asterionic ossicle	/	/	/
19.	Occhipitomaistoid ossicle	-	/	/
20.	Epipteric ossicle	/	/	/
21.	Frontotemporal articulation	/	/	/
22.	Biasterionic suture(>10mm)	/	/	/
23.	Mylorhyoid bridging(顎舌骨筋神経溝骨橋)	/	/	/
24.	Accessory mental foramen(副顎下骨孔)	/	/	-
25.	Mandibular torus(下顎隆起)	/	/	/
26.	滑車上孔(上脛骨)	/	/	/

[ present: +, absent: -, unoberservable: / ]



東山蔦が森古墳群・3号墳 TP-2 (女性・壮年)

東山蔦が森古墳群・3号墳 TP-3 (男性・壮年)

図2 人骨の残存図 (アミかけ部分)

(Fig.2 Regions of Preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

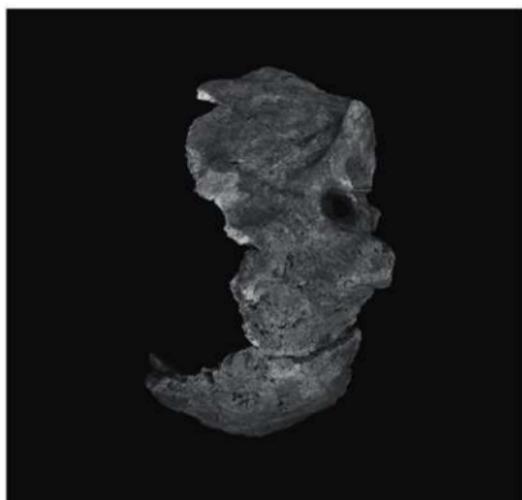


写真5 頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

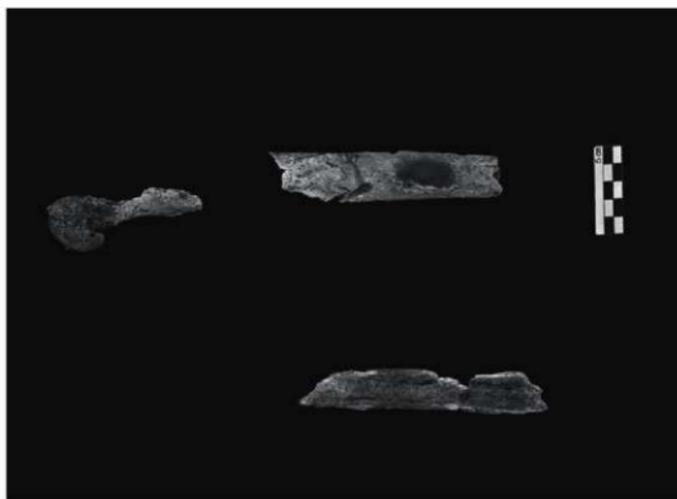


写真6 下肢骨 (Bones of the lower limb)

東山麓が森古墳群・3号墳 TP-2 (女性・壮年)

( The skeleton No.3 TP2 from the Higashiyamatobiganori tumuli,young adult female )

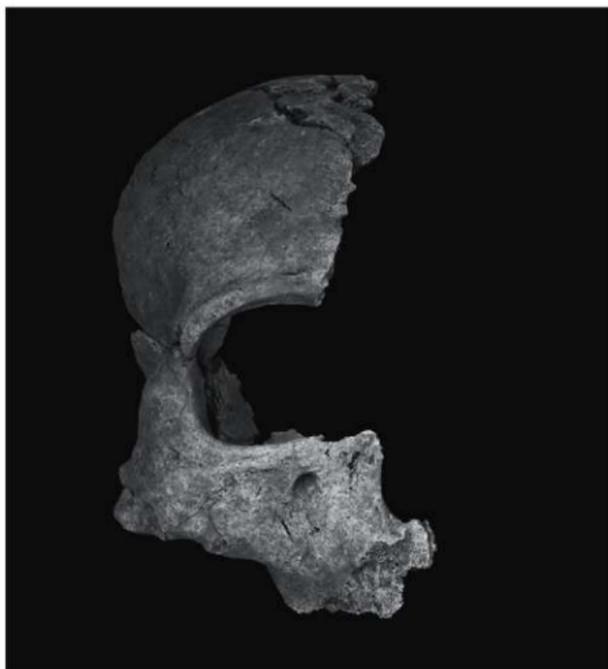


写真7 頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



写真8 下顎骨 (The mandible)

東山麓が森古墳群・3号墳 TP-3 (男性・壮年)

( The skeleton No.3 TP3 from the Higashiyamatobigamori tumuli, young adult male )



写真9 下肢骨 (Bones of the lower limb)

東山麓が森古墳群・3号墳 TP-3 (男性・壮年)

( The skeleton No.3 TP3 from the Higashiyamatobigamori tumuli, young adult male )



写真10 下肢骨 (Bones of the lower limb)

IV 平成 28 年度  
普及啓発事業

## 平成 28 年度 普及啓発事業

当埋蔵文化財センターは、松山市内における遺跡の発掘調査を行うとともに、出土遺物や記録資料などを整理・保管している。発掘調査終了後は、随時現地説明会を開催するとともに発掘調査報告書を刊行することにより、広く一般に公開している。

また、附属の考古館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置されたものであり、展示会・講演会・体験学習を開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を支援しながら、埋蔵文化財保護思想の普及啓発に努めている。平成 28 年度は下記の各種事業を実施した。

1. 展示活動
2. 教育普及活動
3. 収集・保管・育成活動
4. 出版活動
5. 資料の貸出・調査
6. 広報活動

一方、埋蔵文化財センターに隣接して設置されている文化情報館は、松山市内で出土した文化財資料を整理・保管し、その活用を図るとともに市民に開かれた歴史学習の場としての充実を図り、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって埋蔵文化財保護施設として有機的な活用を図ることを目的としている。

### 1. 展示活動

常設展示室は、「海を媒介とした文化交流の中継地点としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解明し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとした立体的な展示を心がけている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約 500 点である。

常設展示室に隣接した特別展示室では、期間を限定し開催する展示会として（1）巡回展「発掘へんろ展」、（2）県市連携事業「古代いよ発掘まつり」「掘ったぞな松山 2016」「いにしへのえひめ」、（3）特別展「発掘 50 年 來住庵寺「松山の飛鳥・奈良時代」、（4）特別展「魏志倭人伝」に記された一支国の世界」、（5）「地域のためから再発見・古代史セミナー」を開催した。加えて、（6）考古館のロビー等で「考古館・楽しかった 2015 展」などの展示会を開催した。

#### （1）四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「戦国時代の四国」（表 1-1、写真 1-2）

この展示会は、四国内の埋蔵文化財センター 5 団体が合同で開催する巡回展で、平成 27 年度から 4 ヶ年計画で実施しているもので、平成 28 年度は 2 年目にあたる。参加の 5 団体が発掘調査して出土した遺物を持ち寄り、今までに蓄積された情報を提供・交換することによって、観覧者の方々に埋蔵文化財の重要性を認識していただくというものである。今年度は「戦国時代の四国」をテーマに展示した。展示会・講演会等の参加者は延べ 4,355 人であった。

#### （2）愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」（表 1-2、写真 3-4）

展示会「掘ったぞな松山 2016」「いにしへのえひめ」

この展示会は、前年度（平成 27 年度）松山市内で発掘調査した遺跡やその出土品、作成した報告書の成果をいち早く市民に紹介することを通じて、松山の古代史や埋蔵文化財への興味・関心を深める機会の提供を目的に、公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センターと当埋蔵文化財センターが連

携して開催したものである。

展示会は、松山市内の発掘調査成果の展示会「掘ったぞな松山2016」と、愛媛県内の発掘調査成果の展示会「いにしへのえひめ」を開催した。それぞれ展示会では、約50点の出土品を展示し、期間中には発掘調査の詳しい説明する報告会を計3回実施し、「いにしへのえひめ」では専門研究者による講演会も実施した。展示会・講演会等の参加者は延べ3,336人であった。

### (3) 特別展「発掘50年 来住庵寺『松山の飛鳥・奈良時代』」(表1-3、写真5・6)

特別展は、考古館最大の事業であり、県内外の貴重な遺物を借用し、系統的に紹介するもので、今年度は国史跡「来住庵寺・久米官衙遺跡群」が発掘調査50年(第1回1967年)を迎えることから、これまでの発掘成果を基に、関係の深い飛鳥時代の奈良県法隆寺(世界遺産)出土瓦、大阪府四天王寺出土瓦、奈良県山田寺跡出土品(重要文化財14点含む)など、県内外の考古資料等約100点を展示した。会期中には、展示品を詳しく解説する展示解説会2回と講演会1回を実施した。展示会・講演会等の参加者は延べ1,183人であった。

### (4) 特別展「『魏志倭人伝』に記された一支国の世界」(表1-4、写真7~9)

この展示会は、長崎県壱岐市主催テリバリ・ミュージアム事業で、魏志倭人伝に記されている海の交易拠点として栄えた弥生都市「一支国」の出土資料を展示し、同時期の松山市内の出土資料を比較展示することで文化の類似点や違いなどについて紹介した。展示会では弥生時代の環濠集落で「一支国」の王都に特定されている「原の辻遺跡」の出土品をはじめ、東アジアとの交流の歴史を示す貴重な考古資料約200点を展示した。会期中には、講演会・ギャラリートーク・体験イベントを実施した。展示会・講演会等の参加者は延べ4,399人であった。

### (5) 「地域のたから再発見・古代史セミナー」(表1-10)

本事業は、地域の宝である遺跡や発掘出土品を知ることで、「誇れる」地域の歴史や文化を伝え・育むことを目的とし、地域の活性化に寄与するために、公民館等で該当地域の遺跡等について、その地域からの出土品の展示と対話型の勉強会を5カ年計画で実施しているものである。今年度は3カ年目にあたり、久米公民館・荏原公民館で展示会・解説会(懇談会)・バスツアーを実施した。展示会・バスツアー等の参加者は延べ47人であった。

### (6) 松山市考古館ロビー展(表1-5~8・写真10)

来館者に対して、より多くの情報を提供する目的から、考古館のロビー等で「考古館・楽しかった2015展」(1回)、「発掘情報展」(9回)、「大連古代連展」(1回)、「イラストで訪ねる松山の歴史」を開催した。

## 2. 教育普及活動

教育普及活動としては、市民を対象に埋蔵文化財保護思想の啓発普及を目的とした講演会・体験学習・考古学講座などを開催し、職員の資質・技術向上を目的とした研修等も実施した。

### (1) 講演会・展示解説会・考古学講座・演奏会(表2、写真11)

展示会に関連した展示解説会・報告会・講演会や箏コンサートを計41回開催し、延べ1,818人の参加者があった。

### (2) わかりやすい考古学講座(表2-5、写真12)

当講座は、考古学や松山の歴史に興味と関心をもっていただくことを目的に、「地域のたから再

発見・古代史セミナー」事業と連携し実施している。今年度は、久米地区と小野地区などを対象地域とし、地域内の主要な遺跡をテーマに掲げ、当埋蔵文化財センター職員・市教育委員会職員がスライドや実物で詳しく解説した。講座は6月以降、毎月ごとに計10回実施し、延べ639人の参加があった。

### (3) 古代体験教室(表3、写真13～18)

古代のものの作りを体験することで、古代人の苦勞や知恵を学ぶことを目的とし、「石勾玉を作ろう」、「ガラス勾玉を作ろう」、「古代の技術を学ぼう～合金編～」、「古代の技術を学ぼう～石こう編～」、「ふんどう君ペンダント作り」、「染物体験」、「火おこし体験」の教室を実施し、年間延べ438回開催し、6,180人の参加がある。中でも8月10日(まつやまこども週間中)には、複数の体験ができる「古代体験まつり」を開催し、延べ499人の参加があった。

### (4) 遺跡見学会(表4、写真19・20)

県市連携事業で歴史バスツアー3回と親子考古学講座1回、分かりやすい考古学講座で2回、地域のたから再発見でバスツアー1回開催して延べ201人の参加があった。

### (5) 体験学習(団体来館)(表5)

延べ89団体、3,853人の来館があり、常設展示・収蔵庫・復元室等の施設見学を行なうとともに、火おこし体験や古代衣装の着付け体験を通じて、より身近に感じながら歴史を学習した。

### (6) 現地説明会(表6、写真21)

遺跡の見学を通して、市民が埋蔵文化財に対する興味や関心をより一層持ってもらうために開催するものである。道後湯之町遺跡2次調査(2回)、東垣生八反地遺跡、祝谷大地ヶ田遺跡6次調査、松山城三之丸跡19次調査の計4所で延べ5回の現地説明会を実施し、延べ1,308人の参加者があった。

### (7) 職場体験(表7)

当センターでは、中学校・高等学校・大学等で教育の一環として実施されている「職場体験学習」や「インターンシップ」を受託している。中学校3校(延べ6日)、計16人の生徒を受け入れ、埋蔵文化財の発掘調査や出土品整理の業務を学び、考古館の普及啓発業務等を体験した。

### (8) 出前考古学教室(表8、写真22)

「総合的な学習の時間」、「選択教科社会科の授業」、「文化祭」等の利用では、各学校からの要請を受けて、小・中・高等学校や公民館に赴き、出前考古学教室を実施している(47団体77件6,458人)。また、館外での主催事業も9件で1,431人の参加者があった。今年度の館外事業と出前教室は計86回実施し、参加者数は7,889人である。

### (9) 職員研修・会議(表9)

東京文化財研究所主催の「保存と活用のための展示環境に関する研究会」をはじめとして、愛媛県博物館協会等の研修会や会議に参加するとともに、出土品等では専門研究者を招聘して指導・分析に伴い講義等の所内研修を実施し、職員の資質ならびに技術の向上と業務の円滑な推進を図っている。今年度から公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センターとの合同研修会を年2回程度行うこととし、3月10日に第1回を実施した。職員研修等は14回、参加者数は137人であった。

## 3. 収集・保管・育成活動

## (1) 大連古代蓮の育成(表1-8、写真23)

平成10年4月に松山市農業指導センターから古代蓮の株を分けていただき、育成をしている。この古代蓮は、平成8年1月に中国大連市の観光訪問団が松山を訪れた際に、大連市観光局局長の張宏安氏から大連市で出土した千年前の蓮の種子を松山市に寄贈していただいたもので、農業指導センターが育成していたものである。当年度は148輪開花した。

## (2) 古代米の育成(表1-9)

考古館の玄関前で赤米を育成した。

## 4. 出版活動(表10・11)

当センターでは、考古館主催の展示会・講演会などを開催するに先立ち、多くの観覧者を募るために展示会4件でポスター・チラシ、展示会の解説書パンフレット2冊を作成した。また、発掘調査の成果を公開する松山市埋蔵文化財調査年報1冊と発掘調査報告書5冊を刊行した。

## 5. 資料の貸出・調査(表12・13)

当センターでは、各博物館や教育委員会主催事業への出展や、研究者からの資料調査の要望などに応じ、貸出22件と調査13件に協力した。

## 6. 広報活動(写真24)

当センターでは、展示活動や教育普及活動等の広報活動を通じて、施設のPRと利用推進の充実を図っている。当館のイメージキャラクター「ふんどう君」の出演依頼に応じて、ゆるキャラグランプリ2016(松山市開催)に出演・協力した。

## 7. 考古館月別入館者数調(表14)

表1 展示会一覧 (1)

No.	展示会名	期間	会場	観客動員数	
1	第2回四国地区埋蔵文化財センター 発掘へんろ展「戦国時代の四国」	平成28年4月23日(土)～7月10日(日)	特別展示室	4,335	
2	愛媛県・松山市連携事業 「古代いよ発掘まつり」	①「開ったぞな松山2016」 平成28年7月16日(土)～8月28日(日)	特別展示室 ロビー	2,500	3,306
		②「いにしへのさひめ」 平成28年9月3日(土)～9月25日(日)		806	
3	特別展 発掘50年 家住庵寺 「松山の戦鳥・奈良時代」 ～家住庵寺のループを求めて～	平成28年10月8日(土)～11月13日(日)	特別展示室 常設展示室一部	1,183	
4	特別展 長崎県志保市「戦志(徳人伝)」 に記された一室国の世界 ～海の上の王都・原の上の道跡と恋組の聖家～	平成29年2月3日(金)～3月12日(日)	特別展示室 常設展示室一部	4,399	
5	「考古館・楽しかった2015展」	平成28年4月1日(金)～4月30日(土)	特別展示室 常設展示室一部	1,235	

## 普及啓発事業

## 展示会一覧

(2)

No.	展示会名	期 間	会 場	観客動員数
6	『発掘情報展』	① 松山城三之丸跡 18次調査② 平成28年4月1日(金)～4月17日(日)	ロビー	800
		② 南宮田代遺跡 平成28年5月28日(土)～7月10日(日)		2,537
		③ 平井道跡 10次調査・松山城三之丸跡 18次調査④ 平成28年9月1日(水)～10月2日(日)		857
		④ 松山城三之丸跡 18次調査⑤ 平成28年10月4日(火)～11月13日(日)		1,158
		⑤ 御寺竹ヶ谷道跡(大発見! 桑原中の意外な歴史) 平成28年11月16日(水)～11月25日(金)		140
		⑥ 粟田生の道跡 平成28年11月26日(土)～平成29年1月13日(金)		713
		⑦ 役谷大池+田邊跡 6次調査 平成29年1月17日(火)～1月27日(金)		294
		⑧ 松山城三之丸跡 19次調査⑨ 平成29年2月21日(火)～3月12日(日)		1,807
		⑨ 松山城三之丸跡 19次調査⑩ 平成29年3月14日(火)～3月31日(金)		392
7	『イラストで語る松山の歴史』②	平成28年4月1日(金)～4月17日(日)	特別展示室	800
8	『大連古代港の育成と展示会』	① 育 成:平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金) ② 展示会:平成28年6月2日(水)～平成29年3月31日(金)	考古学玄関前 ロビー	— 11,738
9	『古時代の育成』	平成28年5月27日(金)～平成28年10月26日(水)	考古学玄関前	—
10	『地域のたから再発見』	① 『荻原-古代史セミナー』パズルアール平成29年2月25日(土)	荻原公民館・粟佐池内墳・考古館	24
		② 『久米-古代史セミナー』 3月18日(土)	久米公民館(久米小学校)	23
合計				35,791

表2 教育普及活動一覧(考古学講座・講演会等)

(1)

No.	事業名	日 時	会 場	講師・報告者(敬称略)	聴講者数(人)
1	第2回福岡県歴史文化財センター発掘へん入展「戦国時代(1549)」	解説会 平成28年4月23日(土)	講堂	愛媛県歴史文化財センター調査員 首善久士	35
		① 講演会 5月21日(土)		愛媛県歴史文化財センター調査課長 中野良一	88
		② 講演会 6月25日(土)		松野町教育委員会 亀澤一孝	93
2	愛媛県・松山市連携事業『古代よ発掘まつり』 「開ったやな松山2016」	① 報告会 7月23日(土)	講堂	当センター主任委員 梅本謙一	72
		② 報告会 8月20日(土)		当センター主任調査員 宮内直一 愛媛県歴史文化財センター調査課長 中野良一	53
		親子参り学講座 7月30日(土)		当センター主任調査員 高尾和長	6
		報告会 9月3日(土)		当センター主任調査員 河野史知	50
		講演会 9月17日(土)		当センター主任調査員 本本完治	40
3	特別展 『松山の戦鳥・奈良時代』	① 展示解説会 10月9日(日)	講堂	当センター主任学芸員 小玉幸紀子	29
		② 展示解説会 10月29日(土)		松山市教育委員会文化財課 伊見幸史	26
4	特別展 長崎県志松市『戦志松人伝』に記された一支田の戦場～海の上の王都・星の辻道跡と忠臣の室室～	① ギャラリートーク① 平成29年2月12日(日)	展示室	当センター主任学芸員 吉岡和成	11
		② ギャラリートーク2月19日(日)		当センター主任学芸員 吉岡和成	26
		③ 講演会 2月25日(土)		志松市教育委員会 松見裕二	149
		④ ギャラリートーク2月26日(日)		当センター主任学芸員 小玉幸紀子	313
		⑤ ギャラリートーク3月5日(日)		当センター主任学芸員 吉岡和成	13
		⑥ 講演会 3月11日(土)		愛媛大学教授 村上恭通	90
5	琴コンサート	① 第103回平成28年4月23日(土)	エントランス	笹岡舞楽隊(正源邦楽会 楽師範)	35
		② 第104回 5月14日(土)		武田沙也加(松山市立たらば小学校6年生)	17
		③ 第105回 6月4日(土)		松澤寿希(紙部町3紙部中学校2年生)	21
		④ 第106回 7月2日(土)		笹岡舞楽隊(正源邦楽会 楽師範)	34
		⑤ 第107回 8月13日(土)		内高舞千穂(正源邦楽会 楽師範)	27
		⑥ 第108回 9月24日(土)		笹岡舞楽隊(正源邦楽会 楽師範)	18
		⑦ 第109回 10月29日(土)		前谷舞貴(正源邦楽会 大師範)	22
		⑧ 第110回 11月20日(日)		内高舞千穂(正源邦楽会 楽師範)	10
		⑨ 第111回 12月3日(土)		笹岡舞楽隊(正源邦楽会 楽師範)	19
		⑩ 第112回平成29年1月14日(土)		丹生谷忠史(松山市立谷中中学校2年生)ほか1名	17
		⑪ 第113回 2月4日(土)		武田沙也加(松山市立たらば小学校6年生)ほか1名	31
		⑫ 第114回 3月4日(土)		笹岡舞楽隊(正源邦楽会 楽師範)	7

## 普及啓発事業

教育普及活動一覧（考古学講座・講演会等）

(2)

No.	事業名	日時	会場	講師・報告者（敬称略）	聴講者数 (人)
6	わかりやすい考古学講座 「発掘 松山の道跡Ⅰ」	① 平成28年6月4日(土)	講堂	当センター主宰 橋本雄一	74
		② 7月2日(土)		松山市教育委員会文化財課 岸見孝宏	75
		③ 8月6日(土)		当センター主任学芸員 吉岡和哉	66
		④ 9月3日(土)		当センター嘱託職員 栗田茂敏	73
		⑤ 10月1日(土)		当センター主宰 梅本謙一	28
		⑥ 11月5日(土)		当センター主任調査員 水本完児・宮内浩一	65
		⑦ 12月3日(土)		当センター主任調査員 相原浩二	63
		⑧ 平成29年1月14日(土)		見学会2 当センター嘱託職員 作田一樹	36
		⑨ 2月4日(土)		当センター主任調査員 宮内浩一	63
		⑩ 3月4日(土)		講堂 当センター主任調査員 高尾和長・山本健一	66
7	「地域のたから再発見」	① 平成29年2月25日(土)	香原公民館 (集落公民館)	当センター主宰 橋本雄一	21
		② 3月18日(土)	久米公民館	当センター主宰 橋本雄一	23
合計40回					1,818

表3 教育普及活動一覧（古代体験教室）

(1)

No.	事業名	日時	会場・団体名	参加者数 (人)
1	石匂玉を作ろう	① 平成28年5月11日(水)	10:00～14:00 東温市立南吉井小学校	118
		② 7月22日(金)	11:00～15:30 久枝児童クラブ(第1・23児童クラブ)	146
		③ 8月2日(火)	10:00～12:00 アロハエンジェルキッズスクール	16
		④ 8月10日(水)	10:00～16:00 古代体験まつり	94
		⑤ 8月24日(水)	9:00～11:00 学校法人エンゼル学園	37
		⑥ 8月30日(火)	10:00～11:30 考古館 講堂	12
		⑦ 8月30日(火)	13:30～15:00	8
		⑧ 9月12日(月)	9:30～15:30 新田青雲中等教育学校	91
		⑨ 11月6日(日)	10:00～12:00 愛媛県立松山東高等学校(通信制)	48
		⑩ 平成29年2月18日(土)	10:00～16:00 志国からやってくる1 体験イベント IN 松山市考古館	151
		⑪ 3月9日(木)	13:00～15:00 松山市立藤野小学校	85
		⑫ 3月11日(土)	10:00～15:00 松山自然科学教室	35
		⑬ 3月17日(金)	9:00～12:00 松山市立北中学校特別支援学級	6
		⑭ 平成28年6月20日(月)	15:10～15:55 松山市立立岩小学校	12
		⑮ 6月22日(水)	15:05～15:50 松山市立ミドリ小学校	19
	⑯ 6月28日(火)	13:00～16:00 松山市立東中学校	24	
	⑰ 6月29日(水)	14:00～15:30 パートナーハウスかたれあ	20	
	⑱ 7月17日(日)	9:00～11:00 松山市立栗井小学校(親子イベント)	92	
	⑲ 7月22日(金)	9:00～12:00 松山市立新玉小学校(親子イベント)	25	
	⑳ 8月9日(火)	10:00～12:00 瑞生第二児童クラブ	32	
	㉑ 8月23日(火)	13:30～15:00 浮穴児童クラブ	40	
	㉒ 8月25日(木)	14:00～16:00 松山市立栗井小学校	17	
	㉓ 9月29日(木)	13:30～14:30 デイサービスセンター このみ会PI	32	
	㉔ 11月1日(火)	13:30～15:35 松山市立城西中学校	22	
	㉕ 11月3日(木)	8:30～10:45 東温市立東信中学校	22	
	㉖ 11月3日(木)	12:25～14:30 松山市立柳中学校	32	
	㉗ 11月27日(日)	11:00～15:00 愛媛県美術館	5	
㉘ 平成29年3月5日(日)	11:00～15:00 中島総合文化センター	17		
㉙ 3月18日(土)	10:00～11:40 地域のたから再発見(古代史セミナー)	4		
2	ガラス匂玉を作ろう	① 平成28年8月25日(木)	10:00～14:30	17
		② 8月26日(金)	10:00～14:30 考古館講堂	17

## 普及啓発事業

## 教育普及活動一覧（古代体験教室）

(2)

No.	事業名	日時	会場・団体名	参加者数 (人)			
3	古代の技術を学ぼう ～合金編～	東組	① 平成28年 4月22日(金) 10:30～12:15	愛媛県立松山御学校	18		
			② 6月8日(水) 10:20～14:20	愛媛県立松山御学校(高1-2年)	3		
			③ 6月11日(土) 10:00～12:00	味酒児童クラブ第1・第2・第3・第4	151		
			④ 8月10日(水) 10:00～16:00	古代体験まつり	82		
			⑤ 8月23日(火) 10:10～11:40	伊予市志中村地区公民館	30		
		出組	⑥ 8月23日(火) 13:10～14:40	伊予市双海地区公民館	30		
			⑦ 8月24日(水) 9:00～11:00	学校法人エンゼル学園	22		
			⑧ 平成29年 2月18日(土) 10:00～16:00	宅崎からやってくる！体験イベント IN 松山市考古館	20		
			① 平成28年 11月3日(木) 8:30～11:00	松山市立入谷中学校	20		
			② 平成29年 2月9日(水) 15:05～15:50	松山市立みどり小学校	19		
		西組	③ 2月26日(日) 10:00～15:30	生涯学習ふれあいフェスタ	50		
			④ 3月11日(土) 12:30～16:00	市民文化フェスタ2017	2		
			⑤ 3月18日(土) 10:00～11:40	地域のつから再発見「古代セミナー」	4		
			東組	① 平成28年 8月9日(火) 9:30～11:30	まつやま国際交流センター (韓国平澤市中学生)	14	
				② 8月10日(水) 10:00～16:00	古代体験まつり	21	
出組	① 平成28年 11月3日(木) 8:30～11:00	松山市立入谷中学校	30				
	② 11月27日(日) 11:00～15:00	愛媛県美術館	6				
ミニ調剤	東組	③ 平成29年 3月11日(土) 12:30～16:00	市民文化フェスタ2017	2			
		平成28年 8月10日(水) 10:00～16:00	古代体験まつり	9			
4	古代の技術を学ぼう ～石ころ編～	ミニ調剤	出組	11月27日(日) 11:00～15:00	愛媛県美術館	2	
			11				
		調剤	東組	平成28年 8月10日(水) 10:00～16:00	古代体験まつり	25	
				26			
		分調剤 土製品	東組	平成28年 4月9日(土)		1	
				5月8日(日) 9:00～17:00	考古館エントランス	2	
				平成29年 3月5日(日)		2	
		ミニ調剤	出組	平成28年 11月17日(木) 15:05～15:50	松山市立みどり小学校	19	
				5			
		5	ふんどう骨 ペンダント作り	東組	個人	① 平成28年 4月	9
						② 5月	23
						③ 6月	19
						④ 7月	9
						⑤ 8月	33
						⑥ (8月10日古代体験まつり15人)	4
⑦ 9月	11						
⑧ 10月	6						
⑨ 11月	6						
⑩ 12月	6						
⑪ 平成29年 1月	12						
⑫ 2月	20						
⑬ (2月18日宅崎イベントIN松山市考古館20人)	16						
⑭ 3月	16						
団体	出組			① 平成28年 6月11日(土) 10:00～12:00	味酒児童クラブ(第1-2-3-4)	149	
		② 10月12日(水) 12:00～14:00	愛媛大学教育学部附属特別支援 学級中学校	8			
		③ 10月22日(土) 9:00～11:00	西国御解初中級学校 中学1-2年	8			
団体	出組	① 平成28年 7月28日(木) 10:00～12:00	しおかやクラブ	35			
		② 8月9日(火) 10:00～12:00	珠生第二児童クラブ	42			
		③ 8月17日(水) 13:30～15:00	石井東どれみ児童クラブ	41			
		④ 10月23日(日) 10:00～16:00	野外活動センターまつり	43			
		⑤ 平成29年 2月26日(日) 10:00～15:30	生涯学習ふれあいフェスタ	50			
⑥ 3月12日(日) 10:00～17:00	市民文化フェスタ2017	1					
6	染物体験	西組	東組	① 平成28年 8月3日(水) 10:00～12:00	25		
				② 12月14日(水) 10:00～12:00	10		
				③ 8月5日(金) 10:00～12:00	30		
				④ 12月16日(金) 10:30～12:00	14		

## 普及啓発事業

## 教育普及活動一覧(古代体験教室)

(3)

No.	事業名	日時	会場・団体名	参加者数 (人)	
7	火おこし体験	① 平成28年 4月(6件)	考古館 野外	22	
		② 5月(8件)		24	
		③ 6月(0件)		0	
		④ 7月(0件)		0	
		⑤ 8月 (8月10日 古代体験まつり113人、外1件2人)		115	
		⑥ 9月(1件)		2	
		⑦ 10月(0件)		0	
		⑧ 11月(2件)		8	
		⑨ 12月(1件)		4	
		⑩ 平成29年 1月(2件)		7	
		⑪ 2月 (2月18日体験イベント IN Kishu考古館 156件386人、ほか1件1人)		389	
		⑫ 3月(1件)		3	
	火おこし体験	団体	① 平成28年 4月12日(火) 9:00~12:00	松山市立株生小学校	128
			② 4月13日(水) 8:45~11:30	松山市立株生第二小学校	108
			③ 4月22日(金) 14:00~16:00	松山市立新五小学校	110
			④ 5月10日(火) 9:00~11:30	松山市立株酒小学校	138
			⑤ 5月11日(水) 10:00~14:00	東温市立南吉井小学校	123
			⑥ 5月11日(水) 10:30~12:00	松山市立津和地小学校	5
			⑦ 5月13日(金) 13:30~15:40	松山而立ちたばな小学校	96
			⑧ 5月17日(火) 10:00~14:00	松山市立和気小学校	100
			⑨ 5月18日(水) 9:30~11:30	伊予市立南山崎小学校	53
			⑩ 6月8日(水) 10:20~14:20	愛媛県立松山高等学校(高1・2年)	10
			⑪ 7月20日(水) 13:20~15:00	私立愛光学園(石浜・酒明中学校等併合) まっぴんま国際交流センター (健児児童養育施設)	27 19
			⑫ 8月9日(火) 9:30~11:30		
			⑬ 9月12日(月) 9:30~15:30	新田南雲中等教育学校	96
			⑭ 10月20日(木) 10:00~11:00	松山市立日浦小学校	11
			⑮ 10月26日(水) 9:50~12:00	今治市立常盤小学校	91
			⑯ 10月26日(水) 12:45~14:00	今治市立信方小学校	45
			⑰ 10月27日(木) 10:00~11:00	今治市立菊間小学校	36
			⑱ 10月28日(金) 13:00~14:00	今治市立吉海小学校	32
			⑲ 11月16日(水) 13:30~15:00	愛媛大学留学生	14
			⑳ 平成29年 2月12日(日) 9:00~17:15	松山市保健福祉政策課 (まゆめ結婚支援センター)	49
			㉑ 2月23日(木) 13:00~15:00	砥部町立砥部小学校	46
			㉒ 2月24日(金) 10:00~12:00	東温市立北吉井小学校	89
			㉓ 3月1日(水) 9:30~11:30	松山市立粟井小学校	76
			㉔ 3月3日(金) 9:30~12:00	松山南立みどり小学校	93
			㉕ 3月3日(金) 11:45~13:55	松山而立さくら小学校	135
			㉖ 3月3日(金) 12:10~13:40	東温市立川上小学校	83
			㉗ 3月3日(金) 13:00~15:00	松山市立雄新中学校特別支援学級	7
			㉘ 3月8日(水) 9:30~12:00	松山市立双葉小学校	109
			㉙ 3月9日(木) 9:30~11:30	松山市立北久米小学校	83
			㉚ 3月9日(木) 10:00~12:00	松山市立美壽小学校	93
㉛ 3月11日(土) 10:00~15:00	松山自然科学教室	87			
㉜ 3月17日(金) 9:00~12:00	松山市立北中学校特別支援学級	7			
出前	団体	① 平成28年 4月14日(木) 9:30~11:30	松山市立雄部小学校	90	
		② 4月15日(金) 14:00~15:30	松山市立正岡小学校	16	
		③ 4月26日(火) 13:50~15:00	松山市立瀬江小学校	116	
		④ 5月25日(水) 8:30~10:30	松山市立成海小学校	10	
		⑤ 5月26日(木) 10:00~15:00	松山市立窪田小学校	60	
		⑥ 5月26日(木) 10:30~15:35	松山市立福音小学校	93	
		⑦ 6月7日(火) 9:25~12:10	松山市立小野小学校	130	
		⑧ 6月9日(木) 15:05~15:50	松山而立みどり小学校	20	
		⑨ 7月23日(土) 15:30~16:00	風早自然学校ボレボレ	40	
		⑩ 7月30日(土) 14:00~17:00	砥部町立砥部小学校 (とっぴ子や〜おびあ)	65	
		⑪ 8月3日(水) 8:50~11:00	松山市立和気小学校	104	
		⑫ 平成29年 3月5日(日) 11:00~15:00	中島総合文化センター	62	
	合計		6,180		

## 普及啓発事業

表4 教育普及活動一覧(遺跡見学会)

No	事業名	日時	内 容 (見学地)	参加者数 (人)	
1	愛媛県・松山市連携事業 開ったぞな松山2016	平成28年7月30日(土)	1000～1200	親子考古学講座 (湯築城跡)	6
2		① 7月26日(火)	900～1700	考古館・北条ふるさと館・大西福 山歴史資料館・ 今治市新谷赤田遺跡	15
3	愛媛県・松山市連携事業 開ったぞな松山2016 「歴史バスター」	② 9月15日(木)	900～1700	考古館・北条ふるさと館・大西福 山歴史資料館・ 今治市新谷赤田遺跡	24
4		③ 10月8日(土)	900～1700	考古館・河後森城跡	38
5	わかりやすい考古学講座 「発掘松山の道跡」 現地見学会	① 10月1日(土)	1000～11:30	道後の道跡・文化財	58
6		② 平成29年1月15日(日)	1000～11:30	祝谷大地・田道跡6次調査	36
7	「地域のたから再発見」 バスター	2月25日(土)	8:30～12:40	荻原公民館・粟佐池古墳・考古館	24
合 計				201	

表5 教育普及活動一覧(体験学習・主催事業来館・団体来館)

(1)

No.	学校名・団体名	学 年	日 時	内 容	参加者数 (人)
1	発掘へんろ展「戦国時代の西国」解説会	—	平成28年4月23日(土)	解説会	35
2	琴コンサート	—	4月23日(土)	第103回学コンサート	19
3	琴コンサート	—	5月14日(土)	第104回学コンサート	17
4	発掘へんろ展「戦国時代の西国」講演会①	—	5月21日(土)	講演会①「伊予の中長城郭と瓦」	88
5	わかりやすい考古学講座①	—	6月4日(土)	古代の久米1「久米官衛道跡群」	74
6	琴コンサート	—	6月4日(土)	第105回学コンサート	21
7	発掘へんろ展「戦国時代の西国」講演会②	—	6月25日(土)	講演会②「松野町河後森城跡を探る」	93
8	わかりやすい考古学講座②	—	7月2日(土)	古代の久米2「東住庵寺」	75
9	琴コンサート	—	7月2日(土)	第106回学コンサート	34
10	愛媛県・松山市連携事業「開ったぞな松山2016」 報告会①	—	7月23日(土)	報告会①	72
11	古代いよ発掘まつり「歴史バスター①」	—	7月26日(火)	バスター① 今治市方面	15
12	古代体験教室「染物体験～着～」	—	8月3日(木)	染物体験～着～(25人)	26
13	古代体験教室「染物体験～着～」	—	8月5日(金)	染物体験～着～(30人)	30
14	わかりやすい考古学講座③	—	8月6日(土)	古代の小野1	66
15	愛媛県・松山市連携事業「開ったぞな松山2016」 古代体験まつり	—	8月10日(木)	石勾玉(19人)・銅鏡(合金21人)・銅鏡 (合金22人)・銅鐸(合金9人)・ペンダ ント(15人)・銅鏡(石ころ25人)・銅鐸 (石ころ11人)・分銅(石ころ26人)・古代衣 笠・火おこし(113人)	252
16	琴コンサート	—	8月13日(土)	第107回学コンサート	27
17	愛媛県・松山市連携事業「開ったぞな松山2016」 報告会②	—	8月20日(土)	報告会②	53
18	古代体験教室「ガラス勾玉作り①」	—	8月25日(木)	ガラス勾玉作り①(17人)	18
19	古代体験教室「ガラス勾玉作り②」	—	8月26日(金)	ガラス勾玉作り②(17人)	17
20	古代体験教室「石勾玉作り①」	—	8月30日(火)	石勾玉作り①(12人)	14
21	古代体験教室「石勾玉作り②」	—	8月30日(火)	石勾玉作り②(8人)	9
22	わかりやすい考古学講座④	—	9月3日(土)	古代の小野2「粟佐池古墳」	73
23	愛媛県・松山市連携事業「はてしへの見ゆき」報告会	—	9月3日(土)	報告会	50
24	古代いよ発掘まつり「歴史バスター②」	—	9月15日(木)	バスター② 今治方面	24
25	愛媛県・松山市連携事業「はてしへの見ゆき」講演会	—	9月17日(土)	講演会	40
26	琴コンサート	—	9月24日(土)	第108回学コンサート	18

## 普及啓発事業

## 教育普及活動一覧(体験学習・主催事業来館・団体来館)

(2)

No.	学校名・団体名	学 年	日 時	内 容	参加者数(人)
27	古代「よ発見まつり」歴史バスツアー①	—	平成28年10月8日(土)	バスツアー① 阿蘇長城跡	38
28	特別展「松山の飛鳥・奈良時代」解説会①	—	10月9日(日)	解説会①	29
29	特別展「松山の飛鳥・奈良時代」講演会	—	10月16日(日)	講演会	69
30	特別展「松山の飛鳥・奈良時代」解説会②	—	10月29日(土)	解説会②	26
31	学コンサート	—	10月29日(土)	第109回学コンサート	22
32	わかりやすい考古学講座⑤	—	11月5日(土)	古代の浮穴・荏原・坂本	65
33	学コンサート	—	11月20日(日)	第110回学コンサート	10
34	わかりやすい考古学講座⑥	—	12月3日(土)	古代の石井1 西石井遺跡5次調査	63
35	学コンサート	—	12月3日(土)	第111回学コンサート	19
36	古代体験教室「染物体験～茜～」	—	12月14日(水)	染物体験～茜～(10人)	10
37	古代体験教室「染物体験～キハダ～」	—	12月16日(金)	染物体験～キハダ～(14人)	14
38	学コンサート	—	平成29年1月14日(土)	第112回学コンサート	17
39	わかりやすい考古学講座⑦	—	2月4日(土)	古代の石井2 北久米和泉郷の遺跡	63
40	学コンサート	—	2月4日(土)	第113回学コンサート	31
41	特別展「織姫入伝」に記された一辺四の世界ギョウリートク①	—	2月12日(日)	①6人 ②0人 ③5人	11
42	特別展「織姫入伝」に記された一辺四の世界巻物からやってくる「体験イベント」お松山考古館	—	2月18日(土)	石弓玉づくり・ガラス弓玉づくり・貝殻キネンダムづくり/石弓玉(151人)・銅玉(合金20人)・ペンダント(20人)・火おこし(388人)	830
43	特別展「織姫入伝」に記された一辺四の世界ギョウリートク②	—	2月19日(日)	①5人 ②3人 ③18人	26
44	特別展「織姫入伝」に記された一辺四の世界講演会①	—	2月25日(土)	講演会	149
45	「地域のたから発見」バスツアー	—	2月25日(土)	荏原公民館・豊佐池古墳・考古館	24
46	特別展「織姫入伝」に記された一辺四の世界ギョウリートク③	—	2月26日(日)	①3人 ②15人 ③6人	24
47	わかりやすい考古学講座⑧	—	3月4日(土)	古代の石井3「東山古墳群」	66
48	学コンサート	—	3月4日(土)	第114回学コンサート	7
49	特別展「織姫入伝」に記された一辺四の世界ギョウリートク④	—	3月5日(日)	①1人 ②11人 ③1人	13
50	特別展「織姫入伝」に記された一辺四の世界講演会②	—	3月11日(土)	講演会	90
1	続句会	—	平成28年4月1日(金)	館内案内	9
2	愛媛新聞カルチャースクール	—	4月9日(土)	館内案内	10
3	松山市立味津小学校	6年	4月12日(火)	館内案内・古代衣装・火おこし	128
4	松山市立味津第二小学校	6年	4月13日(水)	館内案内・古代衣装・火おこし	108
5	愛媛県立松山豊学校	中1-3年	4月22日(金)	館内案内・銅鏡(合金18人)	18
6	松山市立新玉小学校	6年	4月22日(金)	館内案内・火おこし	110
7	文化財めぐり(文化財課)	—	4月24日(日)	館内案内	31
8	松山市立味津小学校	6年	5月10日(火)	館内案内・火おこし	168
9	東温市立南吉井小学校	6年	5月11日(水)	館内案内・古代衣装・火おこし・石弓玉(118人)	123
10	松山市立津和地小学校	6年	5月11日(水)	館内案内・古代衣装・火おこし	5
11	松山市立たけなな小学校	6年	5月13日(金)	館内案内・火おこし	96
12	愛媛新聞カルチャースクール	—	5月14日(土)	館内案内	10
13	松山市立和氣小学校	6年	5月17日(火)	館内案内・火おこし・古代衣装・高床倉庫・客居古墳群見学	100
14	伊予市立山崎小学校	3-5年	5月18日(水)	館内案内・古代衣装・火おこし	53
15	愛媛大学考古学研究室	—	5月22日(日)	館内案内	7
16	愛媛県立松山盲学校	高1-2年	6月8日(水)	館内案内・火おこし・古代衣装・銅鏡(合金3人)	10
17	アイサービスマスターズかん	—	6月10日(金)	館内案内	7
18	味酒児童クラブ(第1-2-3-4)	—	6月11日(土)	館内案内・ぬり絵・ペンダント(149人)・銅鏡(合金151人)	178
19	愛媛新聞カルチャースクール	—	6月11日(土)	館内案内	10
20	くぬぎ俳句会	—	6月23日(水)	館内案内	21
21	すぎな園	—	7月8日(金)	館内案内	7
22	続句会	—	7月10日(日)	館内案内	6
23	松前町松前史談会	—	7月16日(土)	館内案内	24
24	鶴の会	—	7月18日(月)	館内案内	11
25	私立愛光学園(台湾・道明中学高等学校含む)	—	7月20日(水)	館内案内・火おこし	27

## 普及啓発事業

教育普及活動一覧(体験学習・主催事業来館・団体来館)

(3)

No.	学校名・団体名	学年	日時	内容	参加者数(人)
26	久枝児童クラブ(第1・2・3児童クラブ)	—	平成28年7月22日(金)	館内案内・石臼玉(146人)・古代衣裳	146
27	松山市小学校社会科主任会	—	7月26日(火)	館内案内	45
28	松山市学校事務主任会	—	7月27日(水)	館内案内	80
29	松山市小中学校養護主任会	—	7月29日(金)	館内案内	84
30	大洲市立博物館	—	7月30日(土)	館内案内	39
31	松山市環境モデル都市推進課	—	7月30日(土)	館内案内	60
32	アロハエンジェルキッズスクール	—	8月2日(火)	館内案内・石臼玉(16人)	18
33	デイサービスこのみ戸	—	8月5日(金)	館内案内	25
34	まつま国際交流センター(韓国平澤市)	中学	8月9日(火)	館内案内・銅鏡(合金14人)・古代衣裳・火おこし	19
35	伊予市中村地区公民館	—	8月23日(火)	館内案内・銅鏡(合金40人)・古代衣裳・高床倉庫	42
36	伊予市双海地区公民館	—	8月23日(火)	館内案内・銅鏡(合金39人)・古代衣裳・高床倉庫	39
37	学校法人エンゼル学園	—	8月24日(水)	館内案内・石臼玉(37人)・銅鏡(合金22人)・古代衣裳	62
38	愛媛新聞カルチャースクール	—	8月27日(土)	館内案内	10
39	JJA愛媛中央(OB会)	—	9月8日(水)	館内案内	8
40	新田青雲中等教育学校	1年	9月12日(月)	館内案内・石臼玉(9人)・香炉古墳・火おこし	96
41		2年	9月12日(月)	館内案内・平板測量	7
42	松山市立城西中学校	2年	9月27日(火)	職場体験	4
43	松山市立城西中学校	2年	9月28日(水)	職場体験	4
44	丸亀市快天山古墳を守る会	—	9月29日(木)	館内案内	33
45	国際交流サービス	—	10月6日(水)	館内案内	37
46	愛媛新聞カルチャースクール	—	10月8日(土)	館内案内	10
47	愛媛大学教育学部附属特別支援学級中級部	2年	10月12日(水)	館内案内・ペイント(8人)	8
48	松山市立味酒小学校	5年	10月14日(金)	館内案内	10
49	社会福祉協議会(高齢者大学校)	—	10月19日(水)	館内案内	20
50	松山市立北桑南中学校	2年	10月19日(水)	職場体験	1
51	松山市立北桑南中学校	2年	10月20日(木)	職場体験	1
52	松山市立日浦小学校	5年	10月20日(木)	館内案内・火おこし	11
53	四国朝陽初中級学校(中学)	1・2年	10月22日(土)	館内案内・ペイント(8人)	8
54	今治市立常盤小学校	6年	10月26日(水)	館内案内・火おこし	91
55	今治市立磐方小学校	6年	10月26日(水)	館内案内・火おこし	45
56	今治市立菊間小学校	6年	10月27日(木)	館内案内・火おこし	34
57	今治市立吉津小学校	6年	10月28日(金)	館内案内・火おこし	32
58	愛媛県立松山東高等学校(通信制)	—	11月6日(日)	館内案内・石臼玉(8人)	51
59	松山市立新玉小学校	5年	11月9日(水)	館内案内	4
60	松山市立桑原中学校	2年	11月9日(水)	職場体験	3
61	松山市立桑原中学校	2年	11月30日(木)	職場体験	3
62	松山市農林土木課(道南道後土地改良区連合)	—	11月30日(木)	館内案内・講義	66
63	デイサービスはがら家	—	11月11日(金)	館内案内	12
64	愛媛新聞カルチャースクール	—	11月12日(土)	館内案内	10
65	愛媛大学留学生(台湾・中国・セネガル・イラン・ザンビア・エジプト・スワジランド王国・ウガンダ・インドネシア)	—	11月16日(水)	館内案内・火おこし	14
66	デイサービスセンターアテナ	—	11月18日(金)	館内案内	16
67	伊予松山支部(旬会)	—	12月10日(土)	館内案内	7
68	plus(プラス)	—	平成29年1月28日(土)	館内案内	5
69	あまやま天教苑	—	1月29日(日)	館内案内	8
70	松山市学校事務主任会	—	2月8日(水)	館内案内	80
71	愛媛新聞カルチャースクール	—	2月11日(土)	館内案内	10
72	松山市保健福祉政策課(及び総合支援センター)	—	2月12日(日)	館内案内・火おこし	49
73	新舞会	—	2月16日(水)	館内案内	7
74	砥部町立砥部小学校	6年	2月23日(水)	館内案内・火おこし・古代衣裳	46
75	東温市立北吉井小学校	5年	2月24日(金)	館内案内・火おこし・古代衣裳	89
76	松山市立湯山小学校	6年	2月28日(火)	館内案内・古代衣裳	64

## 普及啓発事業

教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）

(4)

No.	学校名・団体名	学年	日時	内容	参加者数 (人)	
77	松山市立粟妻小学校	5年	平成29年3月1日(水)	館内案内・火おこし・古代衣装	76	
78	東温市立川上小学校	5年	3月3日(金)	館内案内・火おこし	83	
79	松山市立藤新中学校(特別支援学級)	中1-3年	3月3日(金)	館内案内・火おこし・古代衣装	7	
80	松山市立みどり小学校	5年	3月3日(金)	館内案内・火おこし・古代衣装	93	
81	松山市立さくら小学校	5年	3月3日(金)	館内案内・火おこし・古代衣装	135	
82	松山市立粟妻小学校	5年	3月8日(水)	館内案内・火おこし・古代衣装	109	
83	松山市立北入来小学校	5年	3月9日(木)	館内案内・火おこし・古代衣装	83	
84	松山市立粟妻小学校	5年	3月9日(木)	館内案内・火おこし・古代衣装	93	
85	松山市立藤新中学校	5年	3月9日(木)	館内案内・古代衣装・石勾玉(85人)	92	
86	松山自然科学教室	—	3月11日(土)	館内案内・火おこし・石勾玉(55人)	87	
87	松山市立北中学校(特別支援学級)	中1-2年	3月17日(金)	館内案内・火おこし・石勾玉(6人)	7	
88	愛媛新聞カルチャースクール	—	3月18日(土)	館内案内	10	
89	サロシ南楽院	—	3月22日(水)	館内案内	28	
					主催50件	2,976
					団体来館89件	3,853
					合計139件	6,829

表6 教育普及活動一覧（現地説明会）

No.	遺跡名	日時	遺跡の主な概要	見学者数 (人)	
1	道後湯之町遺跡2次調査	平成28年6月18日(土) 10:00～11:30	縄文時代～弥生時代(縄文土器・弥生土器・石器)	220	
2	道後湯之町遺跡2次調査	6月18日(土) 13:30～14:30	縄文時代～弥生時代(縄文土器・弥生土器・石器)	130	
3	東田生八反地遺跡	11月26日(土) 10:00～11:00	平安時代～室町時代(土師器・須恵器・陶磁器・木田・平や人の足跡)	156	
4	祝谷大畑÷田遺跡6次調査	平成29年1月15日(日) 11:30～12:30	弥生時代(貯蔵穴はか)古墳時代(馬蹄形の前方後円墳から馬形埴輪はか)	685	
5	松山城三之丸跡19次調査	2月18日(土) 10:00～11:00	江戸時代～近代(紙部焼の礎・土製人形・硯・陸軍歩兵第22連隊の陣幕跡)	117	
				合計	1,308

表7 教育普及活動一覧（職場体験）

No.	学校名	学年	日時	内容	参加者数 (人)	
1	松山市立城西中学校	2年生	① 平成28年9月27日(水)	9:00～15:00	職場体験	4
			② 9月28日(木)	9:00～15:00		4
2	松山市立北条南中学校	2年生	① 10月19日(水)	9:00～15:00	職場体験	1
			② 10月20日(木)	9:00～15:00		1
3	松山市立桑原中学校	2年生	① 11月9日(水)	9:00～15:30	職場体験	3
			② 11月10日(木)	9:00～15:30		3
					合計3校6件	16

表8 教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）

※館外欄は考古館主催事業で出前欄は依頼事業

(1)

No.	学校名・団体名	学年ほか	日時	内容	参加者数 (人)
1	わかりやすい考古学講座 [発掘 松山の遺跡見] 現地見学会	—	① 平成28年10月1日(土)	遺跡の遺跡・文化財	58
			② 平成29年1月15日(日)	発掘現場の見学	36
2	愛媛県・松山市連携事業 [古代いよ発掘まつり] [掘った年を伝言2016]	—	平成28年7月30日(土)	親子考古学講座	6
3	平成28年度 地域のたから再発見 [古代史セミナー]	久米公民館	① 平成29年3月18日(土)	[古代史セミナー] 講義・石勾玉(4人)・陶器(4人)	23
			② 平成28年6月18日(土)	道後湯之町遺跡2次調査	220
			③ 6月18日(土)	道後湯之町遺跡2次調査	130
			④ 11月26日(土)	東田生八反地遺跡4次調査	156
			⑤ 平成29年1月15日(日)	祝谷大畑÷田遺跡6次調査	685
4	現地説明会	—	⑥ 2月18日(土)	松山城三之丸跡19次調査	117

## 普及啓発事業

教育普及活動一覧(館外・出前考古学教室) ※館外欄は考古学主催事業で出前欄は依頼事業

(2)

No.	学校名・団体名	学 年 級	日 時	内 容	参加者数 (人)
1	松山市立藤部小学校	6年	① 平成28年4月14日(木)	講義・火おこし	90
			② 10月20日(木)	講義(キャリア教育授業)	13
2	松山市立正岡小学校	6年	4月15日(金)	講義・古代衣装・火おこし	16
3	松山市立瀬江小学校	6年	4月26日(火)	講義・古代衣装・火おこし	116
4	兼佐池くろふ(レンゲソクまつり)	—	① 5月3日(火)	ふんどし君・土器パズル・古代衣装	110
			② 10月30日(日)	ふんどし君・土器パズル・古代衣装	40
5	松山市立みどり小学校	4-6年	① 5月19日(木)	講義・古代衣装	19
			② 6月9日(木)	講義・火おこし・塩作り	20
			③ 6月16日(木)	講義・石勾玉①(19人)	20
			④ 6月23日(木)	講義・石勾玉②	20
			⑤ 9月15日(木)	講義・石塩作り①	20
			⑥ 10月20日(木)	講義・石塩作り②	20
			⑦ 10月27日(木)	石塩で収穫体験	20
			⑧ 11月17日(木)	銅鑄にチャレンジ(石こう19人)	20
			⑨ 11月24日(木)	講義(校区内の道跡・遺物)	20
			⑩ 平成29年1月19日(木)	修復にチャレンジ①	20
			⑪ 1月26日(木)	修復にチャレンジ②	20
			⑫ 2月9日(木)	講義・銅鑄(合金19人)	20
			⑬ 2月23日(木)	ふりかえり学習	20
6	松山市立味酒小学校	6年	① 平成28年4月27日(木)	講義	164
			② 6月8日(水)	古代人体験学習相談①	172
			③ 6月16日(木)	土器づくり①(小部品)	172
			④ 6月17日(金)	古代人体験学習相談②	172
			⑤ 6月21日(火)	土器づくり②(大部品)	190
			⑥ 6月24日(金)	古代人体験	173
			⑦ 7月15日(金)	古代人体験の報告会	164
			⑧ 11月16日(水)	土器焼き①(土練り)	160
			⑨ 11月17日(木)	土器焼き②	160
			⑩ 11月11日(金)	「発見!味酒野に生きたこだわり名人」復元	11
		⑪ 平成29年1月27日(金)	「発見!味酒野に生きたこだわり名人」発表会	165	
7	松山市立浅海小学校	6年	平成28年5月25日(水)	講義・火おこし・古代衣装・土器パズル	10
8	松山市立窪田小学校	5年	5月26日(木)	講義・火おこし(野外活動センター)	60
9	松山市立福音小学校	6年	5月26日(木)	講義・古代衣装・火おこし	90
10	松山市立小野小学校	6年	6月7日(火)	講義・地域の遺物・火おこし・古代衣装・土器パズル	130
11	愛媛県立北条高校	1年	6月9日(木)	講話・地域の遺物・古代衣装	25
12	松山市立小野中学校	1年	① 6月10日(金)	講義・地域の遺物・古代衣装・土器パズル	168
			② 7月1日(金)	兼佐池古墳の説明	93
13	清水公民館	—	6月16日(木)	講義・地域の遺物・古代衣装	64
14	愛媛県生涯学習センター(歴史・考古学講座)	—	6月26日(日)	講義「久米官道跡について」	68
15	松山市立立岩小学校	4-6年	① 6月20日(月)	講義・石勾玉(12人)	15
			② 11月14日(月)	講義・石塩作り	13
16	松山市立東中学校	1-2年	6月28日(火)	講義・古代衣装・遺物・土器パズル・石勾玉(24人)	25
17	日本温泉協会	—	6月29日(水)	道跡見学	41
18	パートナーハウスとれあ	—	① 6月29日(水)	講義・古代衣装・石勾玉(20人)	20
			② 7月29日(金)	講義・古代衣装・遺物・土器パズル	20
19	松山市立栗井小学校(親子レクリエーション)	2年	① 7月17日(日)	講義・石勾玉(92人)・古代衣装	161
			② 8月25日(木)	講義・石勾玉(17人)	17
20	カルス学カレッジ	—	7月20日(水)	講義	74
21	新玉小学校(新玉公民館・サマーチャレンジ)	4-6年	7月22日(金)	講義・石勾玉(25人)・古代衣装・土器パズル	30
22	風早自然学校ポレゴレ	—	7月23日(土)	講義・火おこし	40
23	しおかぜクラブ	—	7月28日(木)	講義・ペンダント(35人)・古代衣装・ぬり絵・土器パズル・ふんどし君	39
24	福部町立福部小学校(ヒッピーサマーキャンプ)	—	7月30日(土)	講義・火おこし	65
25	松山市立和気小学校	5年	8月3日(水)	講義・火おこし	104

## 普及啓発事業

教育普及活動一覧(館外・出前考古学教室) ※館外欄は考古館主催事業で出前欄は依頼事業

(3)

No.	学校名・団体名	学年 ほか	日時	参加者数 (人)
26	緑生第二児童クラブ	—	平成28年 8月9日(火) 講義・石勾玉(32人)・ペンダント(42人)・古代衣装・ぬり絵	74
27	石井東どれみ児童クラブ	—	8月17日(水) 講義・ペンダント(44人)・古代衣装・ぬり絵・土器バズル	49
28	愛媛県生涯学習センター	—	①平成28年 8月18日(木) 講義 ②平成29年 2月26日(日) ペンダント(50人)・銅鏡(合金50人)	35 135
29	松山市子育て支援課	—	平成28年 8月21日(日) ふんどし着・古代衣装・土器バズル	80
30	浮穴児童クラブ	—	8月23日(火) 講義・石勾玉(40人)	40
31	デイサービスセンターこのみ余戸	—	9月29日(木) 講義・石勾玉(32人)	32
32	カルスゴカレッジ	—	10月5日(水) 講義	76
33	国際交流サービス	—	10月7日(金) 久米宮前・家住庵寺・粟佐池古墳案内	37
34	野外活動センターまつり	—	10月23日(日) 古代衣装・土器バズル・ぬり絵・バズル(43人)	413
35	松山市立城西中学校(文化祭)	1-3年	11月1日(火) 講義・古代衣装・土器バズル・石勾玉(22人)	22
36	松山市立久谷中学校(文化祭)	1-3年	11月3日(木) 講義・銅鏡(合金20人)・銅鏡(合金20人)	21
37	東温市立重信中学校	1-3年	11月3日(木) 講義・古代衣装・石勾玉(22人)	22
38	松山市立柳中学校	1-3年	11月3日(木) 講義・古代衣装・石勾玉(32人)	32
39	ゆるキャラ(R)グランプリ2016(応募)	—	①平成28年 11月5日(土) ふんどし着・土器バズル・古代衣装・ぬり絵 ② 11月6日(日) ふんどし着・土器バズル・古代衣装・ぬり絵	396 847
40	星岡町ふれあい広場(文化祭)	—	11月20日(日) 東山古墳群土遺物の展示	87
41	愛媛県美術館	—	11月27日(日) 古代衣装・石勾玉(5人)・銅鏡(合金6人)・銅鏡(合金2人)	121
42	キッズジョブまつまつ2016	—	12月18日(日) 仕事体験	82
43	北条ふるさと館	3年	平成29年 2月14日(火) 講義	43
44	松山市立緑生小学校	—	2月28日(火) 古民家見学・講義	129
45	中島総合文化センター(公民館文化祭)	—	3月5日(日) 石勾玉(17人)・火おこし(62人)・古代衣装	79
46	市民文化フェスタ2017	—	3月11日(土) 銅鏡(合金2人)・銅鏡(合金2人)・土器バズル・古代衣装	67
47	市民文化フェスタ2018	—	3月12日(日) ペンダント(1人)・土器バズル・古代衣装	228
				館外 9件 1,431
				出前 47団体 77件 6,458
				総合計 86件 7,889

表9 教育普及活動一覧(職員研修・会議)

No.	研修・会議名	日時	開催地	参加者数 (人)
1	第37回全国埋蔵文化財法人連絡協議会 総会	平成28年 6月16-17日(木・金)	鹿児島	1
2	平成28年度愛媛県博物館協会総会・研修	7月21日(木)	愛媛県	2
3	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 平成28年度第2回実行委員会	7月14-15日(木・金)	高知県	2
4	公開承認施設会議及び国史・重要文化財の防災・防犯対策研修会	8月1-2日(月・火)	東京都	1
5	全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	9月15-16日(木・金)	高知県	2
6	応急手当講習会	10月6日(木)	所内	50
7	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 平成28年度第3回実行委員会	10月7日(金)	香川県	2
8	全国古代体験フェスティバル2016	11月4-5日(金・土)	兵庫県	1
9	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 平成28年度第4回実行委員会	平成29年 1月6-7日(金・土)	徳島県	2
10	平成28年度第2回埋蔵文化財担当職員等講習会	2月1日-3日(水-金)	滋賀県	1
11	東京文化財研究所「保存と活用のための展示環境」に関する研究会	2月20-21日(月・火)	東京都	1
12	福祉・安全衛生教育講習	3月7日(火)	愛媛県	10
13	愛媛県・松山市埋蔵文化財センター合同研修会	3月10日(金)	所内	60
14	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 平成28年度第5回実行委員会	3月23-24日(木・金)	徳島県	2

表 10 考古館印刷物一覧（ポスター・チラシ等）

No.	出版物名	発行日	対象	版型・頁	部数(枚)
1	西国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「戦国時代の西国」 ポスター チラシ	平成 28 年 4 月	一般	B2 1 頁 A4 2 頁	500 5000
2	考古館ロビー展「大連古代遺」のご案内 チラシ	平成 28 年 6 月	一般	A4 2 頁	10000
3	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」 「断ったぞな松山 2016」 ポスター	平成 28 年 7 月	一般	B2 1 頁	600
4	特別展 発掘 50 年 米任庵寺 「松山の飛鳥・奈良時代」 ポスター チラシ	平成 28 年 9 月	一般	B2 1 頁 A4 2 頁	500 5000

表 11 出版物一覧

No.	報告書名・出版物名	発行日	対象	版型・頁	部数(枚)
1	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」 「断ったぞな松山 2016」 解説パンフレット	平成 28 年 7 月 16 日	一般	A4 4 頁	2000
2	特別展 発掘 50 年 米任庵寺「松山の飛鳥・奈良時代」 解説パンフレット	平成 28 年 10 月 8 日	一般	A4 20 頁	700
3	松山市埋蔵文化財調査年報 28	平成 28 年 12 月 28 日	一般	A4 82 頁	300
4	松山市文化財調査報告書 第 186 集 「榑味四反地道路 23 次調査」	平成 29 年 3 月 20 日	一般	A4 96 頁	300
5	松山市文化財調査報告書 第 187 集 「東本道跡 5 次調査」	3 月 23 日	一般	A4 182 頁	300
6	松山市文化財調査報告書 第 188 集 「大野ヶ台道跡 13 次調査」「通屋今市道跡 12 次調査」	3 月 27 日	一般	A4 74 頁	300
7	松山市文化財調査報告書 第 189 集 「細屋道跡 2 次調査」	3 月 27 日	一般	A4 112 頁	300
8	松山市文化財調査報告書 第 190 集 「百前川流域の道跡群」「北道跡 5 次調査」「北町道跡 3 次調査」 「朝美北道跡 1 次調査」「朝美北道跡 2 次調査」	3 月 27 日	一般	A4 154 頁	300

表 12 資料の貸出一覧 (1)

No.	種類	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出先
1	資料	分銅土器品ほか	25	常設展示室において展示するため	平成 27 年 4 月 1 日 ～平成 32 年 3 月 31 日	子規記念博物館
2	資料	福宮小学校境内道跡出土器ほか	2	妙見山古墳出土の伊予型特殊器台との比較展示のため	平成 23 年 6 月 21 日 ～平成 29 年 7 月 5 日	今治市教育委員会
3	資料	松山城二之丸跡出土の金貨	1	展示をするため	平成 25 年 2 月 1 日 ～平成 30 年 3 月 31 日	坂の上の雲ミュージアム
4	写真	兼在池古墳 2 号石室副葬土器ほか	5	平成 28 年度春季企画展の図録、展示パネル等に掲載するため	平成 28 年 1 月 29 日 ～ 5 月 6 日	大取町立近つ飛鳥博物館
5	資料 その他	縄文土器ほか 古代扇(毛皮)	5 1	小学校の社会科授業において使用するため	4 月 15 日 ～ 4 月 19 日	松山市立藤小学校
6	資料	香町道跡出土土器ほか	5	小学校の授業において使用するため	4 月 27 日 ～ 5 月 9 日	松山市立香町小学校
7	資料	天山 1 号墳出土銅鏡(復元品)	1	小学校の授業において使用するため	5 月 9 日 ～ 5 月 12 日	松山市立藤小学校
8	写真	河野小学校境内道跡出土の羽口	1	縄早活性化協議会発行の「歴史風早ガイドブック」に掲載するため	5 月 11 日 ～ 5 月 12 日	縄早活性化協議会
9	資料 図冊 写真	久米堂田島元道跡 3 次調査出土銅器ほか 久米堂御道跡群 久米堂田島元道跡 3 次調査ほか	127 11 11	平成 28 年 6 月 11 日から 7 月 18 日にかけて開催する平成 28 年度共同企画展「伊予の古代」において展示するため	5 月 10 日 ～ 7 月 29 日	公益財団法人 愛媛県埋蔵文化財センター
10	写真	古祖道跡の壁の写真ほか	2	平成 28 年 11 月 9 日～ 10 日に開催する「深水フウ・ラム 道前道後用水 2016」のポスター及びチラシに使用するため	7 月 4 日 ～ 11 月 10 日	道前道後土地改良区連合
11	資料	橘野塚天神山古墳 1 号石室出土品ほか	4	平成 28 年度特別企画展「刀剣の考古学」で展示するため	8 月 23 日 ～ 11 月 25 日	公益財団法人 松山市シルバー人材センター
12	資料	橘野塚天神山古墳 1 号石室出土土器 金貨ほか	9	平成 28 年度特別企画展「刀剣の考古学」で展示するため	9 月 9 日 ～ 12 月 2 日	公益財団法人 松山市シルバー人材センター
13	写真	「新居高島の歴史をたどって」P13 に掲載している「関口博士先生の墓調査」 の写真	1	『論集「瀬戸内海の歴史民俗」(日本市民研究所発行)に掲載するため	10 月 7 日 ～ 10 月 14 日	神奈川大学 日本市民文化研究所
14	資料	古祖道跡 7 次調査出土土器ほか	4	手づかぬかわらけ研究会において調査・研究するための熱蒸・写真撮影	10 月 10 日 ～ 10 月 30 日	個人
15	写真	「よみがえる古代の小野 ガイドブック」P1～2 に掲載している「小野祖庭の道跡分布図」	1	兼在池古墳を活かした利用者に紹介・配布するため(画像を拡大してパネルとして掲示、持ち帰り用の資料として設置)	10 月 24 日 ～ 11 月 4 日	兼在池くらぶ
16	写真	福宮寺道跡竹之ノ下地区出土の土	1	小学校向けの学校図書館用書籍の出版のため	11 月 3 日 ～ 11 月 30 日	株式会社西イール
17	その他	古代扇(毛皮)ほか	2	学習発表会歴史展で使用するため	11 月 18 日 ～ 11 月 26 日	東温市立西谷小学校

資料の貸出一覧

(2)

No.	種類	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出先
18	写真	兼依池古墳1号石室遺物出土状況	1	プロモーションビデオ内の兼依池古墳紹介として利用するため	12月9日 ～12月16日	トエビス株式会社
19	写真	大洞遺跡出土土器ほか	2	3市3町めぐり愛イベントの案内状に掲載するため	12月12日 ～2月12日	一般社団法人 愛媛県史学研究会
20	写真	兼依池古墳2号石室出土の土器	1	プロモーションビデオの内 兼依池古墳紹介として利用するため	12月26日 ～12月30日	トエビス株式会社
21	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	1	光のおもてなし in Winterの期間中(2016.12.29～2017.2.14)の一日開放の上の並ミュージアムの宣伝ブースを二之丸史跡地区に設け、松山市雄鷹文化財センター所蔵の10ルーブル金貨に因んだしおりを作成し、来場者に配布するため	平成29年1月11日 ～2月10日	坂の上の並ミュージアム
22	資料	船ヶ谷山古墳出土彫形埴輪ほか	79	平成28年度特別展「はに坊と行く！えひめの古墳探訪」において展示するため	1月下旬 ～4月16日	愛媛県歴史文化博物館

表13 資料の調査一覧

No.	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
1	資料 東山倉が森2号墳出土大刀ほか	12	徳島市立考古館で開催する平成28年度特別企画展の資料借用に伴う事前調査・熟覧・写真撮影	平成28年5月18日
2	資料 五郎兵衛谷古墳出土三葉環頭大刀ほか	三式	修士論文執筆のための熟覧・撮影・写真撮影	6月14日
3	資料 祝谷六丁場遺跡出土絵画土器ほか	7	愛媛大学ミュージアムで実施するスポット展示の企画調査のための熟覧・写真撮影	6月14日
4	資料 南梅本上方遺跡出土木製品ほか	7	年輪年代学の調査・研究のための熟覧	6月21日
5	資料 清水町遺跡2次調査出土大打石	10	郷土の歴史を調べるための熟覧・写真撮影	6月26日
6	資料 大洞遺跡出土土器・石器ほか	631	科学研究費補助金 基盤研究(B)「近畿地方における初期農耕集落形成をめぐる考古学的研究」(研究課題番号25284159、研究代表者：森本孝人)に係る調査のための熟覧・写真撮影	7月21日
7	資料 祝谷六丁場遺跡出土土器類	2	調査・研究のための熟覧・写真撮影	8月4日
8	資料 西石井遺跡6次調査出土土器ほか	12	夏休みの自由研究のための熟覧・写真撮影	8月28日
9	資料 船ヶ谷山古墳出土彫形埴輪ほか	53	平成28年度企画展「えひめの古墳探訪」に伴う資料調査のための熟覧・写真撮影	10月20日
10	資料 朝日谷2号墳出土二葉二獣鏡ほか	79	平成28年度企画展「えひめの古墳探訪」に伴う資料調査のための熟覧・写真撮影	11月10日
11	資料 久米官衛遺跡群出土瓦	8	橋の落別館 かわら工事のための参考熟覧・写真撮影	11月25日
12	資料 基ノ口遺跡4次調査出土の大型器ほか	4	松山市内から出土した弥生時代「大型器台」の学術的な観察・記録のための熟覧・写真撮影	12月14日
13	資料 三島神社古墳出土埴輪ほか	820	愛媛県における埴輪編年を基軸とした後期古墳の調査・研究のための熟覧・写真撮影	平成29年1月21・22日

表14 平成28年度 考古館月別入館者数調(平成28年4月～平成29年3月)

(単位:人)

月	開館日数 (日)	常設展示室										特別展示室	展示室延 入場者数	入館者数
		有料入館者					無料入館者							
		一般	高齢者	団体 各種割引	前売	小計	高校生 以下	身障者 介護人	その他	小計				
4	26	138	89	10	—	237	575	2	24	601	1,051	1,889	1,421	
5	25	186	55	0	—	241	731	8	49	788	1,396	2,425	1,506	
6	26	270	196	27	—	493	288	28	8	324	2,051	2,868	3,129	
7	27	147	44	251	—	442	349	30	7	386	1,427	2,255	1,778	
8	25	131	40	28	—	199	466	17	113	596	1,116	1,911	1,252	
9	26	80	26	32	—	138	247	5	6	238	684	1,080	887	
10	26	16	34	5	—	55	349	17	295	661	634	1,350	1,048	
11	24	51	26	0	—	77	212	12	267	491	615	1,183	963	
12	24	48	24	0	—	72	110	0	15	125	483	680	636	
1	24	84	33	0	—	117	94	7	80	181	180	478	663	
2	24	10	0	0	—	10	1,157	12	815	1,984	1,984	3,978	2,802	
3	27	48	53	0	—	101	1,064	20	357	1,441	1,664	3,206	2,090	
計	304	1,209	620	353	—	2,182	5,642	158	2,036	7,836	13,285	23,303	18,175	



写真1 発掘へんろ展「戦国時代の四国」



写真2 発掘へんろ展 講演会



写真3 展示会「掘ったぞな松山2016」



写真4 展示会「いにしへのえひめ」



写真5 特別展「松山の飛鳥・奈良時代」



写真6 「松山の飛鳥・奈良時代」講演会・解説



写真7 「『魏志倭人伝』に記された一支国の世界」



写真8 「一支国の世界」講演会



写真9 「一支国の世界」体験イベント



写真10 発掘情報展「祝谷大地ヶ田遺跡」



写真11 箏コンサート



写真12 わかりやすい考古学講座



写真13 古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」



写真14 古代体験教室「染物体験・藍」



写真15 古代体験教室「染物体験・茜」



写真16 古代体験まつり



写真 17 古代体験まつり「火おこし体験」



写真 18 古代体験まつり「ミニ発掘体験」



写真 19 歴史バスツアー（松野町河後森城跡見学）



写真 20 現地見学会「わかりやすい考古学講座」



写真 21 現地説明会「祝谷大地ヶ田遺跡 6次調査」



写真 22 出前講座「土器焼き」(市内小学校)



写真 23 大連古代蓮



写真 24 ゆるきゃらグランプリ2016・ふんどう君

## V 關係法規

## 1. 松山市立埋蔵文化財センター条例

平成元年9月30日  
条例第43号

(設置)

第1条 本市の埋蔵文化財の保護、調査、研究等による地域文化の発展を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第1項の規定に基づき、松山市立埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を設置する。

2 センターは、松山市南斎院町乙67番地6に置く。  
(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。  
(1) 埋蔵文化財の発掘、調査、研究等に関すること。  
(2) 出土品、資料等の保存、整理及び収蔵に関すること。  
(3) 埋蔵文化財に係る情報の収集、交換等に関すること。  
(4) 次条に規定する松山市考古館(以下「考古館」という。)及び松山市文化財情報館(以下「文化財情報館」という。)の管理運営に関すること。  
(5) その他教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認める事業  
(考古館及び文化財情報館)

第3条 センターに考古館及び文化財情報館を設置する。

2 考古館は、次に掲げる事業を行う。  
(1) 埋蔵文化財その他の考古資料の収集、管理及び展示に関すること。  
(2) 考古館が収蔵する資料(以下この条において「考古館資料」という。)の案内、説明等に関すること。  
(3) 考古館資料に係る調査、研究等に関すること。  
(4) 考古館資料に係る講演会、研究会等の開催に関すること。  
(5) その他委員会が必要と認める事業

3 文化財情報館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 出土文化財の調査、研究等に関すること。
- (2) 出土品、資料等の保存、活用、整理及び収蔵に関すること。
- (3) 埋蔵文化財に係る情報の収集、公開等に関すること。
- (4) その他委員会が必要と認める事業  
(考古館観覧料)

第4条 考古館を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納めなければならない。

(観覧料の減免)

第5条 委員会は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不運付)

第6条 既納の観覧料は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

(秩序維持)

第7条 委員会は、次の各号の一に該当する者に対し、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) てい酔者等で、他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある者
- (2) 施設、設備又は展示品、資料等を損傷するおそれのある者
- (3) その他委員会が管理運営上支障があると認める者

(損害賠償)

第8条 センターの施設、設備又は展示品、資料等を毀損し、又は滅失した者は、不可抗力による場合を除き、市にその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第9条 センターに所長その他の必要な職員を置き、考古館に館長を置く。

(指定管理者)

第10条 委員会は、センターの設置の目的を効果的に達成するため必要があると認めるときは、地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理

者（以下「指定管理者」という。）にセンターの管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第11条 前条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

- (1) 第2条並びに第3条第2項及び第3項に規定する事業の実施に関する業務
  - (2) センターの維持管理に関する業務
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める業務
- 2 前項の場合における第7条の規定の適用については、同条中「委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

（指定管理者が行う管理の基準）

第12条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく教育委員会規則の定めるところに従い、適正にセンターの管理を行わなければならない。

（委任）

第13条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、別に規則で定める。

（過料）

第14条 詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科する。

付 則

この条例は、平成元年10月31日から施行する。

付 則（平成3年3月25日条例第6号）

この条例は、平成3年4月1日から施行する。

付 則（平成9年3月25日条例第7号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

付 則（平成14年3月20日条例第6号）

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

付 則（平成15年3月24日条例第1号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

付 則（平成17年6月30日条例第29号）

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。  
（平成18年2月24日教委規則第1号により、平成18年4月1日から施行する。）

別表（第4条関係）

区 分		金 額
常設展	個人	100円
	団体	1人につき 80円
特別展	個人	1,000円以内で委員会の定める額
	団体	1人につき 個人に係る特別展の観覧料の8割に相当する額

備考

- 1 この表において「団体」とは、20人以上の集団をいう。
- 2 義務教育就学前の児童、小学校の児童、中学校及び高等学校の生徒並びに委員会がこれらに相当すると認めた者は、無料とする。

## 2. 松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則

平成 16 年 12 月 28 日  
教委規則第 41 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、松山市立埋蔵文化財センター条例(平成元年条例第 43 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び入館時間)

第 2 条 松山市立埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の開館時間及び入館時間は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、開館時間及び入館時間を変更することができる。

区 分	開館時間及び入館時間
センター (松山市考古館を除く。)	午前 8 時 30 分から午後 5 時まで
松山市考古館 (以下「考古館」という。)	午前 9 時から午後 5 時まで (入館時間は、午前 9 時から午後 4 時 30 分まで)

(休館日)

第 3 条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に開館日若しくは閉館日設けることができる。

区 分	休館日
センター (考古館を除く。)	(1) 日曜日及び土曜日 (2) 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「法」という。)に規定する休日 (3) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで
考古館	(1) 月曜日(法に規定する休日に当たるとする日を除く。) (2) 法に規定する休日の翌日(日曜日に当たる日を除く。) (3) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

(観覧券の交付)

第 4 条 教育長は、条例第 4 条の規定により考古館の観覧料(以下「観覧料」という。)を納付した者に対し、考古館観覧券(以下「観覧券」という。)を交付する。

2 観覧券の種類及び様式は次の各号に定めるとおりとする。

(1) 常設展観覧券

ア 一般観覧券(第 1 号様式)

イ 団体観覧券(第 2 号様式)

(2) 特別展観覧券(その都度教育長が定めるものとする。)

(3) 割引観覧券(常設展又は特別展一般観覧券に割引後の額を表示したものとする。)

3 観覧券は、考古館の入口で改札を受けなければならない。

(観覧料の減免)

第 5 条 条例第 5 条の規定により観覧料を減免する場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 教育課程の一環として、児童生徒の引率者が観覧する場合…全額

(2) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護人が観覧する場合…全額

(3) 市内に居住する 65 歳以上の者が観覧する場合…半額

(4) 前 3 号に掲げるもののほか教育長が特別な理由があると認めた場合…その都度教育長が定める額(観覧料の減免申請)

第 6 条 条例第 5 条の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(第 3 号様式)を教育長に提出しなければならない。ただし、前条第 2 号若しくは第 3 号の規定に該当することを証する書類等を提示した者又は教育長が観覧料減免申請書の提出を要しないと認めた者については、この限りでない。

(観覧料の還付)

第 7 条 条例第 6 条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 考古館を観覧しようとする者の責に帰すことができない事由により観覧できなくなったとき。

(2) 前号に掲げるもののほか教育長が特別の理由があると認めるとき。

(資料の特別利用)

第 8 条 センターが所蔵する資料(以下「センター資料」という。)を利用しようとする者は、松山市立埋蔵文化財センター資料特別利用申請書(第

4号様式)を教育長に提出し、松山市立埋蔵文化財センター資料特別利用許可書(第5号様式)の交付を受けなければならない。

- 2 センター資料の貸出期間は、30日以内とする。ただし、教育長が相当の理由があると認めるときは、その期間を延長することができる。
- 3 教育長は、公益上又はセンター資料の管理上必要があると認めるときは、貸出期間中であってもセンター資料の返還を求めることができる。

(寄贈及び寄託)

第9条 センターは、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

- 2 センターに資料を寄贈又は寄託しようとする者は、資料(寄贈・寄託)申請書(第6号様式)により教育長に申請し、その許可を受けるものとする。
- 3 教育長は、センターに資料を寄贈又は寄託した者に対し、資料(受領・受託)書(第7号様式)を交付するものとする。
- 4 寄託資料の寄託期間は、1年、3年又は5年とする。
- 5 寄託資料は、センター資料に準じて取り扱うものとする。ただし、当該資料を他に貸し出す場合は、あらかじめ寄託者の承諾を得るものとする。

(指定管理者に関する談替え)

第10条 条例第10条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合において、第4条第1項及び第2項第2号並びに第8条の規定の適用については、これらの規定中「教育長」とあるのは、「指定管理者」とする。

(管理の対価)

第11条 前条に規定する場合において、指定管理者に支払われる管理の対価は、当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えてはならない。

- 2 前項の管理の対価が当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えるに至った場合には、教育長は、指定管理者に対し、その超える金額を選

付させるものとする。

(委任)

第12条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成17年1月1日から施行する。(松山市考古館管理運営規則の廃止)
- 2 松山市考古館管理運営規則(平成元年教育委員会規則第12号)は、廃止する。

付 則(平成18年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

付 則(平成28年3月31日教委規則第7号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

## 松山市埋蔵文化財調査年報 29

---

平成29年12月28日 発行

編集  
発行

松山市教育委員会  
〒790-0003 愛媛県松山市三番町六丁目6-1  
TEL (089) 948-6605

公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団  
埋蔵文化財センター  
〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙67番地6  
TEL (089) 923-6363  
FAX (089) 925-0260

印刷

セキ株式会社  
〒790-8686 愛媛県松山市湊町7丁目7番地1  
TEL (089) 945-0111

---



